和歌山県埋蔵文化財調査年報

－平成１６年度－

２００６．３

和歌山県教育委員会

例言

1　本書は、平成１６年度に文化庁の補助事業として和歌山県教育委員会が実施した試掘・確認調査、立会調査等の成果報告である。そのほかに、文化財保護法第９２～９９条関連の届出・通知、市町村教育委員及び財団法人和歌山県文化財センターの調査一覧についても掲載した。

2　埋蔵文化財包蔵地の範囲変更については、平成１８年３月１５日までに変更があったものについて、掲載した。

3　本書で掲載している地図は、特に断りのない限り、遺跡位置図の縮尺が１／２５，０００、調査区位置図の縮尺が１/２，５００で、上方が座標北である。

4　本書記載の所在地における市町村名は、平成１８年３月１日時点のものである。ただし一覧表については平成１７年３月３１日時点の市町村名で表記している。

5　本文中で使用した土色は、農林水産省農林水産技術会議事務局監修・財団法人日本色彩研究所色票監修『新版標準土色帳』に準拠している。

6　本書の編集は、和歌山県教育庁生涯学習局文化遺産課調査班が行い、執筆は各担当者が行った。

7　本書で割愛した土層図・写真等の資料は、文化遺産課で保管しているので、閲覧可能である。

目次

平成16年度　和歌山県埋蔵文化財関係組織図 …… 1

平成16年度　和歌山県内発掘調査関係届出等資料 …… 2

平成16年度　和歌山県内における調査一覧 …… 20
- 和歌山県教育委員会 …… 20
- 財団法人和歌山県文化財センター …… 21
- 市町村教育委員会 …… 21

埋蔵文化財包蔵地の認定・範囲変更 …… 25

平成16年度　和歌山県教育委員会による調査の成果 …… 26

埋蔵文化財包蔵地での調査成果 …… 26

1	秋月遺跡	27	15	金剛峯寺遺跡	42
2	野上中南遺跡	27	16	山田廃寺	47
3	下佐々Ⅰ遺跡	31	17	天神社跡	47
4	粉河寺遺跡	32	18	市場遺跡	48
5	元遺跡	37	19	中井原遺跡	49
6	上尾遺跡	39	20	観喜寺跡	47
7	権田池古墳	39	21	蛭田坪遺跡	50
8	貴志城跡	40	22	田井・西川遺跡	51
9	神野々Ⅱ遺跡	40	23	高家遺跡	56
10	佐野廃寺	40	24	興国寺跡	56
11	西渋田遺跡	41	25	古垣内遺跡	54
12	佐野遺跡	41	26	片山遺跡	56
13	名古曽Ⅰ遺跡	41	27	印南遺跡	57
14	慈尊院Ⅱ遺跡	42			

指定記念物の現状変更に伴う調査成果 …… 58

1　国指定史跡　高野山町石 …… 59
2　県指定史跡　中世農耕用水路文覚井 …… 63
3　特別史跡岩橋千塚古墳群:大日山35号墳・前山Ａ２号墳・前山Ｂ41号墳 …… 66

抄録 …… 81

和歌山県埋蔵文化財関係　組織図（平成16年度）

和歌山県教育委員会事務局
教育長　小関　洋治

生涯学習局
局　長　西畑　行庸

教育総務局
局　長　嶋村　佳知

学校教育局
局　長　谷口　敏則

文化遺産課
課　長　前山　哲雄（事務職）
副課長　藤井　保夫
副課長　額田　誠規（事務職）

和歌山県立博物館
副館長　永光　寛

和歌山県立自然博物館

和歌山県立近代美術館

和歌山県立紀伊風土記の丘
館　長　中村　貞史
主　任　山本　高照

調査班
班　長　武内　雅人
主　査　酒井　清崇（事務職）
技　師　佐々木宏治
技　師　仲原　知之

保存班
主任　松下　彰
（休職中）

普及班

世界遺産登録推進室
室　長　辻林　浩

紀伊風土記の丘
専門職兼任
専門員　冨加見泰彦

財団法人
和歌山県文化財センターへ派遣
専門員　松田　正明
主　任　渋谷　高秀
副主査　黒石　哲夫
技　師　藤井　幸司
技　師　丹野　拓

国指定史跡現状変更許可一覧(権限委任)

番号	文書番号 日付	史跡名	申請理由 申請日	場所 所有者など	権限委任	指示内容
1	文33号 平成16年4月5日	金剛峯寺	墓石建立 平成16年3月31日	高野町高野山553－1 (宗)金剛峯寺	ハ 工作物設置	高野町教育委員会 立会
2	文33号 平成16年4月5日	金剛峯寺	墓石建立 平成16年3月31日	高野町高野山553－1 (宗)金剛峯寺	ハ 工作物設置	高野町教育委員会 立会
3	文33号 平成16年4月5日	金剛峯寺	墓石建立 平成16年3月31日	高野町高野山553－2 (宗)金剛峯寺	ハ 工作物設置	高野町教育委員会 立会
4	文33号 平成16年4月5日	金剛峯寺	墓石建立 平成16年3月31日	高野町高野山553－3 (宗)金剛峯寺	ハ 工作物設置	高野町教育委員会 立会
5	文33号の(2) 平成16年4月22日	金剛峯寺	寺院供養塔建立 平成16年4月15日	高野町高野山553－4 (宗)金剛峯寺	ハ 工作物設置	高野町教育委員会 立会
6	文33号の(2) 平成16年4月22日	金剛峯寺	手洗い鉢の移動 平成16年4月15日	高野町高野山553－5 (宗)金剛峯寺	ハ 工作物設置	高野町教育委員会 立会
7	文33号の(3) 平成16年4月28日	金剛峯寺	墓碑建立 平成16年4月23日	高野町高野山553－6 (宗)金剛峯寺	ハ 工作物設置	高野町教育委員会 立会
8	文33号の(4) 平成16年5月17日	金剛峯寺	墓石建立 平成16年5月11日	高野町高野山553－7 (宗)金剛峯寺	ハ 工作物設置	高野町教育委員会 立会
9	文33号の(4) 平成16年5月17日	金剛峯寺	墓石建立 平成16年5月11日	高野町高野山553－8 (宗)金剛峯寺	ハ 工作物設置	高野町教育委員会 立会
10	文33号の(6) 平成16年5月31日	金剛峯寺	墓碑建立 平成16年5月25日	高野町高野山553－8 (宗)金剛峯寺	ハ 工作物設置	高野町教育委員会 立会
11	文33号の(7) 平成16年6月16日	金剛峯寺	水銀灯除去・設置 平成16年6月14日	高野町高野山553－8 (宗)金剛峯寺	ハ 工作物設置	高野町教育委員会 立会
12	文33号の(8) 平成16年6月21日	金剛峯寺	世界遺産記念碑設置 平成16年6月8日	高野町高野山553－8 (宗)金剛峯寺	ハ 工作物設置	世界遺産登録推進室・ 高野町教育委員会の 指導
13	文33号の(9) 平成16年7月13日	金剛峯寺	世界遺産特集放映のため 平成16年7月12日	高野町高野山553－8 (宗)金剛峯寺	ハ 工作物設置	慎重
14	文33号の(10) 平成16年7月21日	金剛峯寺	墓石建立 平成16年7月15日	高野町高野山553－8 (宗)金剛峯寺	ハ 工作物設置	高野町教育委員会 立会
15	文33号の(11) 平成16年9月2日	高野山町石道	参道改良 平成15年12月15日	高野町高野山636 和歌山県知事	ハ 道路修繕	慎重
16	文33号の(12) 平成16年9月13日	金剛峯寺	墓石修繕・基礎工事 平成16年9月6日	高野町高野山553－1 (宗)金剛峯寺	ハ 工作物設置	高野町教育委員会 立会
17	文33号の(13) 平成16年10月1日	熊野三山	ステージ等設置 平成16年9月27日	本宮町本宮高倉地 熊野本宮大社宮司	ハ 工作物設置	慎重
18	文33号の(14) 平成16年11月2日	金剛峯寺	カメラ設置 平成16年10月26日	高野町高野山152 (宗)金剛峯寺	ハ 工作物設置	慎重
19	文33号の(15) 平成16年11月2日	金剛峯寺	墓石修繕 平成16年9月27日	高野町高野山553－1 (宗)金剛峯寺	ハ 工作物設置	高野町教育委員会 立会
20	文33号の(16) 平成16年11月12日	金剛峯寺	墓地擁壁改修 平成16年10月29日	高野町高野山553－1 (宗)金剛峯寺	ハ 工作物設置	慎重
21	文33号の(17) 平成16年12月3日	金剛峯寺	墓石建立 平成16年10月29日	高野町高野山553－1 (宗)金剛峯寺	ハ 工作物設置	高野町教育委員会 立会
22	文33号の(18) 平成17年1月20日	熊野参詣道	地籍調査に伴う境界杭の設置 平成17年1月13日	熊野川町西字暮ヶ谷他里道	ハ 工作物設置	慎重
23	文33号の(20) 平成17年3月25日	金剛峯寺	墓石建立 平成17年3月23日	高野町高野山553－1 (宗)金剛峯寺	ハ 工作物設置	高野町教育委員会 立会
24	文33号の(21) 平成17年3月30日	熊野参詣道	記念碑建立・案内板移設 平成17年2月1日	中辺路町大字栗栖川字平原859・滝尻王子	ハ 工作物設置	慎重
25	文33号の(22) 平成17年3月30日	高野山町石道	記念碑建立 平成17年2月20日	九度山町大字慈尊院832 (宗)慈尊院	ハ 工作物設置	慎重

国指定史跡現状変更一覧表(進達)

番号	文書番号 日付	史跡名	申請理由 申請日	場所 所有者など	申請者	備考
1	文39号 平成16年4月5日	熊野参詣道	発心門王子跡・休憩所焼失後の撤去 平成16年4月1日	本宮町伏拝1016 個人	本宮町長	和歌山県教育委員会 立会
2	文39号の(2) 平成16年4月12日	和歌山城	和歌山城二の丸西部発掘調査 平成16年4月8日	和歌山市一番丁3番地 和歌山市長	和歌山市長	
3	文39号の(3) 平成16年5月7日	三栖廃寺塔跡	史跡整備 平成16年5月6日	田辺市下三栖 田辺市長	田辺市長	田辺市教育委員会 立会
4	文149号 平成16年6月10日	(特)岩橋千塚古墳群	史跡整備とその事前発掘調査 平成16年6月10日	和歌山市岩橋1833・1834ほか 和歌山県知事	和歌山県教育委員会教育長	
5	文39号の(4) 平成16年6月18日	熊野三山	船蔵の撤去・新築 平成16年6月10日	新宮市新宮1の6 熊野速玉大社	熊野速玉大社宮司	新宮市教育委員会 立会
6	文39号の(6) 平成16年9月2日	高野山町石道	歩道改良工事事前調査 平成16年8月27日	高野町高野山 和歌山県知事	和歌山県知事	
7	文39号の(9) 平成16年11月11日	熊野三山(神倉神社)	神蔵神社石段の保存修理のため事前発掘調査 平成16年11月1日	新宮市新宮字左指ヶ鼻1887～1830 (宗)熊野速玉大社・国土交通省	新宮市長	
8	文39号の(9) 平成16年11月11日	熊野参詣道	高野坂の石畳保存修理 平成16年11月1日	新宮市三輪崎字源ヶ林2180番地 国土交通省	新宮市長	
9	文429号 平成16年11月30日	(特)岩橋千塚古墳群	保存修理工事 平成16年11月30日	和歌山市岩橋1833・1834ほか 和歌山県知事	和歌山県教育委員会教育長	
10	文39号の(10) 平成16年12月21日	高野山町石道	歩道改良工事(町石移設含む) 平成16年12月6日	高野町高野山地内 和歌山県知事	和歌山県知事	和歌山県教育委員会 立会
11	文39号の(12) 平成16年12月22日	和歌山城	上水道配水管敷設工事 平成16年12月6日	和歌山市一番丁3番地 和歌山市長	和歌山市公営企業管理者水道局長	和歌山県教育委員会 立会
12	文39号の(13) 平成16年12月28日	和歌山城	車椅子用通路改修工事 平成16年11月24日	和歌山市一番丁3番地 和歌山市長	和歌山市長	和歌山市教育委員会 立会
13	文39号の(14) 平成16年12月28日	新宮城跡	毀損石垣の写真測量・解体・上面の発掘調査 平成16年12月22日	新宮市新宮字丹鶴7691－4 新宮市	新宮市長	新宮市教育委員会 立会
14	文39号の(15) 平成16年12月28日	紀伊国分寺跡	収蔵施設建設(史跡外)に係る排水溝の設置 平成16年12月16日	打田町大字東国分字八光682の3 打田町長	打田町長	打田町教育委員会 立会
15	文39号の(16) 平成16年12月28日	和歌山城	御橋廊下復元、二の丸西部・西の丸整備 平成16年12月27日	和歌山市一番丁3番地 和歌山市長	和歌山市長	和歌山市教育委員会 立会
16	文39号の(17) 平成17年1月17日	高野山町石道	電線地中化工事 平成16年12月22日	高野町高野241～795 和歌山県知事	高野町長	和歌山県教育委員会 立会
17	文39号の(18) 平成17年1月31日	高野山町石道	台風等による境内地崩壊地の修理 平成17年1月24日	九度山町慈尊院835 (宗)丹生官省符神社	(宗)丹生官省符神社代表役員	和歌山県教育委員会 立会

平成16年度　埋蔵文化財関係届出等件数

文化財保護法根拠条名	指示内容等	道路	河川	港湾	学校	住宅	個人住宅	工場	店舗	住宅兼	その他建物	宅地造成	ゴルフ場	ガス等	農業関係	その他開発	自然災害	保存目的	学術	遺跡整備	計
57条の2	発掘調査				1	16	4		12	2	4	7		2		2		—	—	—	50
	工事立会	1				25	106		6	1	13	6		12		9		—	—	—	179
	慎重工事					1	19			1	4	2		7		1		—	—	—	35
	その他																	—	—	—	0
57条の3	発掘調査	6			1						3					2		—	—	—	12
	工事立会	6	1	1	2						3			14		3	1	—	—	—	31
	慎重工事	1									2			11		5		—	—	—	19
	その他																	—	—	—	0
合計		14	1	1	4	42	129	0	18	4	29	15	0	46	0	22	1	—	—	—	326
57条	試掘・確認調査											2						4			6
	本発掘調査	2	1			1			1		1	1				2					9
58条の2	試掘・確認調査								1		2	1				1		3			8
	本発掘調査	1							1												2
合計		3	1	0	0	1	0	0	3	0	3	4	0	0	0	3	0	7	0	0	25

平成16年度　県内市町村発掘関連事務一覧

	57－2	57－3	58－2		57－2	57－3	58－2
和歌山市	86	10		美浜町	2		
海南市	34	4	4	日高町	1	1	
下津町	1			由良町	1		
野上町				川辺町		1	
美里町				中津村			
打田町	23	2		美山村			
粉河町		1		印南町			
那賀町				みなべ町		1	
桃山町	3	2		龍神村			
貴志川町	7			田辺市	2		
岩出町	25	8		中辺路町			
橋本町	8	9		大塔村			
高野口町	4			本宮町			
九度山町	1			白浜町			
高野町	11	19		日置川町			
かつらぎ町	6			上富田町			
花園村				すさみ町			
有田町	2			串本町			
吉備町	14	1	4	新宮市	8	2	
金屋町	2	1		熊野川町			
清水町				那智勝浦町	1		
湯浅町				太地町			
広川町	1			古座川町			
御坊市	21		2	北山村			

合　計	264	62	10

平成16年度　57条の2　届出一覧

番号	届出等の種類 根拠条名	遺跡の名称 時代・種類 所在地	届出等の日付	教育委員会による処理 文書番号 指示の日付	指示事項	備考
1	57－2	田殿尾中遺跡 弥生～古墳・散布地 吉備町角215	3月18日	文第7号 平成16年4月5日	工事立会	
2	57－2	鳴神Ⅴ遺跡 弥生～平安・散布地 和歌山市秋月字中瀬176-4,5,8	3月19日	文第7号の(2) 平成16年4月5日	浄化槽部分工事立会	
3	57－2	津秦Ⅱ遺跡 古墳～奈良・散布地 和歌山市井辺字儀法堂45-30	3月22日	文第7号の(3) 平成16年4月5日	浄化槽部分工事立会	
4	57－2	西田井遺跡 弥生～中世・集落跡 和歌山市西田井字若嶋385,386番	3月23日	文第7号の(4) 平成16年4月5日	工事立会	
5	57－2	井辺遺跡 弥生・散布地 和歌山市神前字舟田144-1他	3月24日	文第7号の(5) 平成16年4月5日	工事立会	
6	57－2	井辺遺跡 弥生・散布地 和歌山市津秦字高屋145-16	3月24日	文第7号の(6) 平成16年4月5日	確認調査	
7	57－2	太田・黒田遺跡 弥生～奈良・集落跡 和歌山市黒田173番地3	3月25日	文第7号の(7) 平成16年4月5日	確認調査	
8	57－2	太田・黒田遺跡 弥生～奈良・集落跡 和歌山市黒田105-1,3,6	3月30日	文第7号の(8) 平成16年4月5日	確認調査	
9	57－2	粟島遺跡 奈良～平安・散布地 打田町大字東大井字粟嶋436-11	3月29日	文第7号の(9) 平成16年4月5日	慎重工事	
10	57－2	名古曽Ⅰ遺跡 弥生～奈良・散布地 高野口町名古曽719-1	3月26日	文第7号の(10) 平成16年4月5日	工事立会	
11	57－2	蛭田坪遺跡 弥生～古墳・散布地 御坊市湯川町小松原字九原坪572番他	3月31日	文第7号の(11) 平成16年4月21日	工事立会	
12	57－2	蛭田坪遺跡 弥生～古墳・散布地 御坊市湯川町財部字深洲37-18	3月31日	文第7号の(12) 平成16年4月21日	工事立会	
13	57－2	岡田Ⅱ遺跡 弥生～中世・散布地 岩出町大字岡田字上野761-3	3月26日	文第7号の(13) 平成16年4月21日	慎重工事	
14	57－2	平尾遺跡 縄文～室町 和歌山市木枕字矢出垣内287番2	4月2日	文第7号の(14) 平成16年4月21日	確認調査	
15	57－2	井辺遺跡 弥生・散布地 和歌山市井辺27-7	4月5日	文第7号の(15) 平成16年4月21日	確認調査	
16	57－2	粟島遺跡 奈良～平安・散布地 打田町大字東大井字粟嶋437-16	4月9日	文第7号の(16) 平成16年4月21日	慎重工事	
17	57－2	伝承の館跡 中世・館跡 貴志川町大字神戸字稲戸703番9	4月13日	文第7号の(17) 平成16年4月27日	工事立会	
18	57－2	太田・黒田遺跡、太田城跡 弥生～中世・集落跡 和歌山市太田字城跡479-6	4月15日	文第7号の(18) 平成16年4月27日	確認調査	
19	57－2	神前Ⅱ遺跡 ・散布地 和歌山市神前字宮出168-3他	4月16日	文第7号の(19) 平成16年4月27日	確認調査	
20	57－2	岡田Ⅱ遺跡 弥生～中世・散布地 打田町大字西井阪字花井107-15	4月16日	文第7号の(20) 平成16年4月27日	浄化槽部分工事立会	
21	57－2	上尾遺跡 弥生～古墳・散布地 桃山町大字調月字北山ノ台769-142番地	4月8日	文第7号の(21) 平成16年4月27日	浄化槽部分工事立会	
22	57－2	佐野遺跡 弥生～古墳・散布地 かつらぎ町佐野557-1	4月19日	文第7号の(22) 平成16年4月27日	工事立会	
23	57－2	藤並地区遺跡 旧石器～縄文・散布地 吉備町大字天満字土生西町212番2、213番2	4月26日	文第7号の(23) 平成16年5月12日	擁壁部工事立会	

平成16年度　57条の2　届出一覧

番号	届出等の種類 根拠条名	遺跡の名称 時代・種類 所在地	届出等の日付	教育委員会による処理 文書番号 指示の日付	指示事項	備考
24	57－2	中井原遺跡 中世・散布地 金屋町中野54-2	4月26日	文第7号の(24) 平成16年5月12日	浄化槽部分工事立会	
25	57－2	鳴神Ⅱ遺跡 弥生～平安・用水路跡 和歌山市鳴神字四面田103-8	4月26日	文第7号の(25) 平成16年5月12日	浄化槽部分工事立会	
26	57－2	木ノ本Ⅱ遺跡 ・散布地 和歌山市木ノ本1149	4月28日	文第7号の(26) 平成16年5月12日	工事立会	
27	57－2	王城跡 中世・城館跡 打田町古和田字中通り302-1	4月26日	文第7号の(27) 平成16年5月12日	浄化槽部分工事立会	
28	57－2	佐野廃寺跡 古代・寺院跡 かつらぎ町大字佐野536-3	5月6日	文第7号の(28) 平成16年5月12日	工事立会	
29	57－2	岡村遺跡 弥生～古墳・散布地 海南市岡田字柿之坪145-5	5月6日	文第7号の(29) 平成16年5月14日	浄化槽部分工事立会	
30	57－2	岡村遺跡 弥生～古墳・散布地 海南市岡田字柿之坪145-11	5月6日	文第7号の(30) 平成16年5月14日	浄化槽部分工事立会	
31	57－2	岡村遺跡 弥生～古墳・散布地 海南市岡田字柿之坪145-12	5月6日	文第7号の(31) 平成16年5月14日	浄化槽部分工事立会	
32	57－2	岡村遺跡 弥生～古墳・散布地 海南市岡田字柿之坪145-9	5月6日	文第7号の(32) 平成16年5月14日	浄化槽部分工事立会	
33	57－2	岡村遺跡 弥生～古墳・散布地 海南市岡田字柿之坪145-3	5月6日	文第7号の(33) 平成16年5月14日	浄化槽部分工事立会	
34	57－2	岡村遺跡 弥生～古墳・散布地 海南市岡田字境田164番地2	5月6日	文第7号の(34) 平成16年5月14日	工事立会	
35	57－2	糸我中番遺跡 有田市糸我町中番字宮城181-1	5月7日	文第7号の(35) 平成16年5月14日	工事立会	
36	57－2	太田・黒田遺跡、太田城跡 弥生～中世・集落跡 和歌山市太田字城跡479-1	5月10日	文第7号の(36) 平成16年5月14日	確認調査	
37	57－2	木ノ本Ⅲ遺跡 ・散布地 和歌山市木ノ本748,749-1・3	5月10日	文第7号の(37) 平成16年5月14日	浄化槽部分工事立会	
38	57－2	太田・黒田遺跡、太田城跡 弥生～中世・集落跡 和歌山市太田字城跡516番地6,34-14-1	5月10日	文第7号の(38) 平成16年5月14日	工事立会	
39	57－2	東田中神社遺跡 ・散布地 打田町大字打田字小門646-2・3	5月10日	文第7号の(39) 平成16年5月20日	浄化槽部分工事立会	
40	57－2	岡村遺跡 弥生～古墳・散布地 海南市岡田字柿之坪145-7	5月14日	文第7号の(40) 平成16年5月20日	浄化槽部分工事立会	
41	57－2	川辺遺跡 ・集落跡 和歌山市川辺字薬師堂277-11・13	5月11日	文第7号の(41) 平成16年5月20日	浄化槽部分工事立会	
42	57－2	佐野遺跡 弥生～古代・集落跡 かつらぎ町佐野805-1番地	5月14日	文第7号の(42) 平成16年5月20日	工事立会	
43	57－2	津井切遺跡 弥生・散布地 御坊市藤田町吉田766	5月13日	文第7号の(43) 平成16年5月20日	工事立会	
44	57－2	岡村遺跡 弥生～古墳・散布地 海南市岡田字柿之坪145-10	5月14日	文第7号の(44) 平成16年5月20日	浄化槽部分工事立会	
45	57－2	権田池古墳 古墳・古墳 貴志川町神戸1082-7・9	5月17日	文第7号の(45) 平成16年5月20日	工事立会	
46	57－2	根来寺坊院跡 中世～・寺院跡 岩出町根来字東谷2150-2	5月14日	文第7号の(46) 平成16年5月25日	工事立会	

平成16年度　57条の2　届出一覧

番号	届出等の種類 根拠条名	遺跡の名称 時代・種類 所在地	届出等の日付	教育委員会による処理 文書番号 指示の日付	指示事項	備考
47	57－2	鳴神Ⅲ遺跡 ・散布地 和歌山市鳴神字惣垣内547番－5	5月17日	文第7号の(47) 平成16年5月25日	浄化槽部分工事立会	
48	57－2	伏山城跡 中世・山城跡 海南市多田543	5月20日	文第7号の(48) 平成16年5月25日	工事立会	
49	57－2	興国寺跡 鎌倉・寺院跡 由良町門前801	5月20日	文第7号の(49) 平成16年5月25日	工事立会	
50	57－2	津井切遺跡 弥生・散布地 御坊市藤田町吉田字東院726番12	5月17日	文第7号の(50) 平成16年5月25日	工事立会	
51	57－2	津井切遺跡 弥生・散布地 御坊市藤田町吉田字東院726番19	5月17日	文第7号の(51) 平成16年5月25日	工事立会	
52	57－2	高井遺跡 縄文・散布地 和歌山市直川字木ノ下96番5	5月19日	文第7号の(52) 平成16年6月2日	浄化槽部分工事立会	
53	57－2	八丁田圃遺跡 縄文～鎌倉・散布地 田辺市秋津町字西八町238-12	5月21日	文第7号の(53) 平成16年6月2日	浄化槽部分工事立会	
54	57－2	貴志城跡 中世・城跡 貴志川町大字上野山字鍛屋垣内250番	5月21日	文第7号の(54) 平成16年6月2日	浄化槽部分工事立会	
55	57－2	粟島遺跡 中世・散布地 打田町大字東大井字粟嶋419-23	5月21日	文第7号の(55) 平成16年6月2日	慎重工事	
56	57－2	名古曽Ⅳ遺跡 ・散布地 高野口町大字名古曽字住吉坪456番7	5月21日	文第7号の(56) 平成16年6月2日	慎重工事	
57	57－2	且来１遺跡 縄文・散布地 海南市且来字大荒田29-14	5月25日	文第7号の(57) 平成16年6月2日	浄化槽部分工事立会	
58	57－2	紀三井寺塩田跡 江戸・塩田 和歌山市紀三井寺字半済513番地1	5月24日	文第7号の(58) 平成16年6月2日	浄化槽部分工事立会	
59	57－2	紀三井寺塩田跡 江戸・塩田 和歌山市紀三井寺字半済513番地1	5月24日	文第7号の(59) 平成16年6月2日	浄化槽部分工事立会	
60	57－2	和歌山城跡 近世・城跡 和歌山市三番丁76	5月26日	文第7号の(60) 平成16年6月2日	工事立会	
61	57－2	粟島遺跡 中世・散布地 打田町大字東大井字正覚82番35	5月28日	文第7号の(61) 平成16年6月2日	浄化槽部分工事立会	
62	57－2	岩内１遺跡 ・散布地 御坊市岩内551-2	4月28日	文第7号の(62) 平成16年6月10日	工事立会	
63	57－2	天神社跡 ・神社跡 広川町大字山本字天神谷1432番3	5月31日	文第7号の(63) 平成16年6月10日	擁壁・浄化槽部分立会	
64	57－2	田殿尾中遺跡 ・散布地 吉備町大字尾中字九文手97番	6月2日	文第7号の(64) 平成16年6月10日	工事立会	
65	57－2	粟島遺跡 中世・散布地 打田町大字東大井字粟嶋419-8	5月28日	文第7号の(65) 平成16年6月10日	浄化槽部分工事立会	
66	57－2	井辺遺跡 ・散布地 和歌山市津秦字高屋145番16	6月1日	文第7号の(66) 平成16年6月10日	確認調査	
67	57－2	元遺跡 ・散布地 桃山町大字元字東嶋481,482-1	6月7日	文第7号の(67) 平成16年6月10日	慎重工事	
68	57－2	畑毛遺跡 ・散布地 岩出町大字西野字春面22-1	6月3日	文第7号の(68) 平成16年6月10日	浄化槽部分工事立会	
69	57－2	岡村遺跡 弥生～中世・集落跡 海南市岡田120-5	6月7日	文第7号の(69) 平成16年6月10日	工事立会	

平成16年度　57条の2　届出一覧

番号	届出等の種類 根拠条名	遺跡の名称 時代・種類 所在地	届出等の日付	教育委員会による処理 文書番号 指示の日付	指示事項	備考
70	57－2	堅田遺跡 弥生～中世・集落跡 御坊市湯川町財部201番1・6・10	6月10日	文第7号の(70) 平成16年6月18日	工事立会	
71	57－2	堅田遺跡 弥生～中世・集落跡 御坊市湯川町財部字平田616-1、615-2	6月11日	文第7号の(71) 平成16年6月18日	工事立会	
72	57－2	根来寺坊院跡 中世～・寺院跡 岩出町大字山田字太子コウ89-117・118	6月8日	文第7号の(72) 平成16年6月18日	慎重工事	
73	57－2	岡田遺跡 弥生～中世・散布地 岩出町大字岡田字古堂269-1	6月10日	文第7号の(73) 平成16年6月18日	浄化槽部分工事立会	
74	57－2	山崎遺跡 ・散布地 岩出町大字金屋字八幡309番1他	6月15日	文第7号の(74) 平成16年6月28日	工事立会	
75	57－2	関戸遺跡 ・散布地 和歌山市関戸4丁目2-54	6月9日	文第7号の(75) 平成16年6月28日	工事立会	
76	57－2	原野遺跡 ・散布地 海南市原野105-2	6月21日	文第7号の(76) 平成16年6月28日	工事立会	
77	57－2	木ノ本Ⅲ遺跡 ・散布地 和歌山市木ノ本字谷河橋751-8	6月18日	文第7号の(77) 平成16年6月28日	浄化槽部分工事立会	
78	57－2	粟島遺跡 中世・散布地 打田町大字東大井字正覚82番25号	6月22日	文第7号の(78) 平成16年6月28日	浄化槽部分工事立会	
79	57－2	松原Ⅱ遺跡 ・散布地 和歌山市馬場字宮ノ前32番1,3	6月22日	文第7号の(79) 平成16年6月28日	工事立会	
80	57－2	上野王子跡 中世～・王子跡 御坊市名田町上野1529-5	6月14日	文第7号の(80) 平成16年6月28日	工事立会	
81	57－2	神野々Ⅰ遺跡 弥生～中世・散布地 橋本市神野々字柳下977番	6月23日	文第7号の(81) 平成16年7月14日	確認調査	
82	57－2	神前遺跡 弥生・散布地 和歌山市神前字千本510-1他	6月28日	文第7号の(82) 平成16年7月14日	確認調査	
83	57－2	関戸遺跡 弥生～室町・散布地 和歌山市関戸3丁目3－22	7月2日	文第7号の(83) 平成16年7月14日	工事立会	
84	57－2	根来寺坊院跡 寺院跡・中世～ 岩出町根来地内	6月30日	文第7号の(84) 平成16年7月14日	慎重工事	
85	57－2	根来寺坊院跡 寺院跡・中世～ 岩出町根来地内	6月30日	文第7号の(85) 平成16年7月14日	慎重工事	
86	57－2	中黒Ⅱ遺跡 弥生～奈良・散布地 岩出町大字中黒字前島546他	6月30日	文第7号の(86) 平成16年7月14日	確認調査	
87	57－2	中飯降遺跡 古墳～中世・散布地 かつらぎ町中飯降字大将軍前1107、1106-4	7月9日	文第7号の(87) 平成16年7月26日	慎重工事	
88	57－2	平山城跡 中世・城跡 高野口町大字応其字平山494番8,9	7月6日	文第7号の(88) 平成16年7月26日	慎重工事	
89	57－2	金剛峯寺遺跡 古代～・寺院跡 高野町高野山44-49	7月12日	文第7号の(89) 平成16年7月26日	慎重工事	
90	57－2	太田・黒田遺跡 弥生～・集落跡 和歌山市太田420	7月12日	文第7号の(90) 平成16年7月26日	確認調査	
91	57－2	粟島遺跡 中世～・散布地 打田町大字東大井字粟嶋419番2	7月15日	文第7号の(91) 平成16年7月26日	工事立会	
92	57－2	金剛峯寺遺跡 古代～・寺院跡 高野町大字高野山字蓮華谷455、454-2・3	7月20日	文第7号の(92) 平成16年7月26日	慎重工事	

平成16年度　57条の2　届出一覧

番号	届出等の種類 根拠条名	遺跡の名称 時代・種類 所在地	届出等の日付	教育委員会による処理 文書番号 指示の日付	指示事項	備考
93	57－2	金剛峯寺遺跡 古代～・寺院跡 高野町大字高野山86番地	7月20日	文第7号の(93) 平成16年7月26日	工事立会	
94	57－2	岡村遺跡 古代～・寺院跡 海南市岡田字柿之坪145-4	7月23日	文第7号の(94) 平成16年7月29日	浄化槽立会	
95	57－2	岡村遺跡 古代～・寺院跡 海南市岡田字柿之坪145-6	7月23日	文第7号の(95) 平成16年7月29日	浄化槽立会	
96	57－2	栗島遺跡 古代～・寺院跡 打田町大字東大井字栗嶋419-8の一部	7月20日	文第7号の(96) 平成16年7月29日	浄化槽立会	
97	57－2	金剛峯寺遺跡 古代～・寺院跡 高野町高野山45-35,45-46	7月21日	文第7号の(97) 平成16年7月29日	慎重工事	
98	57－2	金剛峯寺遺跡 古代～・寺院跡 高野町高野山805番地	7月28日	文第7号の(98) 平成16年8月3日	工事立会	
99	57－2	堅田遺跡 弥生～・集落跡 御坊市湯川町財部639-2	7月28日	文第7号の(99) 平成16年8月3日	確認調査	
100	57－2	川関遺跡 中世～・散布地 那智勝浦町天満30-8	7月29日	文第7号の(100) 平成16年8月3日	浄化槽部分工事立会	
101	57－2	垂井榎塚遺跡 弥生・散布地 橋本市隅田町垂井字榎木塚529、531番地	7月26日	文第7号の(101) 平成16年8月12日	浄化槽部分工事立会	
102	57－2	西国分Ⅱ遺跡 奈良・散布地 岩出町岡田4-1,4-5	7月28日	文第7号の(102) 平成16年8月12日	工事立会	
103	57－2	津秦遺跡 弥生・散布地 和歌山市津秦字天神前91番1	8月4日	文第7号の(103) 平成16年8月12日	確認調査	
104	57－2	津秦遺跡 弥生・散布地 和歌山市津秦字天神前91番1	8月4日	文第7号の(104) 平成16年8月12日	確認調査	
105	57－2	堅田遺跡 弥生～中世・集落跡 御坊市湯川町財部字森崎121-2,122-2	5月26日	文第7号の(105) 平成16年8月27日	工事立会	
106	57－2	紀三井寺塩田跡 江戸・塩田 和歌山市紀三井寺字寄洲郷800番83	8月10日	文第7号の(106) 平成16年8月27日	工事立会	
107	57－2	佐野遺跡 弥生～中世・集落跡 かつらぎ町佐野568-5	8月12日	文第7号の(107) 平成16年8月27日	工事立会	
108	57－2	岩内城跡 中世・城跡 御坊市岩内字竹之浦485番5	8月17日	文第7号の(108) 平成16年8月27日	工事立会	
109	57－2	岩内城跡 中世・城跡 御坊市岩内字竹之浦485番3	8月17日	文第7号の(109) 平成16年8月27日	工事立会	
110	57－2	元遺跡 弥生～中世・散布地 桃山町大字元字東嶋479番11	8月24日	文第7号の(110) 平成16年9月9日	慎重工事	
111	57－2	荒田遺跡 弥生～中世・散布地 岩出町大字堀口字中池8番3他	8月25日	文第7号の(111) 平成16年9月9日	確認調査	
112	57－2	佐野遺跡 弥生～古墳・散布地 新宮市佐野字根地原924-6	8月27日	文第7号の(112) 平成16年9月9日	慎重工事	
113	57－2	根来寺坊院跡 中世～・寺院跡 岩出町根来地内	9月1日	文第7号の(113) 平成16年9月9日	慎重工事	
114	57－2	岩橋Ⅱ遺跡 古墳・散布地 和歌山市岩橋字高橋1320-13	9月2日	文第7号の(114) 平成16年9月9日	浄化槽部分工事立会	
115	57－2	根来寺坊院跡 中世～・寺院跡 岩出町大字根来字洞尾1679-2、1681-1・4、1682-1	9月6日	文第7号の(115) 平成16年9月21日	慎重工事	

平成16年度　57条の2　届出一覧

番号	届出等の種類 根拠条名	遺跡の名称 時代・種類 所在地	届出等の日付	教育委員会による処理 文書番号 指示の日付	指示事項	備考
116	57－2	佐野遺跡 弥生～古墳・散布地 新宮市佐野字根地原919-6	9月14日	文第7号の(116) 平成16年9月21日	浄化槽部分工事立会	
117	57－2	木ノ本Ⅲ遺跡 ・散布地 和歌山市木ノ本字谷河橋751-6	9月13日	文第7号の(117) 平成16年9月21日	浄化槽部分工事立会	
118	57－2	楠古墳群・平尾遺跡 古墳・古墳 和歌山市平尾字芝崎129-1	9月14日	文第7号の(118) 平成16年9月21日	工事立会	
119	57－2	岩橋Ⅱ遺跡 古墳・散布地 和歌山市岩橋字高橋1314番1、1315番1、1316番1	9月14日	文第7号の(119) 平成16年9月21日	確認調査	
120	57－2	岡田Ⅱ遺跡 弥生～中世・散布地 打田町大字下井阪字西垣内12-1	9月17日	文第7号の(120) 平成16年10月1日	浄化槽部分工事立会	
121	57－2	神前遺跡 弥生・散布地 和歌山市神前字千本511番2他5筆	9月21日	文第7号の(121) 平成16年10月1日	確認調査	
122	57－2	銭坂城跡 中世・城跡 橋本市野字城之内268-6	9月14日	文第7号の(122) 平成16年10月1日	慎重工事	
123	57－2	上田遺跡 弥生・集落跡 橋本市上田225	9月16日	文第7号の(123) 平成16年10月1日	工事立会	
124	57－2	垂井女房ヶ坪遺跡 古代～・散布地 橋本市隅田町垂井字女房坪61-5、62-5、63-5、64-6	9月17日	文第7号の(124) 平成16年10月1日	確認調査	
125	57－2	平山城跡 中世・城跡 高野口町大字応其平山437番61	9月22日	文第7号の(125) 平成16年10月1日	慎重工事	
126	57－2	藤並地区遺跡 旧石器～・散布地 吉備町大字土生字山崎308-1	9月16日	文第7号の(126) 平成16年10月18日	浄化槽部分工事立会	
127	57－2	和歌山城跡 近世・城跡 和歌山市七番丁27	9月27日	文第7号の(127) 平成16年10月18日	工事立会	
128	57－2	井辺遺跡 弥生～・集落跡 和歌山市神前字曽根田14番10	10月1日	文第7号の(128) 平成16年10月18日	工事立会	
129	57－2	山吹丁遺跡 弥生～古墳・散布地 和歌山市東釘貫丁2丁目5番	10月1日	文第7号の(129) 平成16年10月18日	工事立会	
130	57－2	胡麻生館跡 中世・城跡 橋本市胡麻生字尾崎114番1、4	9月29日	文第7号の(130) 平成16年10月18日	慎重工事	
131	57－2	荒田遺跡 弥生～中世・散布地 岩出町大字根来字村前607番1	9月28日	文第7号の(131) 平成16年10月18日	確認調査	
132	57－2	東郷遺跡 弥生～・散布地 御坊市藤田町藤井1905-4～6、1907-1	9月30日	文第7号の(132) 平成16年10月18日	工事立会	
133	57－2	東国分Ⅱ遺跡 奈良～中世・散布地 岩出町大字西国分字松ノ上62番3、50番3	10月1日	文第7号の(133) 平成16年10月18日	浄化槽部分工事立会	
134	57－2	且来Ⅱ遺跡 弥生・散布地 海南市且来字城ノ内12-1	9月22日	文第7号の(134) 平成16年10月18日	工事立会	
135	57－2	亀川遺跡 弥生～・散布地 海南市且来字野田246-7	10月5日	文第7号の(135) 平成16年10月18日	浄化槽部分工事立会	
136	57－2	亀川遺跡 弥生～・散布地 海南市且来字野田246-8	10月5日	文第7号の(136) 平成16年10月18日	浄化槽部分工事立会	
137	57－2	亀川遺跡 弥生～・散布地 海南市且来字野田246-10	10月5日	文第7号の(137) 平成16年10月18日	浄化槽部分工事立会	
138	57－2	岩内Ⅱ遺跡 ・散布地 御坊市岩内字岡ノ前1036-9・13・14	10月6日	文第7号の(138) 平成16年10月18日	工事立会	

平成16年度　57条の2　届出一覧

番号	届出等の種類 根拠条名	遺跡の名称 時代・種類 所在地	届出等の日付	教育委員会による処理 文書番号 指示の日付	指示事項	備考
139	57－2	荊木遺跡 弥生・散布地 日高町大字萩原字御子録406番1	9月30日	文第7号の(139) 平成16年10月18日	浄化槽部分工事立会	
140	57－2	立神社祭祀遺跡 ・散布地 下津町大字引尾字宮尾72-1	10月8日	文第7号の(140) 平成16年10月18日	浄化槽部分工事立会	
141	57－2	堂の前西沼遺跡 弥生・散布地 美浜町大字田井字西沼334番6	10月14日	文第7号の(141) 平成16年10月20日	慎重工事	
142	57－2	池田遺跡 縄文・散布地 和歌山市六十谷字真谷裾1189-19	10月4日	文第7号の(142) 平成16年10月20日	浄化槽部分工事立会	
143	57－2	榎原遺跡 古墳・散布地 和歌山市榎原字広瀬61番2、70番2	10月5日	文第7号の(143) 平成16年10月20日	工事立会	
144	57－2	紀三井寺塩田跡 江戸・塩田跡 和歌山市紀三井寺字中州新畑782番2、784番1	10月6日	文第7号の(144) 平成16年10月20日	工事立会	
145	57－2	紀三井寺塩田跡 江戸・塩田跡 和歌山市紀三井寺字中州新畑782番2、783番2、1784番1	10月6日	文第7号の(145) 平成16年10月20日	工事立会	
146	57－2	井辺遺跡 古墳～・散布地 和歌山市神前110番地18	10月7日	文第7号の(146) 平成16年10月20日	浄化槽部分工事立会	
147	57－2	土居跡 中世・館跡 海南市九品寺字中尾279番2	10月12日	文第7号の(147) 平成16年10月20日	浄化槽部分工事立会	
148	57－2	古佐田遺跡 古代・散布地 橋本市古佐田1丁目220-1、221、69-1他33筆	10月21日	文第7号の(148) 平成16年10月29日	慎重工事	
149	57－2	中殿土居跡 中世・城跡 海南市野上中448-1・2、449-2・3	10月22日	文第7号の(149) 平成16年10月29日	工事立会	
150	57－2	東郷遺跡 弥生～・散布地 御坊市藤田町藤井字宮田1913番2、1917番3、1918番1	10月18日	文第7号の(150) 平成16年10月29日	工事立会	
151	57－2	津井切遺跡 ・散布地 御坊市藤田町吉田字津井切892番、893番	10月18日	文第7号の(151) 平成16年10月29日	工事立会	
152	57－2	岩橋Ⅱ遺跡 古墳・散布地 和歌山市岩橋字高橋1320-5	10月18日	文第7号の(152) 平成16年10月29日	浄化槽部分工事立会	
153	57－2	山吹丁遺跡 ・散布地 和歌山市元寺町五丁目52・53	10月21日	文第7号の(153) 平成16年10月29日	確認調査	
154	57－2	八岡山城跡 中世・城跡 貴志川町大字岸宮字八岡990-60	10月22日	文第7号の(154) 平成16年11月8日	浄化槽部分工事立会	
155	57－2	太田・黒田遺跡 弥生～・集落跡 和歌山市黒田82-3	10月25日	文第7号の(155) 平成16年11月8日	確認調査	
156	57－2	秋月遺跡 弥生～中世・集落跡 和歌山市秋月532-6	10月26日	文第7号の(156) 平成16年11月8日	浄化槽部分工事立会	
157	57－2	岡田Ⅱ遺跡 弥生、中世・散布地 打田町大字下井阪字三ツ塚485番1	10月25日	文第7号の(157) 平成16年11月8日	浄化槽部分工事立会	
158	57－2	岡田Ⅱ遺跡 弥生、中世・散布地 打田町大字西井阪字花井107-13	10月29日	文第7号の(158) 平成16年11月8日	浄化槽部分工事立会	
159	57－2	岡田Ⅱ遺跡 弥生、中世・散布地 打田町大字西井阪字花井107-18	10月29日	文第7号の(159) 平成16年11月8日	浄化槽部分工事立会	
160	57－2	粟島遺跡 中世・散布地 打田町大字赤尾字河西坪472-10	10月29日	文第7号の(160) 平成16年11月8日	浄化槽部分工事立会	
161	57－2	亀川遺跡 弥生～・散布地 海南市且来246-9	10月29日	文第7号の(161) 平成16年11月8日	浄化槽部分工事立会	

平成16年度　57条の2　届出一覧

番号	届出等の種類 根拠条名	遺跡の名称 時代・種類 所在地	届出等の日付	教育委員会による処理 文書番号 指示の日付	指示事項	備考
162	57－2	根来寺坊院跡 中世～・寺院跡 岩出町大字根来字東谷2230-5	10月25日	文第7号の(162) 平成16年11月8日	慎重工事	
163	57－2	歓喜寺跡 鎌倉・寺院跡 金屋町歓喜寺233-3	10月24日	文第7号の(163) 平成16年11月16日	工事立会	
164	57－2	坂本屋敷跡 中世・屋敷跡 海南市藤白字濱端166-9	11月1日	文第7号の(164) 平成16年11月16日	確認調査	
165	57－2	八丁田圃遺跡 縄文～鎌倉・散布地 田辺市秋津町字西八丁238-14	11月2日	文第7号の(165) 平成16年11月16日	浄化槽部分工事立会	
166	57－2	神前遺跡 ・散布地 和歌山市坂田字塩田122番1・4・5・6、110番、111番1、坂田字瓜野124番、126番、127番、132番1、神前字千本503番3、504番1、508番1、515番1、516番1，517番1・2、518番1・2、519番、522番1、523番1、524番、525番1、526番2	11月2日	文第7号の(166) 平成16年11月16日	確認調査	
167	57－2	尼ヶ辻遺跡 中世～・寺院跡 岩出町大字根来字中溝634、636番	11月4日	文第7号の(167) 平成16年11月16日	確認調査	
168	57－2	田殿尾中遺跡 弥生～・集落跡 吉備町出303-1	11月9日	文第7号の(168) 平成16年11月16日	浄化槽部分工事立会	
169	57－2	今市仮城跡 中世・城跡 海南市日方字井松原1167-5、1167-8、1187-1	11月11日	文第7号の(169) 平成16年11月25日	確認調査	
170	57－2	紀三井寺塩田跡 江戸・塩田跡 和歌山市紀三井寺字半済513番6	11月11日	文第7号の(170) 平成16年11月25日	浄化槽部分工事立会	
171	57－2	津井切遺跡 弥生～・散布地 御坊市藤田町吉田字東院726番20	11月15日	文第7号の(171) 平成16年11月25日	工事立会	
172	57－2	岡田Ⅱ遺跡 中世・散布地 打田町大字西井阪字花井202-1	11月17日	文第7号の(172) 平成16年11月25日	浄化槽部分工事立会	
173	57－2	八岡山城跡 中世・山城 貴志川町大字岸宮字西宮1225-13	11月16日	文第7号の(173) 平成16年11月30日	浄化槽部分工事立会	
174	57－2	紀伊国分寺跡 古代～・寺院跡 打田町東国分字宮ノ前624	11月17日	文第7号の(174) 平成16年11月30日	慎重工事	
175	57－2	土居遺跡 有田市宮原町新町字中筋246番1	11月16日	文第7号の(175) 平成16年11月30日	工事立会	
176	57－2	八岡山城跡 中世・山城 貴志川町大字岸宮字八岡990-34	11月22日	文第7号の(176) 平成16年11月30日	浄化槽部分工事立会	
177	57－2	岡田Ⅱ遺跡 弥生～中世 岩出町大字岡田字上野770	11月22日	文第7号の(177) 平成16年11月30日	浄化槽部分工事立会	
178	57－2	小松原Ⅱ遺跡 弥生～中世・散布地 御坊市湯川町小松原367-2	11月22日	文第7号の(178) 平成16年11月30日	工事立会	
179	57－2	小松原Ⅱ遺跡 弥生～中世・散布地 御坊市湯川町小松原367-2	11月22日	文第7号の(179) 平成16年12月9日	工事立会	
180	57－2	太田・黒田遺跡 弥生～中世・集落跡 和歌山市黒田字桑ノ木255番14,3,4	11月22日	文第7号の(180) 平成16年12月9日	工事立会	
181	57－2	紀三井寺塩田跡 江戸・塩田跡 和歌山市布引字北出373番1,2	11月22日	文第7号の(181) 平成16年12月9日	工事立会	
182	57－2	井辺遺跡 古墳・散布地 和歌山市井辺字浮長112番1,2,3,4,5	11月25日	文第7号の(182) 平成16年12月9日	確認調査	
183	57－2	岡田Ⅱ遺跡 弥生～中世・散布地 打田町大字西井阪字陰木268	11月22日	文第7号の(183) 平成16年12月9日	工事立会	

平成16年度　57条の2　届出一覧

番号	届出等の種類 根拠条名	遺跡の名称 時代・種類 所在地	届出等の日付	教育委員会による処理 文書番号 指示の日付	指示事項	備考
184	57－2	根来寺坊院跡 中世～・寺院跡 岩出町根来2043-1	11月26日	文第7号の(184) 平成16年12月9日	確認調査	
185	57－2	西庄遺跡 古墳～中世・散布地 和歌山市本脇字田井田坪29番2	12月1日	文第7号の(185) 平成16年12月15日	確認調査	
186	57－2	岩橋Ⅱ遺跡 古墳・散布地 和歌山市岩橋字高橋1338-1	12月1日	文第7号の(186) 平成16年12月15日	確認調査	
187	57－2	且来Ⅵ遺跡 弥生～・散布地 海南市且来字石丁57-2	12月6日	文第7号の(187) 平成16年12月15日	工事立会	
188	57－2	根来寺坊院跡 中世～・寺院跡 岩出町大字根来字洞尾1709-1、1710-2	12月6日	文第7号の(188) 平成16年12月15日	工事立会	
189	57－2	高井遺跡 ・散布地 和歌山市直川字高井垣内1233-1	12月3日	文第7号の(189) 平成16年12月15日	浄化槽部分工事立会	
190	57－2	高井遺跡 ・散布地 和歌山市直川字高井垣内1233-1	12月3日	文第7号の(190) 平成16年12月15日	浄化槽部分工事立会	
191	57－2	木ノ本Ⅰ遺跡 ・散布地 和歌山市西ノ庄字宮下30,31	12月10日	文第7号の(191) 平成16年12月27日	確認調査	
192	57－2	井辺遺跡 弥生～・散布地 和歌山市神前字舟田121-1・2	12月9日	文第7号の(192) 平成16年12月27日	確認調査	
193	57－2	佐野遺跡 弥生～中世・集落跡 かつらぎ町大字佐野字塔ノ檀542-1	12月14日	文第7号の(193) 平成16年12月27日	慎重工事	
194	57－2	金剛峯寺遺跡 古代～・寺院跡 高野町高野山385	12月14日	文第7号の(194) 平成16年12月27日	確認調査	
195	57－2	堅田遺跡 弥生～中世・集落跡 御坊市薗77-3	12月14日	文第7号の(195) 平成16年12月27日	工事立会	
196	57－2	佐野遺跡 ・散布地 新宮市佐野字根地原1009番3	12月15日	文第7号の(196) 平成16年12月27日	慎重工事	
197	57－2	岡村遺跡 弥生～中世・集落跡 海南市岡田字境田164番3	12月10日	文第7号の(197) 平成16年12月27日	浄化槽部分工事立会	
198	57－2	亀川遺跡 縄文～・散布地 海南市且来字野田246-5	12月15日	文第7号の(198) 平成16年12月27日	浄化槽部分工事立会	
199	57－2	紀三井寺塩田跡 江戸・塩田跡 和歌山市紀三井寺字中州新畑777-6・15	12月13日	文第7号の(199) 平成16年12月27日	工事立会	
200	57－2	紀三井寺塩田跡 江戸・塩田跡 和歌山市紀三井寺字中州新畑787-1・3・4・6	12月16日	文第7号の(200) 平成16年12月27日	工事立会	
201	57－2	木ノ本Ⅲ遺跡 ・散布地 和歌山市木ノ本字谷河橋751-12	12月22日	文第7号の(201) 平成16年1月11日	浄化槽部分工事立会	
202	57－2	根来寺坊院跡 中世～・寺院跡 岩出町根来地内	12月24日	文第7号の(202) 平成16年1月11日	慎重工事	
203	57－2	佐野遺跡 弥生～・散布地 新宮市佐野字根地原889-1,890-1	12月28日	文第7号の(203) 平成16年1月11日	工事立会	
204	57－2	藤並地区遺跡 旧石器～・散布地 吉備町天満126-5	12月24日	文第7号の(204) 平成16年1月11日	発掘調査	
205	57－2	荒田遺跡 ・散布地 岩出町大字森字宮前184番外13筆　堀口字中池7番1外5筆	12月21日	文第7号の(205) 平成16年1月11日	確認調査	
206	57－2	金剛峯寺遺跡 古代～・寺院跡 高野町高野山306番地	12月14日	文第7号の(206) 平成16年1月21日	慎重工事	

平成16年度　57条の2　届出一覧

番号	届出等の種類 根拠条名	遺跡の名称 時代・種類 所在地	届出等の日付	教育委員会による処理 文書番号 指示の日付	指示事項	備考
207	57－2	友田町遺跡 ・散布地 和歌山市友田町3丁目16～18番	1月7日	文第7号の(207) 平成16年1月21日	確認調査	
208	57－2	岡田Ⅱ遺跡 弥生～中世・散布地 岩出町大字岡田字上野695番3、698番1	1月11日	文第7号の(208) 平成16年1月21日	確認調査	
209	57－2	神前遺跡 ・散布地 和歌山市和田字森本1194・神前字馬乗免535-3	1月11日	文第7号の(209) 平成16年1月21日	確認調査	
210	57－2	野田地区遺跡 弥生～中世・散布地 吉備町大字天満字泣沢女町743番9	1月12日	文第7号の(210) 平成16年1月21日	工事立会	
211	57－2	神野々廃寺 古代・寺院跡 橋本市神野々字大門961、961-1、940-1、953、939番地	1月13日	文第7号の(211) 平成16年1月21日	慎重工事	
212	57－2	長楽寺跡 古代・寺院跡 吉備町植野348	1月14日	文第7号の(212) 平成16年1月21日	工事立会	
213	57－2	宇田森遺跡 弥生～・集落跡 和歌山市宇田森字神ノ木36-1番地	1月14日	文第7号の(213) 平成16年1月21日	慎重工事	
214	57－2	藤並地区遺跡 旧石器～・散布地 吉備町大字土生字池下ノ段371番10	1月17日	文第7号の(214) 平成16年1月21日	浄化槽部分工事立会	
215	57－2	秋月遺跡 弥生～中世・散布地 和歌山市太田540-6	1月18日	文第7号の(215) 平成16年1月21日	工事立会	
216	57－2	友田町遺跡 ・散布地 和歌山市友田町4丁目1番2	1月17日	文第7号の(216) 平成16年1月21日	確認調査	
217	57－2	堀内氏屋敷跡 ・屋敷跡 新宮市千穂1丁目729-1・2	1月18日	文第7号の(217) 平成16年1月31日	浄化槽部分工事立会	
218	57－2	東国分Ⅱ遺跡 ・散布地 岩出町西国分61・65・69-1	1月17日	文第7号の(218) 平成16年1月31日	確認調査	
219	57－2	岡村古墳群 古墳・古墳 海南市岡田81番地	1月26日	文第7号の(219) 平成16年1月31日	工事立会	
220	57－2	春日山城跡 中世・城跡 海南市大野中字春日山1056-1・18・265・272	1月26日	文第7号の(220) 平成16年1月31日	確認調査	
221	57－2	春日山城跡 中世・城跡 海南市大野中字春日山1056-18・265・272	1月26日	文第7号の(221) 平成16年1月31日	確認調査	
222	57－2	且来Ⅰ遺跡 ・散布地 海南市且来字城の内25-3	1月29日	文第7号の(222) 平成16年1月31日	浄化槽部分工事立会	
223	57－2	和歌山城跡 近世・城跡 和歌山市岡山丁35	1月19日	文第7号の(223) 平成16年2月14日	工事立会	
224	57－2	和歌山城跡 近世・城跡 和歌山市五番丁8	1月24日	文第7号の(224) 平成16年2月14日	工事立会	
225	57－2	木ノ本Ⅲ遺跡 ・散布地 和歌山市梅原298-3	1月21日	文第7号の(225) 平成16年2月14日	確認調査	
226	57－2	楠古墳群・平尾遺跡 古墳・古墳、散布地 和歌山市平尾字芝崎129-6	1月27日	文第7号の(226) 平成16年2月14日	立会調査	
227	57－2	岡田Ⅱ遺跡 弥生～中世・散布地 打田町西井阪字花井218,219-1	1月31日	文第7号の(227) 平成16年2月14日	浄化槽部分工事立会	
228	57－2	根来寺坊院跡 中世～・寺院跡 岩出町大字根来字洞尾1710-1・2	2月1日	文第7号の(228) 平成16年2月14日	工事立会	
229	57－2	亀川遺跡 弥生～・集落跡 海南市且来字神田266-2	1月20日	文第7号の(229) 平成16年2月14日	工事立会	

平成16年度　57条の2　届出一覧

番号	届出等の種類 根拠条名	遺跡の名称 時代・種類 所在地	届出等の日付	教育委員会による処理 文書番号 指示の日付	指示事項	備考
230	57－2	岡田Ⅱ遺跡 弥生～中世・散布地 打田町大字下井阪字三ツ塚484番5・6	2月4日	文第7号の(230) 平成16年2月14日	浄化槽部分工事立会	
231	57－2	西庄遺跡 古墳～・散布地 和歌山市本脇字宮前坪209番	2月3日	文第7号の(231) 平成16年2月21日	工事立会	
232	57－2	慈尊院Ⅱ遺跡 古代～・集落跡 九度山町慈尊院143	2月7日	文第7号の(232) 平成16年2月21日	工事立会	
233	57－2	天満Ⅰ遺跡 古墳～・散布地 吉備町天満564番地1	2月4日	文第7号の(233) 平成16年2月21日	発掘調査	
234	57－2	奥の谷遺跡 ・散布地 海南市日方字奥谷477番1、479番	2月7日	文第7号の(234) 平成16年2月21日	確認調査	
235	57－2	木ノ本Ⅲ遺跡 ・散布地 和歌山市木ノ本字前嶋552番1	2月7日	文第7号の(235) 平成16年2月21日	工事立会	
236	57－2	池田遺跡 ・散布地 和歌山市六十谷字真谷裾1189-21	2月7日	文第7号の(236) 平成16年2月21日	浄化槽部分工事立会	
237	57－2	八岡山城跡 中世・山城跡 貴志川町大字岸宮字八岡990-5	2月9日	文第7号の(237) 平成16年2月21日	浄化槽部分工事立会	
238	57－2	川辺遺跡 弥生～・散布地 和歌山市川辺字薬師堂277-12	2月8日	文第7号の(238) 平成16年2月21日	浄化槽部分工事立会	
239	57－2	友田町遺跡 ・散布地 和歌山市友田町4丁目1-1	2月8日	文第7号の(239) 平成16年2月21日	確認調査	
240	57－2	今市仮城跡 中世・城跡 海南市日方1179-8	2月21日	文第7号の(240) 平成16年3月2日	浄化槽部分工事立会	
241	57－2	佐野遺跡 ・散布地 新宮市佐野字根地原975番8,9	2月23日	文第7号の(241) 平成16年3月2日	確認調査	
242	57－2	上野遺跡 ・散布地 打田町上野15-4	2月25日	文第7号の(242) 平成16年3月3日	工事立会	
243	57－2	井辺遺跡 弥生～・散布地 和歌山市神前字桃ノ本181-3,204-1,205-2	2月21日	文第7号の(243) 平成16年3月3日	確認調査	
244	57－2	鷺ノ森遺跡 ・散布地 和歌山市元博労町20	2月23日	文第7号の(244) 平成16年3月3日	工事立会	
245	57－2	金剛峯寺遺跡 古代～・寺院跡 高野町大字高野山字西院谷236番2	2月28日	文第7号の(245) 平成16年3月3日	工事立会	
246	57－2	金剛峯寺遺跡 古代～・寺院跡 高野町大字高野山26-12	2月28日	文第7号の(246) 平成16年3月3日	慎重工事	
247	57－2	佐野遺跡 ・散布地 新宮市佐野字根地原1011	2月17日	文第7号の(247) 平成16年3月3日	工事立会	
248	57－2	和田Ⅱ遺跡 ・散布地 美浜町和田字西村1269	2月25日	文第7号の(248) 平成16年3月3日	慎重工事	
249	57－2	井辺遺跡 弥生～・散布地 和歌山市井辺字里神523番地	2月25日	文第7号の(249) 平成16年3月23日	浄化槽部分工事立会	
250	57－2	新宮十郎屋敷跡 中世・屋敷跡 新宮市熊野地1丁目5532-67,5549-5	3月2日	文第7号の(250) 平成16年3月23日	工事立会	
251	57－2	田殿尾中遺跡 弥生～・集落跡 吉備町出173-3	3月1日	文第7号の(251) 平成16年3月23日	浄化槽部分工事立会	
252	57－2	天満Ⅱ遺跡 中世・散布地 吉備町大字下津野字南垣内1030番17,18	2月25日	文第7号の(252) 平成16年3月23日	立会調査	

平成16年度　57条の2　届出一覧

番号	届出等の種類 根拠条名	遺跡の名称 時代・種類 所在地	届出等の日付	教育委員会による処理 文書番号 指示の日付	指示事項	備考
253	57－2	天満Ⅱ遺跡 中世・散布地 吉備町大字下津野字大門1031番	2月25日	文第7号の(253) 平成16年3月23日	立会調査	
254	57－2	津秦遺跡 ・散布地 和歌山市津秦字硲62-2,24	3月3日	文第7号の(254) 平成16年3月23日	浄化槽部分工事立会	
255	57－2	西庄遺跡 古墳時代～・散布地 和歌山市西庄字土井474番3	3月4日	文第7号の(255) 平成16年3月23日	浄化槽部分工事立会	
256	57－2	長楽寺跡 中世・寺院跡 吉備町植野348	3月4日	文第7号の(256) 平成16年3月23日	工事立会	
257	57－2	春日山城跡 中世・山城 海南市大野中字春日山1056-155	3月7日	文第7号の(257) 平成16年3月23日	慎重工事	
258	57－2	西田井遺跡 弥生～・散布地 和歌山市西田井字森ノ前234,235-1,236-1,237-1,238-1,239-1	3月7日	文第7号の(258) 平成16年3月23日	確認調査	
259	57－2	金剛峯寺遺跡 古代～・寺院跡 高野町高野山548番地	3月9日	文第7号の(259) 平成16年3月23日	工事立会	
260	57－2	太田・黒田遺跡、太田城跡 弥生～中世・集落跡 和歌山市太田480-5	3月9日	文第7号の(260) 平成16年3月23日	工事立会	
261	57－2	三昧塚古墳群 古墳・古墳 打田町大字中井坂80,81	3月10日	文第7号の(261) 平成16年3月23日	工事立会	
262	57－2	岩橋高柳遺跡 弥生～中世・散布地 和歌山市岩橋字高柳298番1,2、299番	3月10日	文第7号の(262) 平成16年3月23日	浄化槽部分工事立会	
263	57－2	金剛峯寺遺跡 古代～・寺院跡 高野町大字高野山字奥ノ院46番37	3月15日	文第7号の(263) 平成16年3月23日	慎重工事	
264	57－2	木ノ本Ⅲ遺跡 ・散布地 和歌山市梅原字東山畑438-1,438-2	3月15日	文第7号の(264) 平成16年3月23日	便槽部分工事立会	

平成16年度　57条の3　通知一覧

番号	届出等の種類 根拠条名	遺跡の名称 時代・種類 所在地	届出等をした者	届出等の日付	教育委員会による処理 文書番号 指示の日付	指示事項	備考
1	57－3	山一遺跡 中世～近世・散布地 岩出町山713番地他	岩出町長　中芝　正幸	4月19日	文第8号 平成16年4月27日	確認調査	
2	57－3	岡村遺跡 弥生～中世・散布地 海南市岡田字境田・六十石	海南市長　神出　政巳	4月27日	文第8号 平成16年5月12日	工事立会	
3	57－3	金剛峯寺遺跡 古代～・寺院跡 高野町大字高野山字中の橋17番地52　高野町大字高野山字南小原田443番地	和歌山県知事　木村　良樹	5月7日	文第8号の(3) 平成16年5月20日	工事立会	
4	57－3	金剛峯寺遺跡 古代～・寺院跡 高野町大字高野山811番地	高野町長　西田　正弘	5月19日	文第8号の(4) 平成16年5月25日	慎重工事	
5	57－3	榎原遺跡 ・散布地 和歌山市榎原地内から木ノ本地内	和歌山市長　大橋　建一	6月1日	文第8号の(5) 平成16年6月10日	工事立会	
6	57－3	市場遺跡 縄文・散布地 金屋町大字市場地内	和歌山県知事　木村　良樹	6月7日	文第8号の(6) 平成16年6月18日	確認調査	
7	57－3	片山遺跡 弥生～古墳・墳墓 南部町芝407	和歌山県立南部高等学校 校長　畑崎　周定	6月9日	文第8号の(7) 平成16年6月18日	発掘調査 工事立会	
8	57－3	多田東遺跡 ・散布地 海南市多田地内	海南市長　神出　政巳	6月9日	文第8号の(8) 平成16年6月18日	工事立会	
9	57－3	金剛峯寺遺跡 古代～・寺院跡 高野町大字高野山44-22番地	高野町長　西田　正弘	6月10日	文第8号の(9) 平成16年6月18日	慎重工事	
10	57－3	金剛峯寺遺跡 古代～・寺院跡 高野町大字高野山字本中院谷151番地	高野町長　西田　正弘	6月10日	文第8号の(10) 平成16年6月18日	確認調査	
11	57－3	金剛峯寺遺跡 古代～・寺院跡 高野町大字高野山481番地	高野町長　西田　正弘	6月10日	文第8号の(11) 平成16年6月18日	工事立会	
12	57－3	金剛峯寺遺跡 古代～・寺院跡 高野町大字高野山229番地	高野町長　西田　正弘	6月10日	文第8号の(12) 平成16年6月18日	工事立会	
13	57－3	古佐田遺跡 古代～・寺院跡 橋本市古佐田地内	橋本市長　北村　翼	6月10日	文第8号の(13) 平成16年6月18日	工事立会	
14	57－3	友ヶ島第2砲台跡 現代・砲台跡 和歌山市加太字宮ヶ沖島2673-1	和歌山市長　大橋　建一	6月10日	文第8号の(14) 平成16年6月28日	工事立会	
15	57－3	利生護国寺旧境内遺跡 ・寺跡 橋本市隅田町下兵庫	橋本市長　北村　翼	6月18日	文第8号の(15) 平成16年6月28日	工事立会	
16	57－3	神野々Ⅰ遺跡 弥生～中世・散布地 橋本市神野々946	和歌山県知事　木村　良樹	6月30日	文第8号の(16) 平成16年7月14日	工事立会	
17	57－3	秋月遺跡 弥生～・散布地 和歌山市太田127番地	和歌山県知事　木村　良樹	7月2日	文第8号の(17) 平成16年7月14日	慎重工事	
18	57－3	西庄遺跡 弥生～・散布地 和歌山市本脇～西庄地内	和歌山市長　大橋　建一	7月13日	文第8号の(18) 平成16年7月26日	工事立会	
19	57－3	妙楽寺 中世～・寺院 橋本市東家三丁目557-1～930-1番地先	橋本市長　北村　翼	7月9日	文第8号の(19) 平成16年7月26日	工事立会	
20	57－3	学文路Ⅱ遺跡 中世～・寺院 橋本市学文路776番地先	橋本市長　北村　翼	7月13日	文第8号の(20) 平成16年7月29日	工事立会	
21	57－3	金剛峯寺遺跡 中世～・寺院 高野町大字高野山字4平院谷600番地	高野町長　西田正弘	7月21日	文第8号の(21) 平成16年7月29日	確認調査	
22	57－3	金剛峯寺遺跡 中世～・寺院 高野町高野山417～444、424～425番地先	高野町長　西田正弘	7月22日	文第8号の(22) 平成16年8月3日	工事立会	
23	57－3	荒田遺跡 弥生、中世・散布地 岩出町大字尼ヶ辻・根来地内	岩出町長　中芝　正幸	7月27日	文第8号の(23) 平成16年8月12日	工事立会	

番号	届出等の種類 根拠条名	遺跡の名称 時代・種類 所在地	届出等をした者	届出等の日付	教育委員会による処理 文書番号 指示の日付	指示事項	備考
24	57－3	善福寺跡 中世～・寺院跡 橋本市向副跨り尾577	和歌山県知事　木村　良樹	8月2日	文第8号の(24) 平成16年8月12日	工事立会	
25	57－3	秋月遺跡 弥生～中世・散布地 和歌山市太田127番地	和歌山県知事　木村　良樹	8月3日	文第8号の(25) 平成16年8月12日	工事立会	
26	57－3	西国分廃寺 古代・寺院跡 岩出町大字西国分386番地	岩出町長　中芝　正幸	8月16日	文第8号の(26) 平成16年8月27日	慎重工事	
27	57－3	小熊遺跡 弥生・散布地 川辺町小熊地内	和歌山県知事　木村　良樹	8月24日	文第8号の(27) 平成16年9月9日	工事立会	
28	57－3	根来寺坊院跡 中世～・寺院跡 岩出町大字今畑地内	岩出町長　中芝　正幸	9月14日	文第8号の(28) 平成16年9月21日	慎重工事	
29	57－3	東家遺跡 弥生～中世・散布地 橋本市東家二丁目1番19号	橋本市長　北村　翼	9月8日	文第8号の(29) 平成16年9月21日	工事立会	
30	57－3	神野々Ⅰ遺跡 弥生～中世・散布地 橋本市神野々521-2、524、525-1、526-1、573-2	和歌山県知事　木村　良樹	9月13日	文第8号の(30) 平成16年9月21日	確認調査	
31	57－3	金剛峯寺遺跡 古代～・寺院跡 高野町大字高野山字西院谷224	高野町長　西田正弘	9月17日	文第8号の(31) 平成16年10月1日	工事立会	
32	57－3	山一遺跡 中世・散布地 岩出町大字山・中黒地内	岩出町長　中芝　正幸	9月16日	文第8号の(32) 平成16年10月1日	工事立会	
33	57－3	山一遺跡・中黒Ⅰ遺跡 中世・散布地 岩出町大字吉田・山地内	岩出町長　中芝　正幸	9月24日	文第8号の(33) 平成16年10月1日	慎重工事	
34	57－3	金剛峯寺遺跡 古代～・寺院跡 高野町高野山401番地先から777番地先	高野町長　後藤　太栄	10月6日	文第8号の(34) 平成16年10月18日	工事立会	
35	57－3	高家遺跡 奈良・散布地 日高町高家643-2	日高町長　中　善夫	10月6日	文第8号の(35) 平成16年10月20日	浄化槽部分工事立会	
36	57－3	元遺跡 弥生～・散布地 桃山町元386番地の1	桃山町長　山下　忠男	10月18日	文第8号の(36) 平成16年10月20日	確認調査	
37	57－3	金剛峯寺遺跡 古代～・寺院跡 高野町高野山673-1番地先～674-1番地先	高野町長　後藤　太栄	10月28日	文第8号の(37) 平成16年11月8日	慎重工事	
38	57－3	金剛峯寺遺跡 古代～・寺院跡 高野町高野山69番地先448番地先	高野町長　後藤　太栄	10月28日	文第8号の(38) 平成16年11月8日	慎重工事	
39	57－3	金剛峯寺遺跡 古代～・寺院跡 高野町大字高野山字五本松1-1(女人堂～極楽橋駅)	和歌山県知事　木村　良樹	10月29日	文第8号の(39) 平成16年11月16日	慎重工事	
40	57－3	別当屋敷跡 中世・屋敷跡 新宮市千穂1丁目地内	新宮市長　上野　哲弘	11月9日	文第8号の(40) 平成16年11月16日	工事立会	
41	57－3	和歌山城跡 近世・散布地 和歌山市二番丁3番地	和歌山地方検察庁検事正 山本　修三	11月8日	文第8号の(41) 平成16年11月25日	工事立会	
42	57－3	西庄遺跡 古墳～中世・散布地 和歌山市西庄地内から本脇地内	和歌山市長　大橋　建一	11月12日	文第8号の(42) 平成16年11月25日	工事立会	
43	57－3	岡村遺跡 弥生～中世・散布地 海南市岡田260-1番地先	海南市長　神出　政巳	11月22日	文第8号の(43) 平成16年11月30日	確認調査	
44	57－3	紀伊国分寺跡 古代～・寺院跡 打田町東国分字宮ノ前619-3	打田町長　根来　公士	11月17日	文第8号の(44) 平成16年11月30日	確認調査	
45	57－3	金剛峯寺遺跡 古代～・寺院跡 高野町高野山638番地先	高野町長　後藤　太栄	10月28日	文第8号の(45) 平成16年12月9日	工事立会	
46	57－3	金剛峯寺遺跡 古代～・寺院跡 高野町高野山字本中院谷151	高野町長　後藤　太栄	11月4日	文第8号の(46) 平成16年12月9日	工事立会	

番号	届出等の種類 根拠条名	遺跡の名称 時代・種類 所在地	届出等をした者	届出等の日付	教育委員会による処理 文書番号 指示の日付	指示事項	備考
47	57－3	丹鶴城跡 近世・城跡 新宮市新宮字丹鶴7697-1	新宮市教育委員会 教育長　中西　實年	11月30日	文第8号の(47) 平成16年12月9日	慎重工事	
48	57－3	元遺跡 弥生～中世・散布地 桃山町元400番地の1	桃山町長　山下　忠男	12月1日	文第8号の(48) 平成16年12月15日	慎重工事	
49	57－3	築那院跡 中世・寺院跡 吉備町大字大谷	吉備町長　中山　正隆	11月30日	文第8号の(49) 平成16年12月15日	確認調査	
50	57－3	和歌山城跡 近世・城跡 和歌山市城北地区	和歌山市公営企業管理者 水道局長　楠本　喬二	12月6日	文第8号の(50) 平成16年12月15日	工事立会	
51	57－3	金剛峯寺遺跡 古代～・寺院跡 高野町高野山448番地先～443番地先	高野町長　後藤　太栄	12月14日	文第8号の(51) 平成16年12月28日	慎重工事	
52	57－3	根来寺坊院跡 中世～・寺院跡 岩出町根来字東谷2085-1	近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所 所長　大槻　英治	12月20日	文第8号の(52) 平成17年1月11日	慎重工事	
53	57－3	春日山城跡 中世～・城跡 打田町中三谷不動寺788	近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所 所長　大槻　英治	12月22日	文第8号の(53) 平成17年1月11日	慎重工事	
54	57－3	金剛峯寺遺跡 古代～・寺院跡 高野町高野山795	高野町長　後藤　太栄	1月13日	文第8号の(54) 平成17年1月21日	工事立会	
55	57－3	金剛峯寺遺跡 古代～・寺院跡 高野町高野山158	高野町長　後藤　太栄	1月28日	文第8号の(55) 平成17年2月21日	工事立会	
56	57－3	金剛峯寺遺跡 古代～・寺院跡 高野町高野山548番地	高野町長　後藤　太栄	2月16日	文第8号の(56) 平成17年3月2日	工事立会	
57	57－3	根来寺坊院跡 中世～・寺院跡 岩出町大字根来1472番地	岩出町長　中芝　正幸	2月10日	文第8号の(57) 平成17年3月2日	工事立会	
58	57－3	木ノ本小学校Ⅰ遺跡 ・散布地 和歌山市古屋～木ノ本地内	和歌山市長　大橋　建一	3月1日	文第8号の(58) 平成17年3月23日	工事立会	
59	57－3	亀川遺跡 縄文～・散布地 海南市且来地内	日本道路公団　関西支社 和歌山管理事務所	3月1日	文第8号の(59) 平成17年3月23日	工事立会	
60	57－3	木ノ本Ⅱ遺跡 ・散布地 和歌山市西庄～本脇地内	和歌山市長　大橋　建一	3月11日	文第8号の(60) 平成17年3月23日	工事立会	
61	57－3	陀羅尼寺跡 ・寺院跡 橋本市東家4丁目104-1,105	橋本市長　北村　翼	3月10日	文第8号の(61) 平成17年3月23日	確認調査	
62	57－3	薬師谷遺跡 弥生・散布地 粉河町粉河地内	那賀振興局建設部長	1月26日	文第8号の(62) 平成17年3月23日	確認調査	

平成16年度　57条　届出一覧

番号	遺跡の名称 時代・種類 所在地	届出をした者	届出日付	調査の目的 種別	調査期間	教育委員会による処理 文書番号 日付
1	田屋遺跡 弥生～古墳・集落跡 和歌山市小豆島字院田53－1ほか、田屋字窰之門137ほか	財団法人和歌山市文化体育振興事業団 理事長　宇治田　克夫	平成16年4月8日	開発対応 本発掘調査	平成16年4月19日～6月10日	文71号 平成16年4月21日
2	鳴神Ⅳ遺跡 弥生～江戸・散布地 和歌山市鳴神568-1	財団法人和歌山市文化体育振興事業団 理事長　宇治田　克夫	平成16年4月27日	開発対応 本発掘調査	平成16年5月6日～5月14日	文71号の(3) 平成16年5月10日
3	柏原遺跡 縄文～中世・近世・集落跡 橋本市柏原字曽根319ほか	財団法人和歌山県文化財センター 理事長　木村　良樹	平成16年4月22日	開発対応 本発掘調査	平成16年5月6日～8月31日	文71号の(3) 平成16年5月12日
4	和歌山城 近世・城郭跡 和歌山市一番丁3地内	財団法人和歌山市文化体育振興事業団 理事長　宇治田　克夫	平成16年5月7日	遺跡整備 本発掘調査	平成16年5月30日～9月30日	文71号の(4) 平成16年5月14日
5	太田・黒田遺跡、太田城跡 弥生～奈良・集落跡、安土・桃山・城館跡 和歌山市太田字城跡479-6	財団法人和歌山市文化体育振興事業団 理事長　宇治田　克夫	平成16年5月21日	開発対応 本発掘調査	平成16年5月～6月26日	文71号の(5) 平成16年5月31日
6	野上中南遺跡 弥生・中世・集落跡 海南市野上中字寺中	財団法人和歌山県文化財センター 理事長　木村　良樹	平成16年6月7日	開発対応 本発掘調査	平成16年7月5日～9月30日	文71号の(6) 平成16年6月21日
7	太田・黒田遺跡、太田城跡 弥生～奈良・集落跡、安土・桃山・城館跡 和歌山市太田字城跡479-1	財団法人和歌山市文化体育振興事業団 理事長　宇治田　克夫	平成16年7月8日	開発対応 本発掘調査	平成16年7月15日～8月13日	文71号の(7) 平成16年7月26日
8	岡村遺跡 縄文～奈良・集落跡 海南市岡田字境田六十石	海南市文化財調査研究会 会長　山本　皓史	平成16年9月13日	開発対応 本発掘調査	平成16年9月27日～10月15日	文71号の(8) 平成16年9月17日
9	徳蔵地区遺跡 縄文～中世・集落 南部町気佐藤字腰細380-1	財団法人和歌山県文化財センター 理事長　木村　良樹	平成16年9月7日	開発対応 本発掘調査	平成16年9月21日～平成17年1月31日	文71号の(9) 平成16年9月21日
10	根来寺坊院跡 平安～中世・近世・寺院跡 岩出町根来2189	財団法人和歌山県文化財センター 理事長　木村　良樹	平成16年12月16日	遺跡確認 本発掘調査	平成17年1月11日～2月16日	文71号の(10) 平成16年12月28日
11	神前遺跡 弥生・散布地 和歌山市神前字千本516・524番	財団法人和歌山市文化体育振興事業団 理事長　宇治田　克夫	平成16年12月17日	開発対応 確認調査	平成16年12月20日～12月24日	文71号の(11) 平成17年1月21日
12	井辺遺跡 弥生・散布地 和歌山市神前字舟田121-1・2	財団法人和歌山市文化体育振興事業団 理事長　宇治田　克夫	平成17年1月17日	開発対応 確認調査	平成17年1月17日～1月28日	文71号の(12) 平成17年1月21日
13	木ノ本Ⅰ遺跡 散布地 和歌山市西庄字宮下30・31番地	財団法人和歌山市文化体育振興事業団 理事長　宇治田　克夫	平成16年1月17日	開発対応 確認調査	平成17年1月24日～1月28日	文71号の(13) 平成17年1月21日
14	和歌山市直川字古川160番ほか	財団法人和歌山市文化体育振興事業団 理事長　宇治田　克夫	平成16年1月17日	試掘調査	平成17年2月1日～2月28日	文71号の(14) 平成17年1月21日
15	和歌山市弘西字笹井田945番ほか	財団法人和歌山市文化体育振興事業団 理事長　宇治田　克夫	平成16年1月17日	試掘調査	平成17年2月7日～2月18日	文71号の(15) 平成17年1月23日
16	井辺遺跡 弥生・散布地 和歌山市井辺字浮長112番1～5	財団法人和歌山市文化体育振興事業団 理事長　宇治田　克夫	平成17年2月17日	開発対応 本発掘調査	平成17年2月22日～3月10日	文71号の(16) 平成17年2月25日

平成16年度　58条の2　届出一覧

番号	遺跡の名称 時代・種類 所在地	調査を行った公共団体	面積(㎡)	調査の目的 種別	調査期間
1	旧吉備中学校校庭遺跡 弥生・散布地 吉備町大字野田697-1番地・698-1番地	吉備町教育委員会	240	開発対応 確認調査	平成16年5月12日～6月25日
2	海南市幡川435	海南市教育委員会	35	遺跡確認 試掘調査	平成16年8月21日～9月10日
3	岩内城跡 中世・城跡 御坊市岩内486-16	御坊市教育委員会	506	開発対応 確認調査	平成16年9月3日～9月7日
4	堅田遺跡 弥生～古墳・集落跡 御坊市湯川町財部639-2	御坊市教育委員会	2181	開発対応 確認調査	平成16年8月31日～9月2日
5	岡村遺跡 縄文～奈良・集落跡 海南市岡田字境田六十石	海南市教育委員会	8	遺跡確認 確認調査	平成16年9月6日
6	天満Ⅰ遺跡 古墳・散布地 吉備町天満563番地	吉備町教育委員会	60	開発対応 確認調査	平成16年11月4日～11月12日
7	小野田古墳 古墳・古墳 海南市小野田1564-1	海南市教育委員会	900	自然崩壊 本発掘調査	平成16年12月6日～平成17年1月20日
8	天満Ⅰ遺跡 古墳・散布地 吉備町天満564-1	吉備町教育委員会	510	開発対応 確認調査	平成17年3月7日～4月15日
9	天満Ⅱ遺跡 古墳・散布地 吉備町下津野1030番17・18、1031番	吉備町教育委員会	20	開発対応 本発掘調査	平成17年3月2日～3月4日
10	岡村遺跡 縄文～奈良・集落跡 海南市岡村	海南市教育委員会	30	遺跡確認 確認調査	平成17年1月22日～2月4日

県教育委員会による調査一覧

埋蔵文化財包蔵地等での調査

No	遺跡名	調査件名	市町村名	調査年月日	調査原因	調査種類	調査面積	内容(遺構／遺物等)	時代
1	秋月遺跡	04-25	和歌山市太田127番地	2004.11.15	下水道工事	立会調査	4㎡	ピット/土師器、瓦器 (数点)	中世?
2	野上中南遺跡	96-207(57-3)	海南市野上中	2004.5.19・20,10.12・13・14	県道奥佐々阪井線半島振興道路	立会調査	117.8㎡	溝、柱穴、ピット、土坑/弥生土器、瓦器、サヌカイト (4袋)	弥生(中期)、中世
3	下佐々Ⅰ遺跡	03-287	野上町下佐々字野尻865-3	2004.9.1	個人住宅(浄化槽)	立会調査	5.4㎡	土坑/瓦器椀完形1・破片7、土師器片3 (1袋)	中世
4 -①	粉河寺遺跡		粉河町粉河	2004.6.1	擁壁工事	立会調査	—	—	—
-②	粉河寺遺跡	(58-2)	粉河町粉河	2005.2.17～3.1	確認調査	確認調査	56.8㎡	石垣／瓦、土師器、瓦器、青磁(数点)	中世
5 -①	元遺跡	03-223	桃山町元字東嶋479-6,12	2004.4.16	個人住宅(浄化槽)	立会調査	7.5㎡	なし/瓦器3、土師器1	中世
-②	元遺跡	04-36(57-3)	桃山町元386番の1	2004.11.17	新桃山保育所(仮称)新築工事(浄化槽)	確認調査	約24.3㎡	遺構なし/土師器, 瓦器	中世～近世
6	上尾遺跡	04-21	桃山町大字調月北山ノ台769-142番地	2004.8.23	個人住宅	立会調査	196.65㎡	なし/なし	
7	權田池古墳	03-38(57-3)	貴志川町神戸894-1,890	2004.5.7,7.2	県道和歌山橋本線	立会調査	5.8㎡	-	
8	貴志城跡	04-54	貴志川町上野山字鍛屋垣内250	2004.6.30	集合住宅(浄化槽)	立会調査	6㎡	落ち込み/なし	
9	神野々Ⅱ遺跡	03-21(57-3)	橋本市神野々946	2004.11.10	吉原川河川改修	立会調査	1㎡	-	
10	佐野廃寺	04-28	かつらぎ町佐野536-3	2004.6.1	車庫	立会調査	約15㎡	ピット/弥生土器 (小袋1)	弥生
11	渋田遺跡	03-212	西渋田字南垣内280-2	2004.4.1	個人住宅(浄化槽)	立会調査	約5㎡	溝/瓦2、土師器片 (1点)	近世以降
12 -①	佐野遺跡	04-22	かつらぎ町佐野557-1	2004.5.11	個人住宅	立会調査	約7㎡	なし/瓦、土師器片	
-②	佐野遺跡	04-42	かつらぎ町佐野805-1	2004.6.1	車庫	立会調査	1㎡	-	
-③	佐野遺跡	04-107	かつらぎ町佐野568-5	2004.9.7	車庫	立会調査	4㎡	-	
13	名古曽Ⅰ遺跡	04-10	高野口町名古曽719-1	2004.8.3	個人住宅(浄化槽)	立会調査	2㎡	-	
14	慈尊院Ⅱ遺跡	04-232	九度山町慈尊院143	2005.3.4	個人住宅	立会調査	3㎡	-	
15 -①	金剛峯寺遺跡	04-22(57-3)	高野町高野山417～444,424～425	2004.8.18・26	水道管埋設	立会調査、確認調査	20㎡	なし/磁器 (1点)	近世
-②	金剛峯寺遺跡	04-31(57-3)	高野町高野山西院谷224	2004.10.27	消防署屯所増築	立会調査	3㎡	-	
-③	金剛峯寺遺跡	04-21(57-3)	高野町高野山字千手院600	2004.12.1	消防団本部車庫(屯所)改築	確認調査	23.8㎡	明治の小溝/白磁(19C)、土師器	近世(後半)以降
-④	金剛峯寺遺跡	04-10(57-3)	高野町高野山中院谷151番地	2004.12.22	公衆便所	確認調査	4.5㎡	-	
-⑤	金剛峯寺遺跡	04-46(57-3)	高野町高野山中院谷151番地	2005.1.5	公衆便所下水道	立会調査	3.3㎡	-	
-⑥	金剛峯寺遺跡	04-45(57-3)	高野町高野山638	2005.1.18	水路改修	立会調査	約6㎡	なし/近世磁器 (数片)	近世
-⑦	金剛峯寺遺跡	04-54(57-3)	高野町高野山795	2005.2.10	電線地中化	立会調査	11.25㎡	竹管など(導水管)/磁器、陶器片 (10点)	近世以降
16	山田廃寺	03-277	湯浅町大字山田1275番1	2004.11.5	電話鉄塔	立会調査	15㎡	-	
17	天神社跡	04-63	広川町大字山本字天神谷1432番3	2004.11.4	個人住宅	立会調査	3㎡	-	
18	市場遺跡	04-6(57-3)	金屋町市場地内	2004.7.26	県道海南金屋線	確認調査	17㎡	-	
19	中井原遺跡	04-24	金屋町中野54-2	2004.5.25	個人住宅(浄化槽)	立会調査	4.8㎡	ピット他/粘土塊5、備前ヵ1、瓦器片1、唐津陶器1、青磁1、白磁？or磁器1、土師皿3	中世～近世
20	歓喜寺跡	04-163	金屋町歓喜寺	2004.11.19	個人住宅浄化槽埋設	立会調査	2㎡	-	
21	蛭田坪遺跡	04-9(57-3)	御坊市湯川町小松原	2004.10.4・6～7	県道江川小松原線	立会調査	200㎡	溝/黒色土器, 土師器, 弥生土器 (小袋1)	弥生～中世
22	田井・西川遺跡	00-120(57-3)	美浜町田井	2005.3.14～18	町道上田井下財部線	確認調査	34㎡	-	
23	高家遺跡	04-35(5-3)	日高町高家643-2	2005.2.25	駐在所新設(浄化槽埋設)	立会調査	5.25㎡	-	
24	興国寺跡	04-49	由良町門前801	2004.7.20	墓地	立会調査	3.75㎡	-	
25	古垣内遺跡	(58-2)	中津村高津尾1266	2005.1.6～7	小学校校舎	確認調査	13.6㎡	ピット、溝、土坑/土師器、瓦器、石器(サヌカイト) (1袋)	縄文?、中世
26	片山遺跡	04-7(57-3)	南部町芝407	2004.8.4・6・17	下水道工事	立会調査	32㎡	溝/陶磁器、土師器、釘 (3袋)	近現代
27	印南遺跡	03-288	印南町印南字南後2099番9	2004.7.2	個人住宅(浄化槽)	立会調査	2.5㎡	なし/なし	

指定記念物の現状変更に伴う調査

No	遺跡名	現状変更許可日	市町村名	調査年月日	調査原因	調査種類	調査面積	内容(遺構／遺物等)	時代
1	高野山町石	2004.10.15	高野町高野山東小田原593番地～蓮花谷575番地	2005.2.29,10.8・9・10	歩道改良工事	立会調査・確認調査	12.34㎡	十町石の旧台石及び掘形	近世以降か
2 -①	中世農耕用水路文覚井	2004.9.10	かつらぎ町萩原地内	2004.9.16	国道480号道路改築工事に伴う水路改築工事	確認調査	168.00㎡	-	-
-②	中世農耕用水路文覚井	2004.11.17	かつらぎ町萩原地内	2004.12.6	農耕用排水路改修工事	確認調査	約9㎡		
3	岩橋千塚古墳群	2004.7.16	和歌山市岩橋・井辺	2004.7.1～2005.1.31	保存修理事業	発掘調査	50㎡	前山A2号墳(石室/須恵器、土師器)、前山B41号墳(石室/須恵器)、大日山35号墳(墳丘墓墳裾部)	古墳

財団法人和歌山県文化財センターによる調査一覧

NO.	遺跡名	所在地	調査期間	調査面積(㎡)	県指示文書番号／ 内容	実施機関	調査経緯	調査内容
1	柏原遺跡	橋本市柏原字曽野319番地	2004.4.7～8.31	1566	文71号の(3)	財団法人和歌山県文化財センター	高速道路	竪穴住居・方形周溝墓の検出,計方形周溝墓18基以上、円形竪穴住居9棟、方形竪穴住居2棟、掘立柱建物6棟、飛鳥時代墓4基等を発見
2	国史跡高野山町石	高野町高野山241～795・759～501番地	2004.4.8～5.31,11.5～12.3	28	現状変更	財団法人和歌山県文化財センター	電線地中化	鎌倉時代の柱痕、瓦器、土師器,近世の木枠組の溝、竹製導水管の確認,石列(近世？)の検出
3	根来寺坊院跡	岩出町根来2189番地	2004.12.10～2005.3.31	880	文71号の(10)	財団法人和歌山県文化財センター	確認調査	礎石建物・掘立柱建物、石組井戸、土坑、暗渠、道路側溝、石垣、道路、地鎮遺構等の検出
4	野上中南遺跡	海南市野上中字寺中他地内	2004.5.26～10.29	772	文71号の(6)	財団法人和歌山県文化財センター	道路改良	弥生時代の竪穴住居跡4基・掘立柱建物跡4棟・土坑,鎌倉時代の掘立柱建物跡1棟・井戸2基などを検出
5	徳蔵地区遺跡	みなべ町大字気佐藤字腰細380-1番地	2004.8.3～2005.1.31	956	文71号の(9)	財団法人和歌山県文化財センター	河川改修	古墳時代竪穴住居の確認,古墳時代前・中期の土師器のほか,縄文時代中期の土器,瓦器椀、土師皿、陶磁器、青磁椀が出土
6	岩橋千塚古墳群	和歌山市岩橋、井辺地内	2004.7.3～2005.1.31	50	和歌山県教育委員会による調査の支援業務	財団法人和歌山県文化財センター	特別史跡岩橋千塚古墳群保存修理事業	前山A2号墳…土師器壺・須恵器杯身・須恵器短頸壺,須恵器甕と土師器土鍋の破片が出土,前山B41号墳…須恵器甕の破片・須恵器高杯脚部が出土

市町村教育委員会による調査一覧

和歌山市

NO.	遺跡名	所在地	調査期間	調査面積(㎡)	県指示文書番号／ 内容	実施機関	調査経緯	調査内容
1	木ノ本Ⅱ遺跡	木ノ本984	2004.4.1	12.50	文第57号(253)／工事立会	和歌山市教育委員会	ガス管理設	遺構・遺物なし
2	津秦Ⅱ遺跡	秋月488-1	2004.4.12	7.00	文第57号(285)／確認調査	和歌山市教育委員会	集合住宅	遺構なし,土師質土器・瓦器等の微片わずかに入る
3	木ノ本Ⅲ遺跡	木ノ本751-3	2004.4.13	2.00	文第57号(292)／浄化槽立会	和歌山市教育委員会	個人住宅	ピット状痕跡確認,土師質土器・瓦器等細片わずかに入る
4	田屋遺跡	小豆島53-1	2004.4.15～6.9	348.40	文第57号(34)／確認調査	財団法人和歌山市文化体育振興財団	店舗建築	古墳時代の水田・灌漑用水路検出,土師器・須恵器・瓦器・石器出土
5	上黒谷遺跡	山口西385-1	2004.4.19	18.00	文第57号(286)／確認調査	和歌山市教育委員会	ケアハウス	遺構なし,土師質土器細片わずかに入る
8	鳴神Ⅴ遺跡	鳴神1007-1	2004.4.26	30.00	文第57号(272)／確認調査	和歌山市教育委員会	祭祭場建築	遺構・遺物なし
7	太田・黒田遺跡	秋月154-10	2004.4.26	8.00	文第7号(7)／確認調査	和歌山市教育委員会	診療所兼住宅	遺構なし,土師質土器細片わずかに入る
8	木ノ本Ⅲ遺跡	木ノ本751-3	2004.4.30	2.50	文第57号(293)／浄化槽立会	和歌山市教育委員会	個人住宅	遺構なし,上師質土器細片わずかに入る
9	鳴神Ⅳ遺跡	鳴神568-1	2004.5.6～5.21	36.00	文第57号(247)／確認調査	財団法人和歌山市文化体育振興財団	店舗建築	貝層・土坑墓検出,縄文～近世土器・石器・人骨・獣骨等出土
10	太田・黒田遺跡	黒田105-1	2004.5.7	12.00	文第7号(8)／確認調査	和歌山市教育委員会	店舗建築	遺構なし,土師器・須恵器・黒色土器等微片
11	山吹丁遺跡	東布経丁106	2004.5.17	11.00	文第57号(253)／工事立会	和歌山市教育委員会	個人住宅	遺構・遺物なし
12	川辺遺跡	川辺277-11	2004.5.19	2.50	文第7号(41)／浄化槽立会	和歌山市教育委員会	個人住宅	遺構なし,土師質土器細片わずかに入る
13	太田・黒田遺跡	太田479-6	2004.5.24～6.29	49.00	文第7号(18)／確認調査	財団法人和歌山市文化体育振興財団	個人住宅	方形周溝墓・土坑・溝等検出,弥生～近世土器・瓦・石器等出土
14	井辺遺跡	井辺27-7	2004.5.24	10.00	文第7号(2)／確認調査	和歌山市教育委員会	集合住宅	遺構・遺物なし
15	岩橋Ⅱ遺跡	岩橋1380-5	2004.5.25	3.00	文第57号(291)／浄化槽立会	和歌山市教育委員会	個人住宅	遺構なし・自然木片わずかに入る
16	上野廃寺跡	上野537-14	2004.5.26	2.00	文第57号(273)／浄化槽立会	和歌山市教育委員会	個人住宅	遺構・遺物なし
17	太田・黒田遺跡	太田1070-45	2004.5.27	17.00	文第7号(38)／工事立会	和歌山市教育委員会	個人住宅	遺構・遺物なし
18	平尾遺跡	木枕287-2	2004.5.28	16.00	文第7号(14)／確認調査	和歌山市教育委員会	中継塔建設	遺構・遺物なし
19	木広町遺跡	木広町5-5-17	2004.6.1	7.20	文第57号(282)／工事立会	和歌山市教育委員会	事務所建築	遺構・遺物なし
20	井辺遺跡	神前144-1	2004.6.1	8.00	文第7号(5)／工事立会	和歌山市教育委員会	宅地造成	遺構・遺物なし
21	津秦Ⅱ遺跡	井辺45-30	2004.6.3	6.00	文第7号(3)／浄化槽立会	和歌山市教育委員会	個人住宅	遺構なし,土師質土器微片わずかに入る
22	鳴神Ⅱ遺跡	鳴神103-8	2004.6.16	3.00	文第7号(25)／浄化槽立会	和歌山市教育委員会	個人住宅	遺構なし,土師質土器微片わずかに入る
23	井辺遺跡	津秦145-16	2004.6.17	7.00	文第7号(66)／浄化槽立会	和歌山市教育委員会	兼用住宅	遺構・遺物なし
24	木ノ本Ⅲ遺跡	木ノ本751-8	2004.6.18	2.30	文第7号(77)／浄化槽立会	和歌山市教育委員会	個人住宅	遺構・遺物なし
25	城ヶ森遺跡	吉礼616-5	2004.6.28	2.99	文第57号(254)／浄化槽立会	和歌山市教育委員会	個人住宅	遺構・遺物なし
26	鳴神Ⅲ遺跡	鳴神547-5	2004.7.21	2.50	文第7号(47)／浄化槽立会	和歌山市教育委員会	個人住宅	遺構・遺物なし
27	太田・黒田遺跡	太田479-1	2004.7.21～8.27	39.00	文第7号(36)／確認調査	財団法人和歌山市文化体育振興財団	立体駐車場	弥生～室町の溝・土坑等検出、弥生土器・は時期・末木・黒色土器・瓦器・陶磁器等出土
28	神前遺跡	神前510-1	2004.8.3	3.40	文第7号(82)／確認調査	和歌山市教育委員会	店舗建築	遺構・遺物なし
29	太田・黒田遺跡	太田420	2004.8.4	8.00	文第7号(80)／確認調査	和歌山市教育委員会	店舗建築	遺構・遺物なし
30	史跡和歌山城	一番丁3	2004.8.5～2005.1.11	740.00	文第71号(4)／発掘調査	財団法人和歌山市文化体育振興財団	史跡整備	二の丸建物群基礎検出,土師器土器・陶磁器・瓦・金属器等出土
31	木ノ本Ⅱ遺跡	木ノ本1085	2004.8.9	1.30	文第57号(194)／浄化槽立会	和歌山市教育委員会	個人住宅	遺構・遺物なし
32	鬼戸遺跡	鬼戸3-3-22	2004.8.12	2.75	文第7号(83)／工事立会	和歌山市教育委員会	ガス管理設	遺構・遺物なし
33	神前Ⅱ遺跡	神前168-3	2004.9.2	26.00	文第7号(19)／確認調査	和歌山市教育委員会	店舗建築	遺構・遺物なし
34	松原Ⅱ遺跡	馬場32-1	2004.9.13	6.00	文第7号(79)／工事立会	和歌山市教育委員会	個人住宅	遺構・遺物なし
35	木ノ本Ⅲ遺跡	木ノ本748	2004.9.17	3.75	文第7号(37)／浄化槽立会	和歌山市教育委員会	個人住宅	遺構・遺物なし
36	木ノ本Ⅲ遺跡	木ノ本751-6	2004.9.24	3.75	文第7号(117)／浄化槽立会	和歌山市教育委員会	個人住宅	遺構なし,土師質土器微片わずかに入る
37	紀三井寺塩田跡	紀三井寺782	2004.11.1	8.00	文第7号(144)／確認調査	和歌山市教育委員会	集合住宅	遺構・遺物なし
38	榎原遺跡	榎原61-2	2004.11.4	10.50	文第7号(143)／確認調査	和歌山市教育委員会	集合住宅	遺構・遺物なし
39	井辺遺跡	神前14-10	2004.11.5	3.75	文第7号(128)／浄化槽立会	和歌山市教育委員会	個人住宅	遺構・遺物なし
40	津は堆積	津秦91-1	2004.11.8	10.00	文第7号(103)／確認調査	和歌山市教育委員会	集合住宅	遺構なし,土師質土器微片わずかに入る
41	平尾遺跡	平尾129-1	2004.12.1	31.20	文第7号(118)／工事立会	和歌山市教育委員会	個人住宅	遺構なし,土師質土器・瓦器等微片出土
42	太田・黒田遺跡	黒田255-14	2004.12.13	4.00	文第7号(180)／工事立会	和歌山市教育委員会	個人住宅	遺構・遺物なし
43	岩橋Ⅱ遺跡	岩橋1320-5	2004.12.15	3.25	文第7号(152)／浄化槽立会	和歌山市教育委員会	個人住宅	遺構なし,土師質土器微片わずかに入る
44	太田・黒田遺跡	黒田82-3	2004.12.15	5.00	文第7号(155)／確認調査	和歌山市教育委員会	事務所建築	遺構・遺物なし
45	山吹丁遺跡	元寺町5-52	2004.12.17	16.00	文第7号(153)／確認調査	和歌山市教育委員会	兼用住宅	遺構・遺物なし
46	神前遺跡	神前516	2004.12.20～12.22	50.00	文第7号(166)／確認調査	財団法人和歌山市文化体育振興財団	造成工事	遺構なし,土師器出土
47	木ノ本Ⅲ遺跡	木ノ本751-12	2004.12.22	3.25	文第7号(201)／浄化槽立会	和歌山市教育委員会	個人住宅	遺構なし,土師質土器微片わずかに入る
48	紀三井寺塩田跡	紀三井寺777-6	2005.1.18	7.50	文第7号(199)／工事立会	和歌山市教育委員会	個人住宅	遺構・遺物なし
49	紀三井寺塩田跡	紀三井寺787-1	2005.1.18	18.00	文第7号(200)／工事立会	和歌山市教育委員会	集合住宅	遺構・遺物なし

50	井辺遺跡	神前121-1	2005.1.19～1.27	140.00	文第7号(192)／確認調査	財団法人和歌山市文化体育振興財団	宅地造成	古墳・鎌倉時代の溝・土坑等検出,土師器・須恵器・瓦器等出土
51	岩橋Ⅱ遺跡	岩橋1320-13	2005.1.24	3.25	文第7号(114)／浄化槽立会	和歌山市教育委員会	個人住宅	遺構なし,土師質土器微片わずかに入る
52	木ノ本Ⅰ遺跡	西庄30	2004.1.25～1.27	60.00	文第7号(191)／確認調査	財団法人和歌山市文化体育振興財団	宅地造成	中世小溝群検出,土師器・須恵器・瓦器・土錘等出土
53	井辺遺跡	神前110-18	2005.1.28	3.75	文第7号(146)／浄化槽立会	和歌山市教育委員会	個人住宅	遺構・遺物なし
54	神前遺跡	神前535-3	2005.1.31	6.00	文第7号(209)／確認調査	和歌山市教育委員会	宅地造成	遺構・遺物なし
55	直川地区	直川610	2005.1.31～2.25	1841.00	文第71号(14)	財団法人和歌山市文化体育振興財団	試掘調査	土杭・溝等検出,土師器・須恵器・黒色土器・陶磁器・瓦等細片少量出土
56	秋月遺跡	太田540-6	2005.2.2	7.50	文第7号(215)／工事立会	和歌山市教育委員会	事務所建築	遺構・遺物なし
57	弘西地区	弘西945	2005.2.7～2.18	160.00	文第71号(15)	財団法人和歌山市文化体育振興財団	試掘調査	溝状痕跡確認,土師質土器瓦器等微片わずかに入る
58	井辺遺跡	井辺112	2005.2.24～3.10	140.00	文第7号(182)／確認調査	財団法人和歌山市文化体育振興財団	宅地造成	竪穴住居・井戸,弥生土器・土師器・須恵器出土
59	井辺遺跡	井辺523	2005.3.3	3.25	文第7号(249)／浄化槽立会	和歌山市教育委員会	個人住宅	遺構なし,弥生土器・土師質土器等微片
60	川辺遺跡	川辺277-12	2005.3.8	3.00	文第7号(238)／浄化槽立会	和歌山市教育委員会	個人住宅	溝状痕跡確認,遺物なし
61	西田井遺跡	西田井234	2005.3.15	26.00	文第7号(258)／確認調査	和歌山市教育委員会	店舗建築	遺構なし,土師質土器微片わずかに入る
62	紀三井寺塩田跡	布引373-1	2005.3.17	21.00	文第7号(181)／浄化槽立会	和歌山市教育委員会	集合住宅	遺構・遺物なし

海南市

NO.	遺跡名	所在地	調査期間	調査面積(㎡)	県指示文書番号／ 内容	実施機関	調査経緯	調査内容
1	岡村遺跡	岡田字境田164-2	2004.5.13～2004.5.18	77	文第7号の(34)／擁壁設置部分の立会調査	海南市教育委員会	宅地造成	調査地の北東隅断面で、溝状遺構らしき落ち込みと瓦器片の包含を確認
2	岡村遺跡	岡田字柿ノ坪145-10	2004.5.18	2	文第7号の(44)／工事立会	海南市教育委員会	個人住宅	遺構・遺物なし
3	岡村遺跡	岡田字柿ノ坪145-5	2004.5.25	1.6	文第7号の(29)／工事立会	海南市教育委員会	個人住宅	洪水砂に由来する砂質土層3層で遺物を包含
4	伏山城跡	多田543	2004.5.27	3.2	文第7号の(48)／工事立会	海南市教育委員会	個人住宅	時期不明の平瓦を伴う大型の土坑を検出
5	岡村遺跡	岡田字柿ノ坪145－8	2004.6.15	3.6	文第57号の(284)／工事立会	海南市教育委員会	個人住宅	2つの遺物包含層を確認
6	禅林寺	幡川424番地	2004.8.21～31	42	第58条の2	海南市教育委員会	確認調査	中世の遺物包含層と中世以前の遺構を確認
7	岡村遺跡	字柿之坪145-6	2004.10.23	1.8	文第7号の(95)／工事立会	海南市教育委員会	個人住宅	溝と土坑の可能性がある遺構を確認
8	坂本屋敷跡	藤白字浜端166－9	2004,1120	618.46	文第7号の(146)／確認調査	海南市教育委員会	個人住宅	遺構・遺物なし
9	今市仮城跡	日方字井松原1167-1・5・8	2004.11.29	654.95	文第7号の(169)／確認調査	海南市教育委員会	事業所	遺構・遺物なし,現表土下で焼土が混じった整地土層を確認
10	小野田古墳	小野田	2004.12.6～2005.1.14	90	第58条の2	海南市教育委員会	確認調査	横穴式石室と古墳時代後期と飛鳥時代の遺物を確認,追葬もしくは転用される。
11	岡村遺跡	岡田260-1番地先	2004.12.22	42.7	文第8号の(43)／確認調査	海南市教育委員会	道路側溝改修	遺構・遺物なし
12	岡村遺跡	岡田	2004.1.22～2.4	24	第58条の2	海南市教育委員会	確認調査	弥生時代～中世にわたる遺物包含層と遺構を確認,一部の包含層は天地返しを被っている。
13	坂本屋敷跡	藤白字浜端166－9	2005.1.6	17.5	文第7号の(164)／工事立会	海南市教育委員会	兼用住宅	遺構・遺物なし
14	亀川遺跡	且来字野田246－7	2005.1.12	1.3	文第7号の(135)／工事立会	海南市教育委員会	分譲住宅	遺構・遺物なし
15	亀川遺跡	且来字野田246-8	2005.1.13	2.1	文第7号の(136)／工事立会	海南市教育委員会	分譲住宅	希薄であるが、遺物が散布
16	亀川遺跡	且来字野田246-10	2005.1.13	1.7	文第7号の(137)／工事立会	海南市教育委員会	分譲住宅	古墳時代以降の遺物包含層と土坑か溝状遺構を確認
17	岡村遺跡	岡田字柿之坪145－4	2005.1.25	1.8	文第7号の(94)／工事立会	海南市教育委員会	個人住宅	弥生時代と古墳時代末～古代の遺物包含層を確認
18	亀川遺跡	且来字神田266-2	2005.1.27	220	第58条の2	海南市教育委員会	確認調査	弥生時代後期の遺物包含層と遺構を確認
19	岡村遺跡	岡田260-1番地先	2005.2.1	3.9	文第8号の(43)／工事立会	海南市教育委員会	側溝改修	遺構・遺物なし
20	土居跡	九品寺字中尾279－2	2005.2.3	3.2	文第7号の(147)／工事立会	海南市教育委員会	個人住宅	遺構・遺物なし
21	且来Ⅰ遺跡	且来字城之内25－3	2005.2.2	5.2	文第7号の(222)／工事立会	海南市教育委員会	事業所	遺構・遺物なし
22	岡村古墳群	岡田81番地	2005.2.17	281.38	文第7号の(219)／工事立会	海南市教育委員会	事業所(農業用倉庫)	遺構・遺物なし
23	岡村遺跡	岡田字西中垣88-1～5	2005.2.17	997.4	第58条の2	海南市教育委員会	確認調査	弥生時代後期末から古墳時代にかけての遺物包含層と遺構、および弥生時代中期の遺物包含層を確認
24	中殿土居跡	野上中448－9・449－2	2005.2.18	1082.22	文第7号の(149)／工事立会	海南市教育委員会	個人住宅	遺構・遺物なし
25	亀川遺跡	且来字野田246－5	2005.3.15	2.2	文第7号の(198)／工事立会	海南市教育委員会	分譲住宅	奈良時代の土壙状遺構と遺物包含層を確認

岩出町

NO.	遺跡名	所在地	調査期間	調査面積(㎡)	県指示文書番号／ 内容	実施機関	調査経緯	調査内容
1	根来遺跡	根来910-2	2004.4.8	7	文第57号の(275)／工事立会	岩出町教育委員会	店舗	遺構なし,須恵器・土師木・瀬戸美濃焼き少量出土(奈良～中世)
2	根来寺坊院跡	根来1472-1・3	2004.5.6～8.31	4680	文第58号／発掘調査	岩出町教育委員会	図書館	池内・・・遺構なし,土師質土器・瓦器等出土。(中世～近世)堤・・・中世と近世の提体を検出。瓦・土師質土器・備前焼など出土(中世～近世)
3	根来寺坊院跡	根来2150-2	2004.6.2	3.2	文第7号の(46)／工事立会	岩出町教育委員会	駐車場	石列土塀基礎石検出,(近世)遺物なし
4	山一遺跡	山713外20筆	2004.6.2～6.9	160	文第8号／確認調査	岩出町教育委員会	道路改良	柱穴を検出。須恵器・土師器、瓦器等出土(奈良時代～江戸)
5	畑毛遺跡	西野22-1	2004.6.22	4.5	文第7号の(68)／浄化槽立会	岩出町教育委員会	店舗	遺構・遺物なし
6	岡田遺跡	岡田269-1	2004.7.2	10	文第7号の(73)／工事立会	岩出町教育委員会	個人住宅	遺構なし,土師質土器極少量出土
7	西国分Ⅱ遺跡	岡田4-5,4-1	2004.8.26	24	文第7号の(102)／工事立会	岩出町教育委員会	店舗	遺構・遺物なし
8	山崎遺跡	金屋309-1外3筆	2004.9.16	15	文第7号の(74)／工事立会	岩出町教育委員会	宅地造成	遺構・遺物なし
9	根来寺坊院跡	根来1472-1・3	2004.9.19～12.31	5243	文第58号／発掘調査	岩出町教育委員会	図書館	池内・・・岩盤と溝状の凹みを検出,土師質土器・瓦等出土(中世～近世),堤・・・中世と近世(17c後半)の提体を検出瓦・土師質土器等出土(中世～近世)

10	中黒Ⅱ遺跡	中黒546,580-1、581-1、582,583-1	2004.10.22	30	文第7号の(86)／工事立会	岩出町教育委員会	店舗	遺構・遺物なし
11	荒田遺跡	堀口8-3 外6筆	2004.10.24～27	332	文第7号の(111)／確認調査	岩出町教育委員会	店舗	土杭検出(弥生),弥生土器,瓦器・土師質土器出土(中世)
12	荒田遺跡	尼ヶ辻、根来地内	2004.10.12・18・22、12.2・6・16	162	文第8号の(23)／工事立会	岩出町教育委員会	道路改良	柱穴1基検出(中世？),瓦・土師質土器・国産陶磁器出土(中世～近世)
13	山一遺跡	山713外20筆	2004.11.15～2005.1.31	817	文第8号／確認調査	岩出町教育委員会	道路改良	建物跡2棟(奈良、、土杭・溝・柱穴検出,須恵器・土師器・瓦器出土(奈良～中世)
14	根来寺坊院跡	根来2284	2004.11.24	7	第58条の2	岩出町教育委員会	確認調査	土管の排水溝検出,土師質土器・瓦出土(近世)
15	荒田遺跡	森184 外13筆 堀口7-1 外5筆	2005.1.19～1.27	886	文第7号の(205)／確認調査	岩出町教育委員会	店舗	土杭(弥生),土杭・溝・柱穴(中世)検出,弥生土器,瓦器・土師質土器(中世)出土。
16	尼ヶ辻遺跡	根来634、636	2005.1.24	19.5	文第7号の(167)／確認調査	岩出町教育委員会	店舗	遺構・遺物なし
17	根来寺坊院跡	根来2166-1 外3筆	2005.2.1～3.4	19	現状変更	岩出町教育委員会	名勝庭園保存修理	石積み,石列,階段検出,(近世)瓦・土師質土器等出土(中世～近世)
18	根来寺坊院跡	根来902-1、1048、1049-2	2005.2.1～2.23	147	第58条の2	岩出町教育委員会	確認調査	土杭(近世),堀状遺構検出,土師質土器,国産陶磁器出土(近世)
19	根来寺坊院跡	根来1710-1・2	2005.2.14	6.5	文第7号の(228)／工事立会	岩出町教育委員会	その他建物(温室)	遺構・遺物なし
20	根来寺坊院跡	根来2043-1	2005.2.21～3.7	46	文第7号の(184)／確認調査	岩出町教育委員会	個人住宅	土杭検出,土師質土器出土(中世)
21	東国分Ⅱ遺跡	西国分61・65・69-1	2005.2.16・17	198	文第7号の(218)／確認調査	岩出町教育委員会	宅地造成	溝状・土坑状遺構検出,須恵器・瓦・瓦器・土師質土器等出土(奈良～近世)
22	根来寺坊院跡	根来1709-11、710-2	2005.3.3	9	文第7号の(188)／工事立会	岩出町教育委員会	店舗	遺構・遺物なし
23	山一遺跡	山・中黒地区	2005.3.18	13	文第8号の(32)／工事立会	岩出町教育委員会	下水	柱穴1基検出,(中世)遺物なし

打田町

NO.	遺跡名	所在地	調査期間	調査面積(㎡)	県指示文書番号／ 内容	実施機関	調査経緯	調査内容
1	東三谷遺跡	東三谷562-1他	2004.4.1.	6	文第57号の(289)／浄化槽立会	打田町教育委員会	個人住宅	遺構・遺物なし
2	粟島遺跡	東三谷261他	2004.4.2	3	文第57号の(248)／浄化槽立会	打田町教育委員会	その他建物	奈良・平安時代のピット1. 須恵器甕片
3	三昧塚古墳群	中井阪160他	2004.4.21	4	文第57号の(283)／工事立会	打田町教育委員会	その他建物	遺構・遺物なし
4	王城跡	古和田302	2004.6.112	2	文第7号の(27)／浄化槽立会	打田町教育委員会	個人住宅	中・近世？の土杭1？
5	粟島遺跡	東大井17-34	2004.6.12	6	文第57号の(235)／浄化槽立会	打田町教育委員会	個人住宅	遺構・遺物なし
6	粟島遺跡	東大井82-34	2004.6.12	3.75	文第7号の(61)／浄化槽立会	打田町教育委員会	個人住宅	遺構・遺物なし
7	粟島遺跡	東大井436-3	2004.7.23	2	文第57号の(294)／浄化槽立会	打田町教育委員会	個人住宅	遺構・遺物なし
8	東田中神社遺跡	打田646-2	2004.9.8	4.5	文第7号の(39)／浄化槽立会	打田町教育委員会	個人住宅	遺構・遺物なし
9	粟島遺跡	東大井419-8	2004.9.9	4.5	文第7号の(65)浄化槽立会	打田町教育委員会	個人住宅	奈良・平安時代の整地層？平瓦須恵器片
10	岡田Ⅱ遺跡	西井阪107-15	2004.9.27	2.5	文第7号の(96)／浄化槽立会	打田町教育委員会	個人住宅	中世？土師器細片
11	粟島遺跡	東大井419-8	2004.12.1	2.5	文第57号の(229)／工事立会	打田町教育委員会	個人住宅	奈良・平安時代の整地層？平瓦須恵器片
12	岡田Ⅱ遺跡	下井阪12-1	2004.12.7	2.5	文第7号の(120)／浄化槽立会	打田町教育委員会	個人住宅	遺構・遺物なし
13	岡田Ⅱ遺跡	下井阪485-1	2005.1.20	15	文第7号の(157)／浄化槽立会	打田町教育委員会	個人住宅	遺構・遺物なし
14	粟島遺跡	赤尾472-10	2005.2.16	2	文第7歩の(160)/ 浄化槽立会	打田町教育委員会	個人住宅	遺構・遺物なし
15	南勢田遺跡	南勢田605－1他	2005.2.24	15	浄化槽立会	打田町教育委員会	集合住宅	遺構・遺物なし
16	上野遺跡	上野15-4	2005.3.12	4	文第7号の(242)／工事立会	打田町教育委員会	その他住宅	遺構・遺物なし
17	紀伊国分寺跡	東国分619-3	2005.2.9～2.14	193	文第8号の(44)／確認調査	打田町教育委員会	造成	平安時代後期の柱穴10. 瓦器碗・皿、羽釜

橋本市

NO.	遺跡名	所在地	調査期間	調査面積(㎡)	県指示文書番号／ 内容	実施機関	調査経緯	調査内容
1	古佐田遺跡	古佐田地内	2004.9.28	1410	文第8号の(13)／工事立会	橋本市教育委員会	下水道	遺構・遺物なし
2	利生護国寺旧境内遺跡	隅田町下兵庫地内	2004.8.9	108	文第8号の(15)／工事立会	橋本市教育委員会	下水道	遺構・遺物なし
3	神野々Ⅰ遺跡	神野々字柳下977番	2004.7.13	30	文第7号の(81)／確認調査	橋本市教育委員会	個人住宅	遺構・遺物なし
4	妙楽寺	東家三丁目557－1～930-1番地先	2004.8.25	15	文第8号の(16)／工事立会	橋本市教育委員会	水路改修	遺構・遺物なし
5	学文路Ⅱ遺跡	学文路776番地先	2004.8.13	96.9	文第8号の(20)／工事立会	橋本市教育委員会	水路改修	遺構・遺物なし
6	垂井榎塚遺跡	垂井字榎木塚529番	2004.8.19	4.5	文第7号の(101)／浄化槽立会	橋本市教育委員会	個人住宅	遺構・遺物なし
7	東家遺跡	東家二丁目1番19号	2004.9.15	20	文第8号の(29)／工事立会	橋本市教育委員会	下水道	遺構・遺物なし
8	上田遺跡	上田225	2004.10.19	1.45	文第7号の(123)／工事立会	橋本市教育委員会	上水道	遺構・遺物なし
9	垂井女房ヶ坪遺跡	垂井字女房ヶ坪61-5、62-5、63-5、64-6の各1部	2004.11.22	124.8	文第7号の(124)／確認調査	橋本市教育委員会	店舗	遺構・遺物なし

吉備町

NO.	遺跡名	所在地	調査期間	調査面積(㎡)	県指示文書番号／ 内容	実施機関	調査経緯	調査内容
1	藤並地区遺跡	土生212-2・213-2			文第7号の(23)／工事立会		駐車場造成	事前着工
2	旧吉備中学校校庭遺跡	下津野697-1・698-1	2004.5.12～7.4	450	第58条の2	吉備町教育委員会	下水処理施設	弥生時代竪穴住居・溝等検出,弥生土器・土師器・須恵器・黒色土器・瓦器等
3	田殿尾中遺跡	吉備町97	2004.11.20	68.5	文第7号の(64)／工事立会	吉備町教育委員会	駐車場造成	遺構なし、弥生土器微量
4	天満Ⅱ遺跡	天満607-2	2004.10.7	5.1	第58条の2	吉備町教育委員会	個人住宅	遺構・遺物なし
5	藤並地区遺跡	土生308-1	2004.12.13	8	文第7号の(126)／工事立会	吉備町教育委員会	集合住宅	中世溝・掘立建物検出,土師器・瓦器
6	天満Ⅰ遺跡	天満564-1	2004.11.5～11.10	41	第58条の2	吉備町教育委員会	店舗	中世ピット・土坑等検出,土師器・瓦器
7	築那院跡	大谷地内	2004.4.25～5.10、9.13～9.22	95	文第8号の(49)／確認調査	吉備町教育委員会	農道	中世石敷遺構検出,土師器・瓦器・宝塔文軒丸瓦
8	藤並地区遺跡	天満126-5	2005.1.24～1.25	3.2	文第7号の(204)／発掘調査	吉備町教育委員会	個人住宅	時期不明溝2・土坑1基検出,土師器・瓦器

9	野田地区遺跡	天満56-1	2005.2.21	18.9	文第7号の(210)／工事立会	吉備町教育委員会	擁壁設置	遺構・遺物なし
10	長楽寺跡	吉備町348	2005.1.28・1.31	3	文第7号の(212)／工事立会	吉備町教育委員会	仮水路設置	時期不明石垣基底部検出,瓦器・瓦類
11	藤並地区遺跡	土生371-10	2008.2.7	4.32	文第7号の(214)／工事立会	吉備町教育委員会	個人住宅	遺構・遺物なし
12	天満Ⅰ遺跡	天満564-1	2005.3.7～4.19	510	文第7号の(233)／発掘調査	吉備町教育委員会	店舗	弥生・古墳時代竪穴住居、中世掘立建物・溝・土坑等検出,縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・黒色土器・瓦器・瓦等
13	天満Ⅱ遺跡	下津野1030-17・18,1031	2005.3.2～3.3	24.4	第58条の2	吉備町教育委員会	排水路・擁壁設置	中世溝・ピット検出,瓦器
14	天満Ⅱ遺跡	下津野1030-17・18	2005.6.6	12	文第7号の(252)／工事立会	吉備町教育委員会	私道・排水路	中世溝、ピット検出,瓦器、近世陶磁器
15	天満Ⅱ遺跡	下津野1031	2005.5.10～5.13	51.6	文第7号の(253)／工事立会	吉備町教育委員会	擁壁設置	中世土坑、近世土坑・溝検出,土師器・瓦器・近世陶磁器
16	長楽寺跡	植野348	2005.4.4～4.15	17.3	文第7号の(256)／工事立会	吉備町教育委員会	雨落ち溝改修	遺構なし、宝篋印塔基礎
17	藤並地区遺跡	水尻409-7・409-12	2005.4.11・4.13	36	文第6号の(2)／工事立会	吉備町教育委員会	集合住宅	遺構・遺物なし

御坊市

NO,	遺跡名	所在地	調査期間	調査面積(㎡)	県指示文書番号／ 内容	実施機関	調査経緯	調査内容
1	天田古墳群	塩屋町北塩屋7301-2,731-3	2004.4.27	2		御坊市教育委員会	個人住宅	遺構・遺物なし
2	蛭田坪遺跡	湯川町小松原572他2筆	2004.4.29	10	文第7号の(11)／工事立会	御坊市教育委員会	分譲住宅	遺構・遺物なし
3	津井切遺跡	藤田町吉田708-2,708-3	2004.5.12	6		御坊市教育委員会	賃貸住宅	遺構・遺物なし
4	津井切遺跡	藤田町吉田766-12	2004.5.24	4.5	文第7号の(43)／工事立会	御坊市教育委員会	個人住宅	遺構・遺物なし
5	岩内王子遺跡	岩内字田端494-5	2004.06.3	4.5		御坊市教育委員会	個人住宅	遺構・遺物なし
6	津井切遺跡	藤田町吉田766	2004.6.4	4.5	文第7号の(43)/浄化槽立会	御坊市教育委員会	兼用住宅	遺構・遺物なし
7	蛭田坪遺跡	湯川町財部37-18	2004.6.10	2	文第7号の(12)/浄化槽立会	御坊市教育委員会	個人住宅	遺構・遺物なし
8	津井切遺跡	藤田町東院726-12	2004.6.14	2	文第7号の(50)/浄化槽立会	御坊市教育委員会	兼用住宅	遺構・遺物なし
9	堅田遺跡	湯川町財部字森崎121-2他1筆	2004.6.28	2	文第7号の(105)/浄化槽立会	御坊市教育委員会	兼用住宅	遺構・遺物なし
10	堅田遺跡	湯川町財部201-1他2筆	2004.7.13	1112.32	文第7号の(70)/浄化槽立会	御坊市教育委員会	兼用住宅	遺構・遺物なし
11	津井切遺跡	藤田町吉田字東院726-19	2004.7.15	2	文第7号の(51)/浄化槽立会	御坊市教育委員会	兼用住宅	遺構・遺物なし
12	天田古墳群	塩屋町北塩屋字峠643-5	2004.7.26	5.61		御坊市教育委員会	個人住宅	遺構・遺物なし
13	堅田遺跡	湯川町堅田616-1他1筆	2004.7.28	2	文第7号の(71)/浄化槽立会	御坊市教育委員会	兼用住宅	遺構・遺物なし
14	上野王子遺跡	名田町上野1529-5	2004.7.29	3	文第7号の(80)/浄化槽立会	御坊市教育委員会	兼用住宅	遺構・遺物なし
15	堅田遺跡	湯川町財部639-2	2004.8.25	15	文第7号の(99)/浄化槽立会	御坊市教育委員会	遊技場増築	遺構・遺物なし
16	岩内城跡	岩内268-3	2004.9.3	4	文第7号の(108)/浄化槽立会	御坊市教育委員会	兼用住宅	遺構・遺物なし
17	岩内古墳群	岩内字平田78-1他3筆	2004.9.16	4.5		御坊市教育委員会	個人住宅	遺構・遺物なし
18	堅田遺跡	薗字黒柏79-7	2004.10.18	2		御坊市教育委員会	兼用住宅	遺構・遺物なし
19	津井切遺跡	藤田町吉田892,893	2004.11.5	3	文第7号の(151)/浄化槽立会	御坊市教育委員会	集合住宅	遺構・遺物なし
20	堅田遺跡	薗字西部19-3	2004.11.5	3		御坊市教育委員会	賃貸住宅	遺構・遺物なし
21	天田古墳群	塩屋町北塩屋33	2004.12.7	4.5		御坊市教育委員会	個人住宅	遺構・遺物なし
22	岩内Ⅰ遺跡	岩内551-2	2004.12.14	2	文第7号の(62)/浄化槽立会	御坊市教育委員会	兼用住宅	遺構・遺物なし
23	津井切遺跡	藤田町吉田字東院726-20	2005.1.13	4.5	文第7号の(171)/浄化槽立会	御坊市教育委員会	その他の住宅建築	遺構・遺物なし
24	東郷遺跡	藤田町藤井1913-2他2筆	2004.1.25	3	文第7号の(150)工事立会	御坊市教育委員会	その他の住宅建築	弥生時代土器細片わずか

田辺市

NO,	遺跡名	所在地	調査期間	調査面積(㎡)	県指示文書番号／ 内容	実施機関	調査経緯	調査内容
1	八丁田圃遺跡	秋津町238番地12	2004.7.22	約5	文第7号の(53)／浄化槽立会	田辺市教育委員会	個人住宅	遺構・遺物なし
2	八丁田圃遺跡	秋津町238番地14	2005.2.14	約4	文第7号の(165)／浄化槽立会	田辺市教育委員会	個人住宅	

新宮市

NO,	遺跡名	所在地	調査期間	調査面積(㎡)	県指示文書番号／ 内容	実施機関	調査経緯	調査内容
1	佐野遺跡	佐野字根地原919-6	2004.12.6	4.42	文第7号の(116)／浄化槽立会	新宮市教育委員会	個人住宅	遺構・遺物なし、盛土層
2	堀内氏屋敷跡	地歩丁目129-1,2	2005.3.30	1.5	文第7号の(217)／浄化槽立会	新宮市教育委員会	個人住宅	遺構・遺物なし

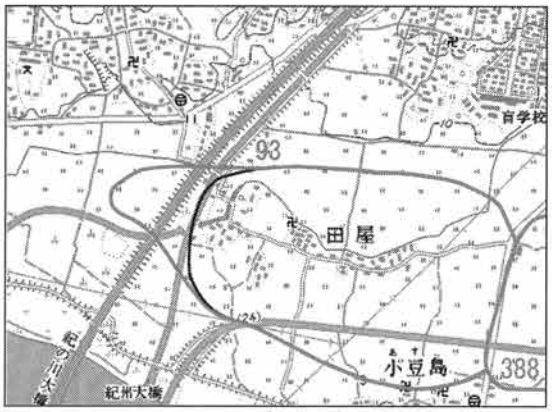
那智勝浦町

NO,	遺跡名	所在地	調査期間	調査面積(㎡)	県指示文書番号／ 内容	実施機関	調査経緯	調査内容
1	川関遺跡	大字川関	2004.5.28	4.5	文第57号の(240)／工事立会	那智勝浦町教育委員会	個人住宅	遺構・遺物なし
2	川関遺跡	大字川関	2004.8.16	3	文第7号の(100)／浄化槽立会	那智勝浦町教育委員会	個人住宅	遺構・遺物なし

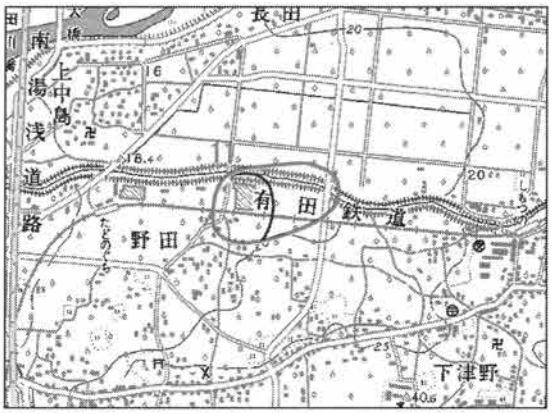
埋蔵文化財包蔵地の認定・範囲変更

平成17年3月1日から、平成18年3月15日までに範囲変更を行った遺跡について以下に掲載する。
該当遺跡の包蔵地範囲は赤線で表示しているが、旧範囲部分は黒線で示している。

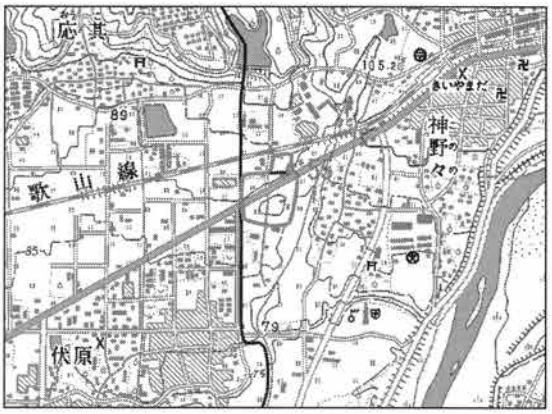
立平遺跡（16）



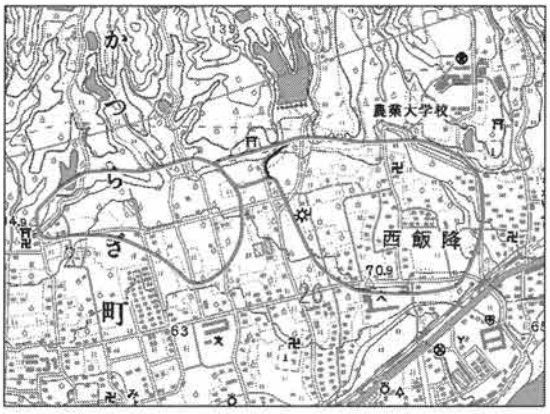
田屋遺跡（93）



吉備中学校校庭遺跡(11)



神野々Ⅰ遺跡（55）



西飯降遺跡（26）

遺跡番号	地図	遺跡名	所在地	種別	時代	立地	認定・変更日	備考
16	47図	立平遺跡	上富田町岩田・生馬地内	散布地	古墳	丘陵	H17. 8. 31	範囲変更
93	5図	田屋遺跡	和歌山市田屋・直川	集落跡	弥生～古墳、奈良、平安	沖積地	H17. 9. 14	範囲変更
11	21図	旧吉備中学校校庭遺跡	有田川町下津野	散布地	弥生～鎌倉	河岸段丘	H18. 3. 2	範囲変更
55	8図	神野々Ⅰ遺跡	橋本市神野々	散布地	弥生～中世	河岸段丘	H18. 3. 9	範囲変更
26	8図	西飯降Ⅱ遺跡	かつらぎ町西飯降	散布地	縄文～古代	河岸段丘	H18. 3. 13	範囲変更

平成16年度県教育委員会による調査

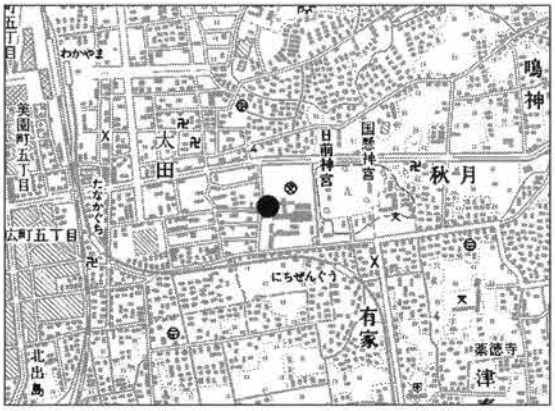
埋蔵文化財包蔵地等での調査

1. 秋月遺跡

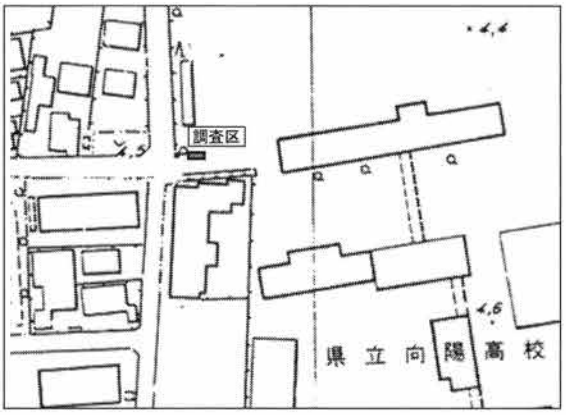
（調査件名　04-25）

種　別　立会調査

所在地　和歌山市太田地内



遺跡位置図



調査位置図

2. 野上中南遺跡

（調査件名　96-207）

種　別　立会調査

所在地　海南市野上中地内

＜調査の経緯＞

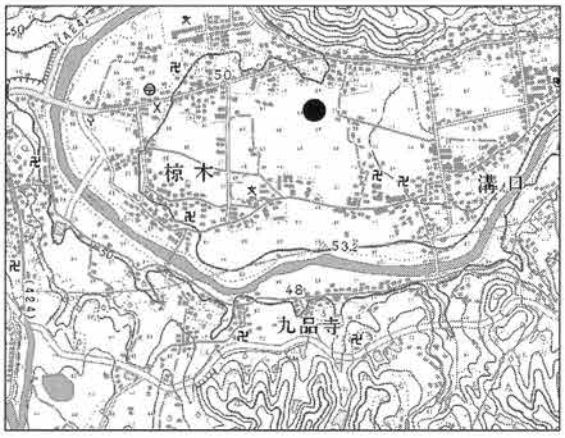
奥佐々阪井線半島振興道路建設に伴う立会調査である。過去に海南市文化財調査研究会（平成 8･9 年度）、(財) 和歌山県文化財センター（平成 15～16 年度）による発掘調査が行われているが、今回は未調査地点であった農業用水路の土管埋設工事部分について調査を実施した。

＜調査の成果＞

調査では土管埋設部分に 7 つの調査区（a～g トレンチ）を設定した。

基本層序は、1 層：耕作土、2 層：にぶい黄褐色細砂～シルト、3 層：灰黄褐色細砂～シルト、4 層：黄褐色～灰黄褐色シルト～細砂、5 層：黄褐色～灰オリーブ色シルト、6 層：暗褐色～黒褐色シルト～細砂、7 層：黄褐色～灰オリーブシルト（地山）となる。

（財）和歌山県文化財センター調査時の基本層序との対応関係は、1 層がセンター1･2 層（耕作土）に、2･3 層がセンター3 層（近世～中世の遺物包含層）に、4・5 層がセンター4 層（中世の遺物包含層）に、6 層がセンター5 層（弥



遺跡位置図

調査位置図

生時代の遺物包含層）に相当する。

aトレンチ：盛土及び1層、3層を除去後、7層上面で遺構を検出した。遺構は土坑2基で、調査区南端で検出した。

bトレンチ：盛土及び1層、3層を除去後、7層上面で溝・ピットを検出した。遺構b-1は土層断面の観察から柱穴と判断される。

cトレンチ：盛土及び1層、3層を除去後、7層上面でピット・土坑を検出した。

dトレンチ：盛土及び1層、3層を除去後、7層上面で溝・ピット・土坑を検出した。a～cトレンチに比して遺構密度は比較的高い。

eトレンチ：a～cトレンチとは異なり、3層の下層に4～6層が堆積する。7層上面で遺構検出をおこなった結果、溝、ピット、土坑を検出した。ただし、遺構e-1、遺構e-2は断面観察より6層上面の遺構と認識でき、層位より中世段階に帰属すると考えられる。このうち遺構e-1は幅約1.7m～2.4mの南北方向に延びる溝である。7層上面の遺構は土坑・ピットであり（遺構e-3～遺構e-19）、遺構密度は比較的高い。

fトレンチ：盛土及び1～6層を除去後、7層上面で溝を検出した。溝は、幅約1.4m深度約0.4mで、不整形な平面形を呈する。

gトレンチ：本調査区は、調査時に壁面が崩落したために、平面図の作成をおこなうことが不可能であった。盛土及び1～6層を除去後、7層上面で土坑（g-1）を検出したのみである。

＜調査の所見＞

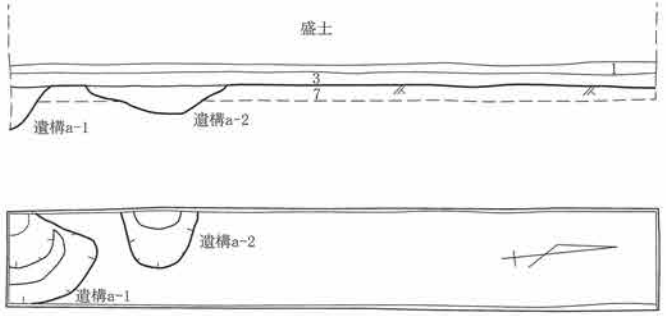
以上より、今回の立会調査では各調査区で遺構が検出された。出土遺物が乏しいため個々の遺構の所属時期を特定することは困難であるが、7層上面で検出された遺構は多くが弥生時代に属する可能性が高い。

また、a～dトレンチでは3層直下が地山の7層となり4～6層が堆積していないが、eトレンチ以東では4～6層が確認でき、特に調査区のうち東端に位置するgトレンチでは各土層が安定して認められる。こうした傾向は、（財）和歌山県文化財センター調査時の各調査区の土層堆積状況と矛盾しない。

過去の調査では、調査区の西半（（財）和歌山県文化財センター調査1･2･5区、海南市文化財調査研究会調査D･E･F区）を中心に弥生時代中期の竪穴住居跡、堀立柱建物が検出され、また7区で方形周溝墓とみられる遺構が検出されている（(財)和歌山県文化財センター2005『野上中南遺跡－半島振興道路奥佐々阪井線道路改良工事に伴う発掘調査報告書－』）。今回の立会調査地点のうちa～eトレンチで検出された7層上面の遺構群も、当該期の居住域に関わる遺構群であると判断できよう。

一方、過去の調査では調査区東側（3･7区東半・B区）で上層遺構として鎌倉時代の遺構が検出されている。今回の立会調査ではeトレンチ6層上面の遺構e-1、遺構e-2が当該期に帰属する可能性があろう。

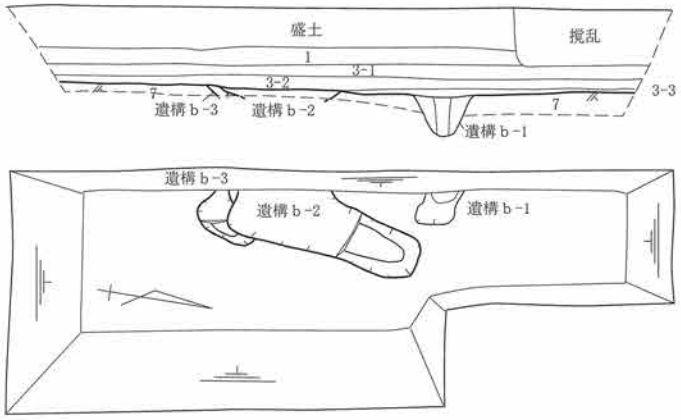
調査後の措置としては、工事掘削深度が遺構面の深度よりも大きいために記録保存の措置をとった。



1　オリーブ灰色（10Y6/2）シルト
3　暗灰黄色（2.5Y5/2）シルト　マンガン・鉄分・有機物含
7　黄褐色（2.5Y5/4）シルト　中砂含

遺構a-1　黄灰色（2.5Y4/1）シルト
遺構a-2　黄褐色（2.5Y5/3）粗砂

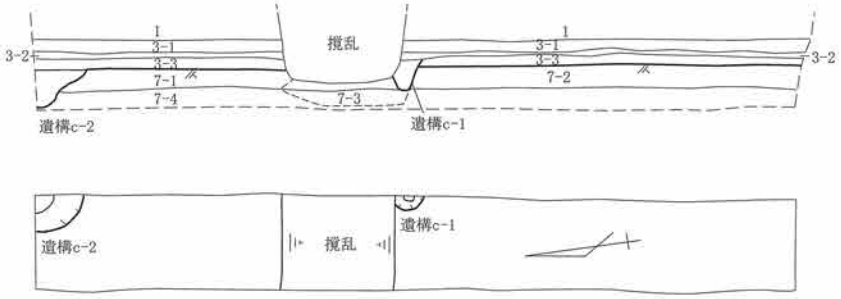
aトレンチ平面図・断面図（S＝1/80）



1　灰色（5Y6/1）中～粗砂
3-1　灰オリーブ色（5Y5/2）粗砂　土器含む
3-2　暗灰黄色（2.5Y5/2）中砂　土器含む
3-3　黄灰色（2.5Y6/1）シルト　礫含む
7　黄褐色（2.5Y5/4）シルト　中砂含む

遺構ｂ-1　黒褐色（10YR2/2）粘質土
遺構ｂ-2　暗灰黄色（2.5Y5/2）粗砂
遺構ｂ-3　黒褐色（10YR2/2）粘土

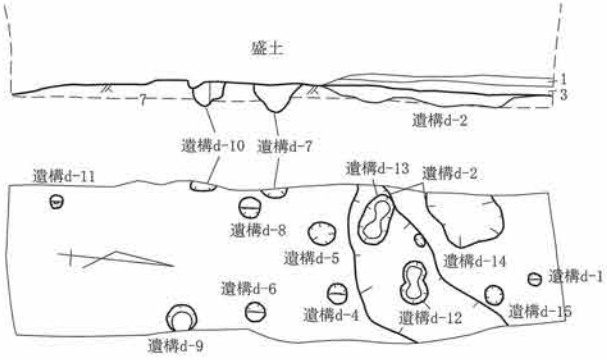
bトレンチ平面図・断面図（S＝1/80）



1　灰色（10Y6/1）シルト　粗砂含む
3-1　灰オリーブ色（5Y5/2）シルト
3-2　にぶい黄色（2.5Y6/4）シルト
3-3　暗灰黄色（2.5Y5/2）粗砂
7-1　黄褐色（2.5Y5/4）シルト
7-2　灰オリーブ色（7.5Y5/2）中砂
7-3　灰黄褐色（10YR4/2）粗砂
7-4　灰黄褐色（10YR4/2）砂礫

遺構c-1　黒褐色（10YR2/2）粘質土
遺構c-2　暗灰黄色（2.5Y5/2）粗砂

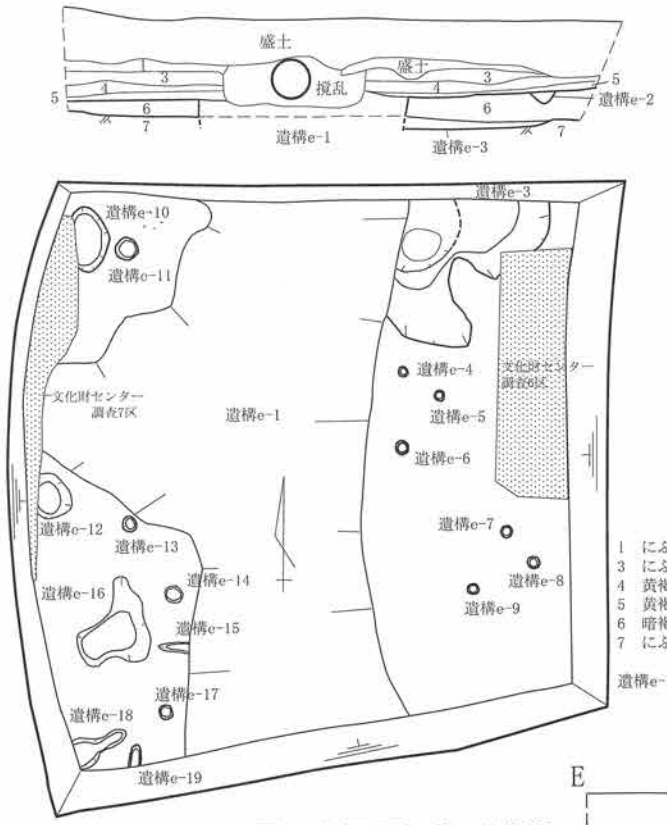
cトレンチ平面図・断面図（S＝1/80）



1　灰色（10Y6/1）シルト
3　灰黄褐色（10YR5/2）粗砂
7　黄褐色（10Y5/6）粘土

遺構d-1～15　10YR4/2灰黄褐色シルト

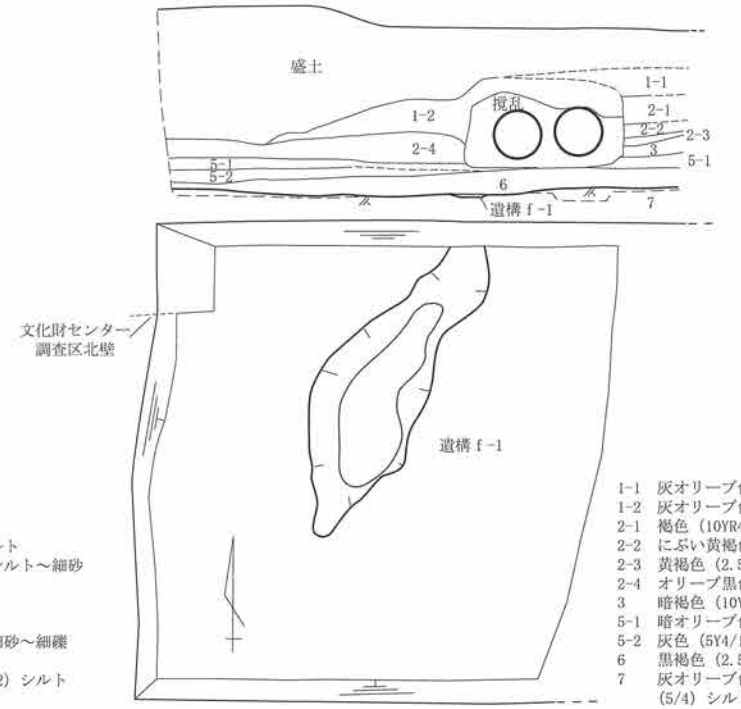
dトレンチ平面図・断面図（S＝1/80）



1　にぶい黄色（2.5Y6/3）シルト
3　にぶい黄褐色（10YR4/3）シルト～細砂
4　黄褐色（2.5Y5/3）シルト
5　黄褐色（2.5Y5/6）シルト
6　暗褐色（10YR3/4）シルト
7　にぶい黄褐色（10YR5/3）細砂～細礫

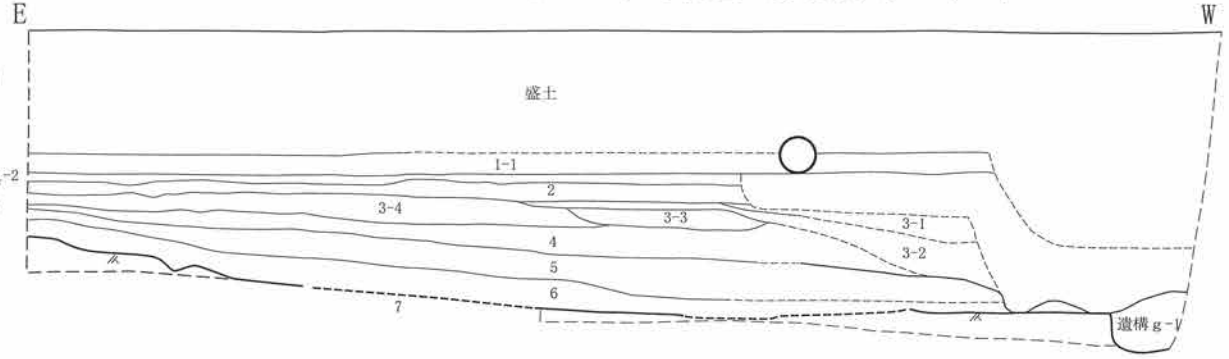
遺構e-1　灰オリーブ色（5Y4/2）シルト

e トレンチ平面図・断面図（S＝1/80）



1-1　灰オリーブ色（5Y5/2）シルト
1-2　灰オリーブ色（7.5Y4/2）シルト～細砂
2-1　褐色（10YR4/4）細砂～中砂
2-2　にぶい黄褐色（10YR4/3）細砂～中砂
2-3　黄褐色（2.5Y5/4）シルト
2-4　オリーブ黒色（5Y3/2）シルト～細砂
3　暗褐色（10YR3/4）中砂　土器ふくむ
5-1　暗オリーブ色（5Y4/3）シルト
5-2　灰色（5Y4/1）シルト～細砂
6　黒褐色（2.5Y3/1）シルト
7　灰オリーブ色（5Y4/2）～オリーブ色（5/4）シルト～細砂

f トレンチ平面図・断面図（S＝1/80）



1-1　灰黄褐色（10YR4/2）シルト
1-2　明黄褐色（2.5Y6/6）シルト
2　暗灰黄色（2.5Y5/2）シルト
3-1　灰黄褐色（10YR4/2）シルト
3-2　褐色（10YR4/4）～にぶい黄褐色（10YR4/3）シルト～細砂　焼土含む
3-3　暗褐色（10YR3/3）シルト～細砂
3-4　にぶい黄褐色（10YR4/3）シルト～細砂
4　灰黄褐色（10YR4/2）シルト～細砂
5　黄褐色（10YR5/6）シルト
6　黒褐色（2.5Y3/2）シルト～細砂
7　灰オリーブ色（5Y5/3）シルト～細　礫

遺構g-1　黒褐色（10YR2/3）シルト

g トレンチ平面図・断面図（S＝1/80）

3. 下佐々Ⅰ遺跡

（調査件名　03-287）

種　別　立会調査

所在地　野上町下佐々字野尻地内

＜調査の経緯＞

個人住宅建設に伴う浄化槽埋設工事計画部分の立会調査を実施した。

＜調査の成果＞

調査は、幅 1.8m×長 3.2mの調査区を設定し、重機及び人力掘削により実施した。

土層は、砕石、灰色シルト（現代耕作土）の下層に、現 GL-60 ㎝で黄褐色シルトが確認され、自然堆積の地山と考えられる。地山面において遺構精査を実施した結果、土坑を 1 基検出した。

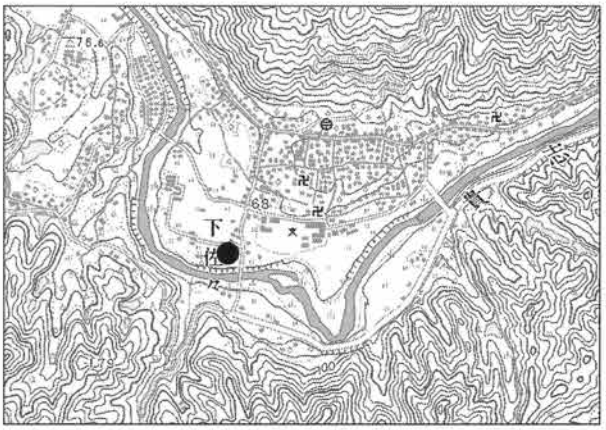
土坑は調査区の南東角で検出され、調査区内における規模は長さ約 1.6m、深度約 0.48m である。土坑の埋土上層からは瓦器 2 点が検出された。

出土した瓦器のうち 1 点はほぼ完存であり、特徴から 14 世紀代に所属する可能性が高い。

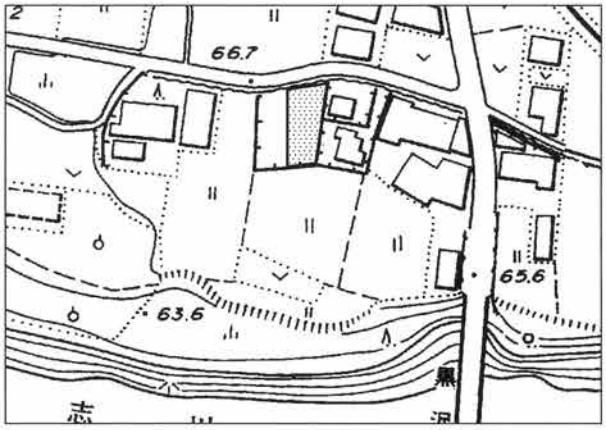
＜調査の所見＞

今回の調査で確認した遺構は土坑 1 基のみであるが、出土遺物より中世前半に属するものとみられる。したがって付近には中世段階の遺構が展開する可能性が高い。

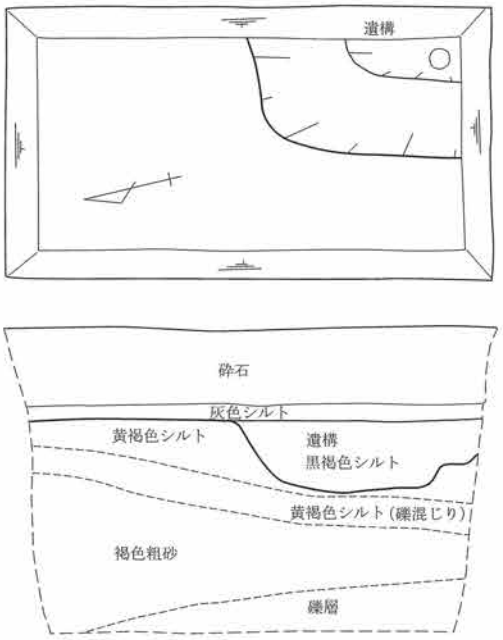
調査後の措置としては、浄化槽埋設工事計画部分は工事予定掘削深度が遺構面の深度よりも大きく、現地保存が困難であるために記録保存の措置をとった。



遺跡位置図



調査位置図

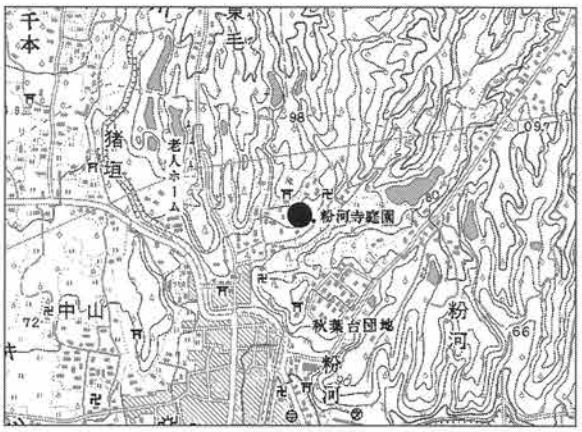


調査区平面図・土層断面図（S＝1/40）

4. 粉河寺遺跡

種別　　確認調査

所在地　粉河町粉河地内



遺跡位置図

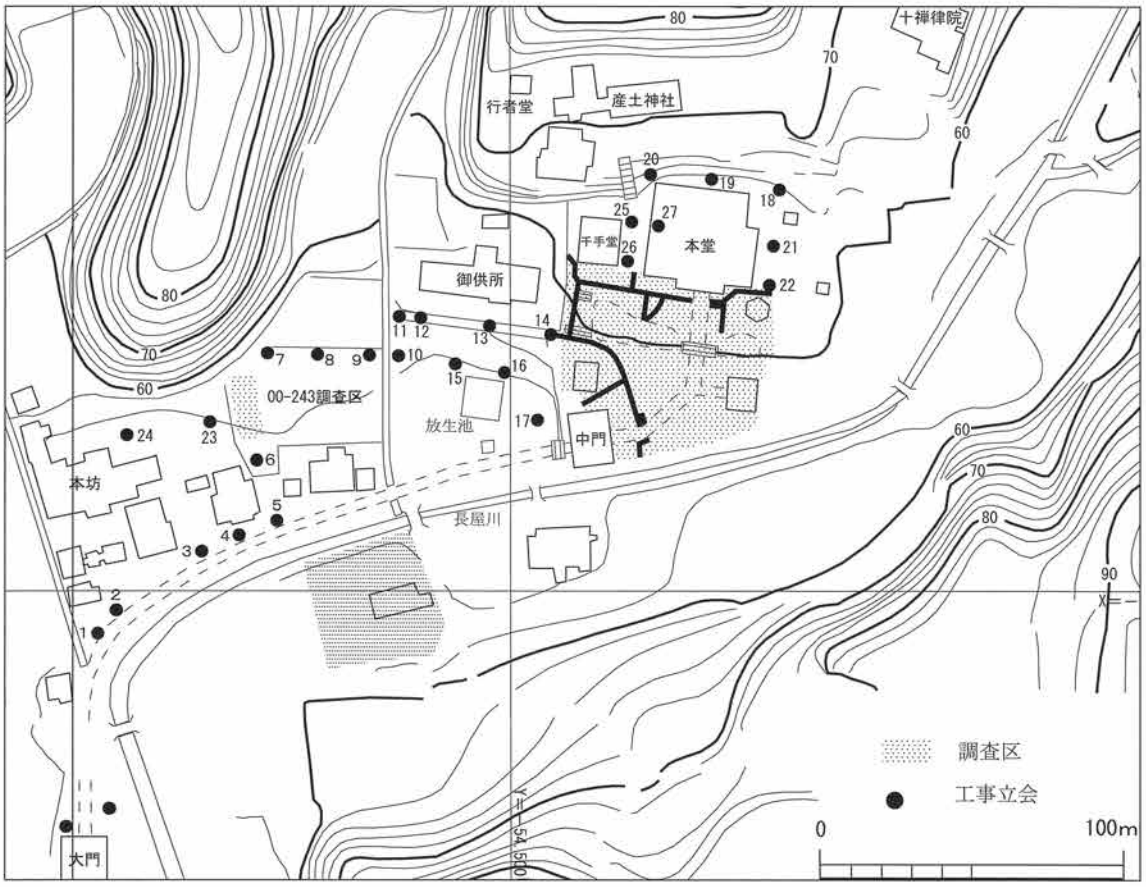
＜調査の経緯＞　擁壁工事に伴い、立会調査を実施したところ、遺構が確認されたため、同敷地内について粉河寺遺跡の範囲確認を目的として確認調査を実施した。

＜調査の成果＞　本調査地は、粉河寺本堂と長屋川を挟んだ対岸に位置する。粉河寺大門修理に伴う元禄 11 年記銘の絵図によると、本調査地は「御鷹師屋敷」と記載されている区画に該当する。

なお、粉河寺遺跡では防災工事や名勝粉河寺庭園の現状変更に伴う発掘調査を過去に実施している。それらの調査では、正徳 3（1713）年の火災に伴う焼土層やそれに後出する暗渠排水や焼土層下層から旧中門の可能性のある基壇や礎石列などが検出されている。

調査方法　調査区は 5 つのトレンチ、計 56.8 ㎡設定した。調査は現地表から重機により遺構面付近まで慎重に掘削し、遺構検出やサブトレンチは人力掘削により実施した。

基本層序　1 層は現代盛土層とみられる表土で、2 層は近代以降の堆積とみられる。3 層は遺構面ベース土で、混和物が多く、盛土層と考えられる。なお、3 層は 3 トレンチでは 2 つに細分される。4 層は 1・2 トレンチのみで検出された、中～粗砂を主体とする水成の自



調査位置図

然堆積層である。最大で5層に細分され、このうち4－1～3では土器細片を少量包含するのが確認された。4－4・5層は出土遺物が確認されないことから、地山の可能性が残る。5層は1・5トレンチで検出した砂層で、最大で10層に細分される。4層同様、鳥屋川に伴う水成堆積層と考えられる。6層も4層同様粗砂を主体とし、黄色系の堆積層で、鳥屋川による水成堆積層と考えられ、出土遺物もなく地山と位置付けられる。7・8・9層は、4トレンチでのみ検出した層で、1層（表土）ないしは3層直下で検出された。堆積理由は不明だが、9層上面には遺構が検出されることから、盛土の可能性がある。10層も4トレンチのみで検出した層だが、地山の6層以前の自然堆積層である。

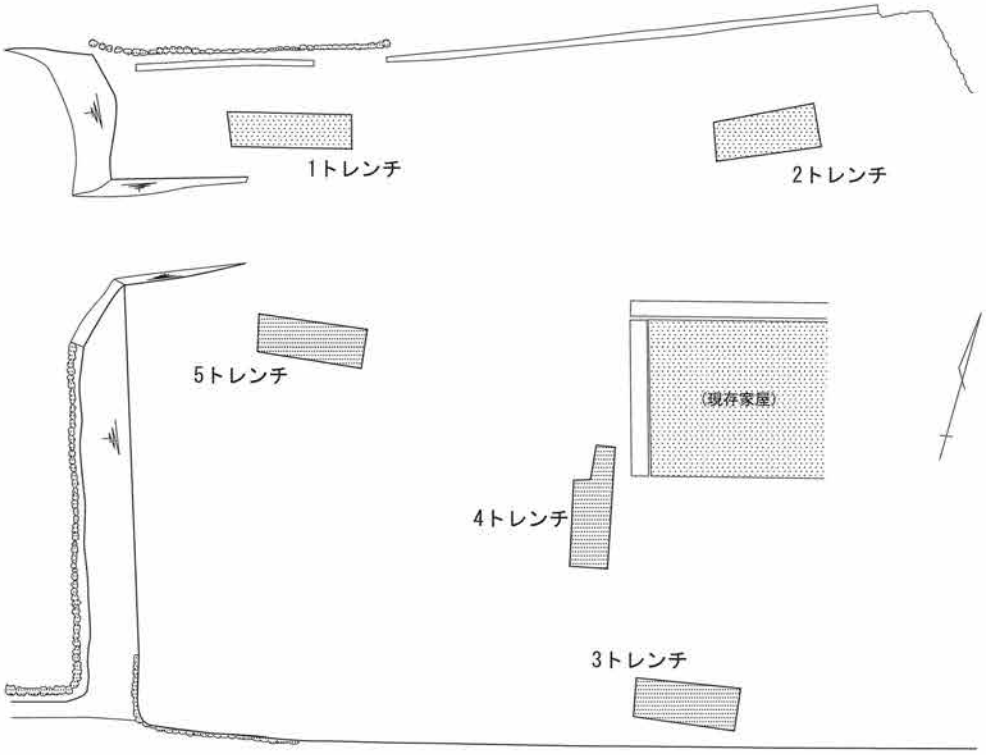
遺構面としては、3層上面、3（3－1層）下面にあたる4・5ないしは7層上面、6層上面の3つの遺構検出面を認識した。

1トレンチ　調査区北西側に配置したトレンチで、3層上面では遺構1～3を検出した。遺構1は直径70㎝以上を測る土坑である。土坑内には焼土片を含む粘土塊が認められた。遺構2は、4－1層上面検出の遺構2石列部分が溝状に落ち込んでいた部分の埋め土とみられる。4－1層上面では、遺構2石列のほか、土坑1基を検出した。

トレンチ端部に設定したサブトレンチで4－2層以下の状況を確認したが、現地表から1.5m程度で地山を確認したにとどまり、遺構は認められなかった。

2トレンチ　調査区北東に配置したトレンチで、トレンチ西半では3層と4－1層の上面が同レベルで検出されたことから、3層は一部削平されていると予想される。3層上面で遺構4～6を検出した。遺構4は、南北方向に斜行する溝である。遺構5は、幅40cm、長60㎝以上を測る隅丸長方形プランの土坑で、底面には結晶片岩の板石が設置されていた。

トレンチ西端のサブトレンチで、下層の状況を確認したところ、現地表から約2.0mで



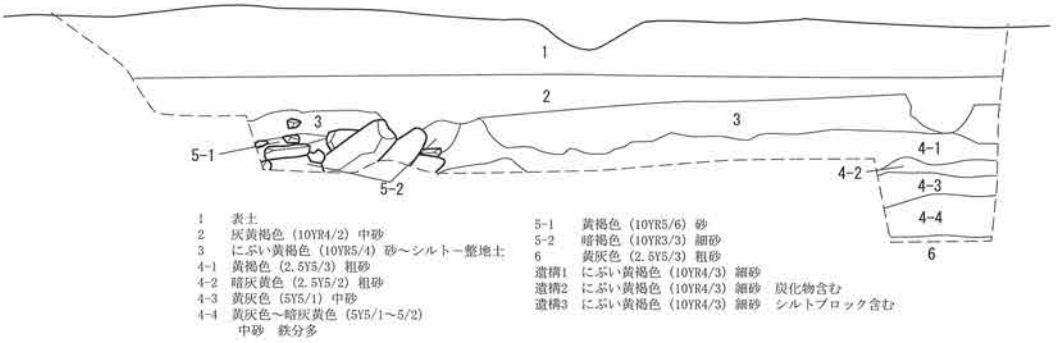
調査位置図　S＝1/4000

地山を検出したほか、遺構は発見されなかった。

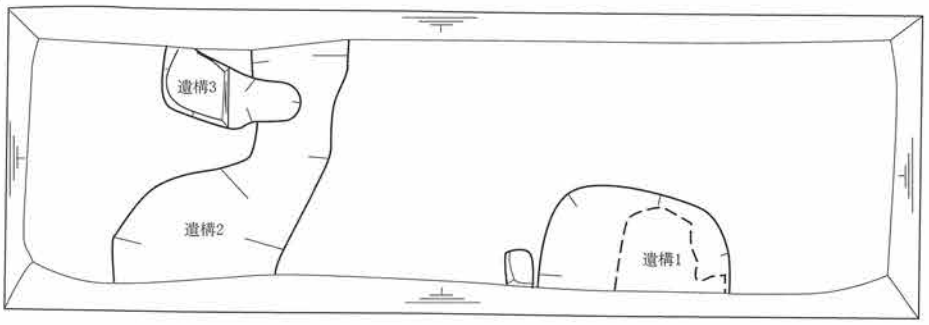
3トレンチ　2層直下3－1層上面で遺構14・15を、3－2層直下で遺構16・17・19・20を検出した。遺構14は不整形な土坑状の遺構で、トレンチ北壁付近では結晶片岩を組み合わせていることが確認されるが、機能は不明である。

3－2層直下で検出した遺構は、4層が不在のため地山上で検出された遺構17・20と、遺構20と重複し、それに先行する遺構16・19とが認められる。3－2層直下で検出された遺構20は、不整形な平面プランを呈す大規模土坑で、埋土は下半に焼土混の炭層（j層）をはじめとする土壌が薄く堆積するのに対し、上半は瓦と焼土が厚く堆積することが確認される。土坑の用途等は不明であるが、埋土の堆積状況から下半は経年により徐々に埋没した状況、上半は火事場等整理に伴い人為的に一気に埋め戻された状況が復元される。

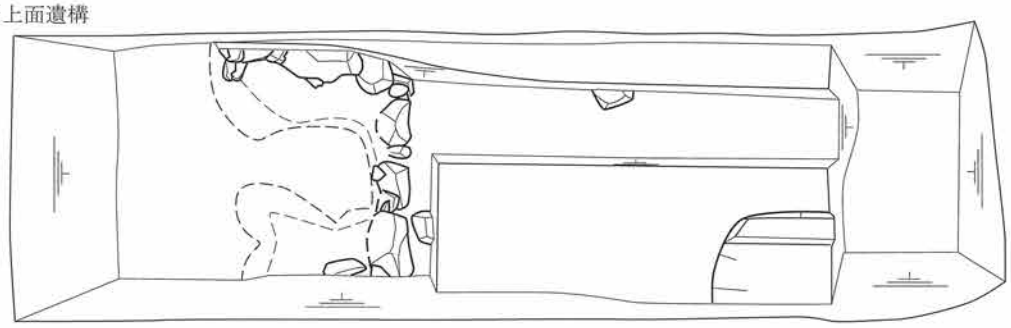
4トレンチ　調査区中央に設定したトレンチで、トレンチの大半で焼土層を主体とする7層が検出され、その上面で南北方向の溝である遺構8を検出し、その下面、地山上面では北拡張区北端で土坑3基を検出した。7層の焼土層は、3トレンチ遺構20a・b層で確認された火事場整理とみられる焼土等と対応する可能性が考えられる。3層はトレンチ東端での検出にとどまるため、7層上面遺構が他トレンチの遺構面との対応関係は不明である。



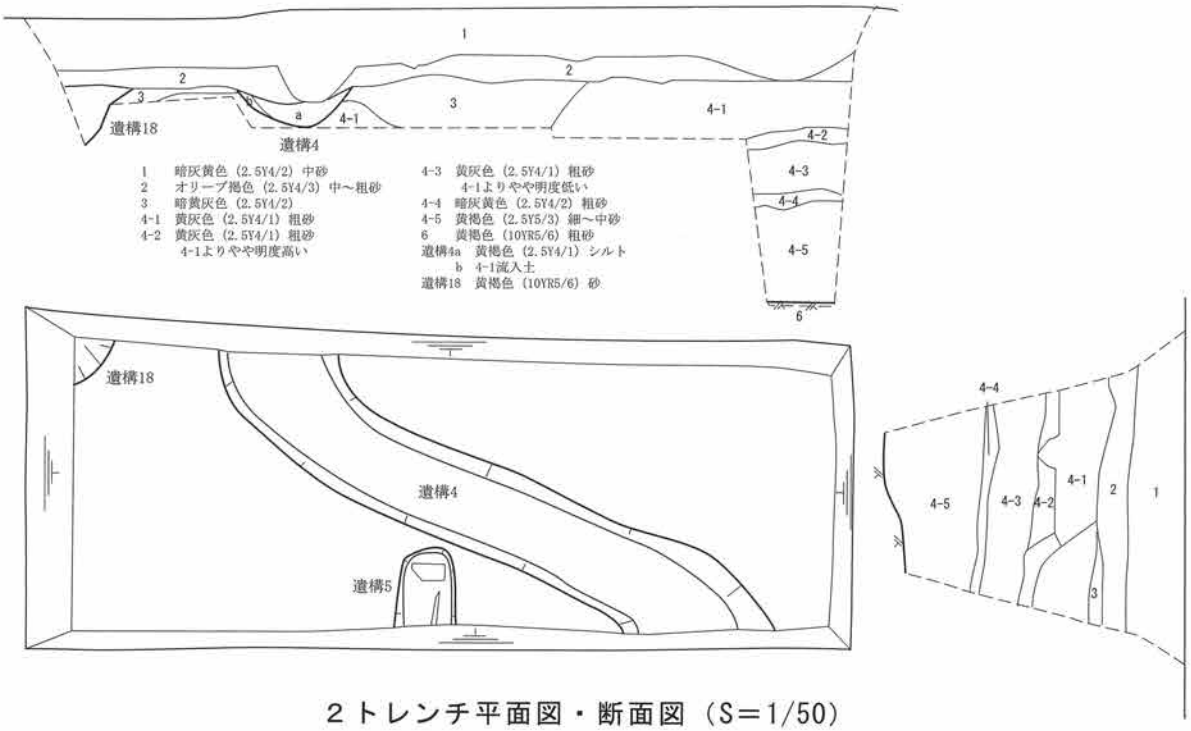
3層上面遺構



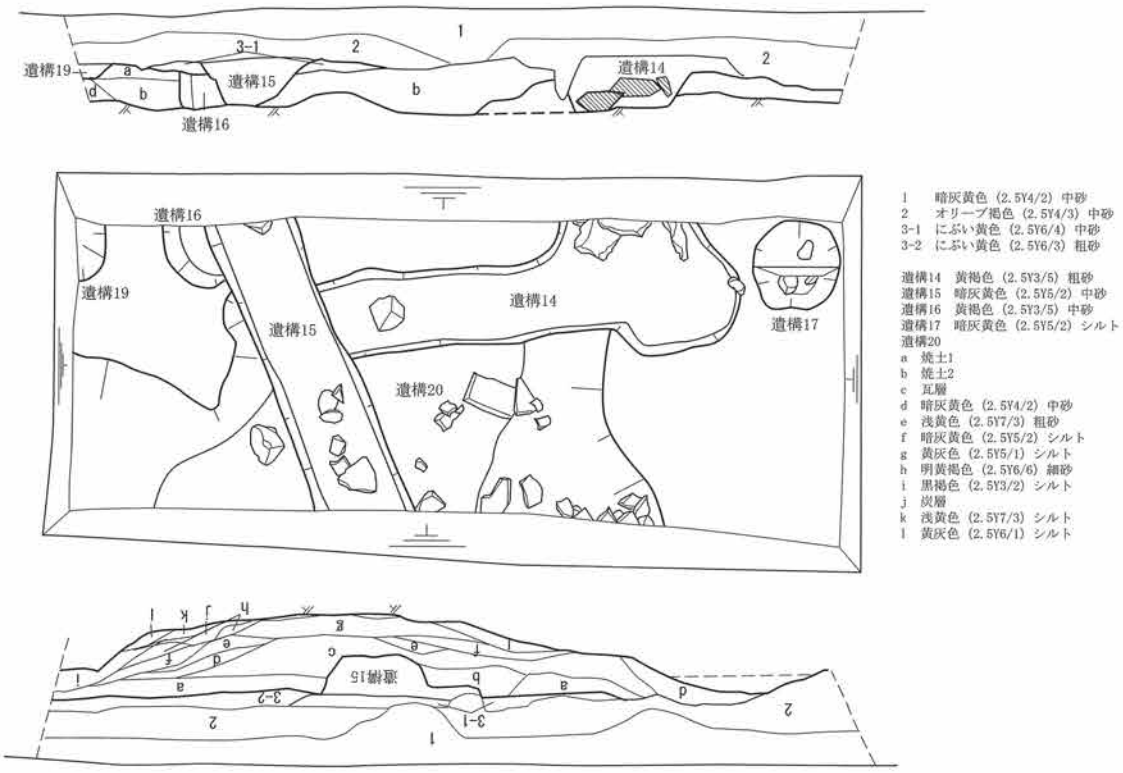
4-2層上面遺構



1トレンチ平面図・断面図（S＝1/50）



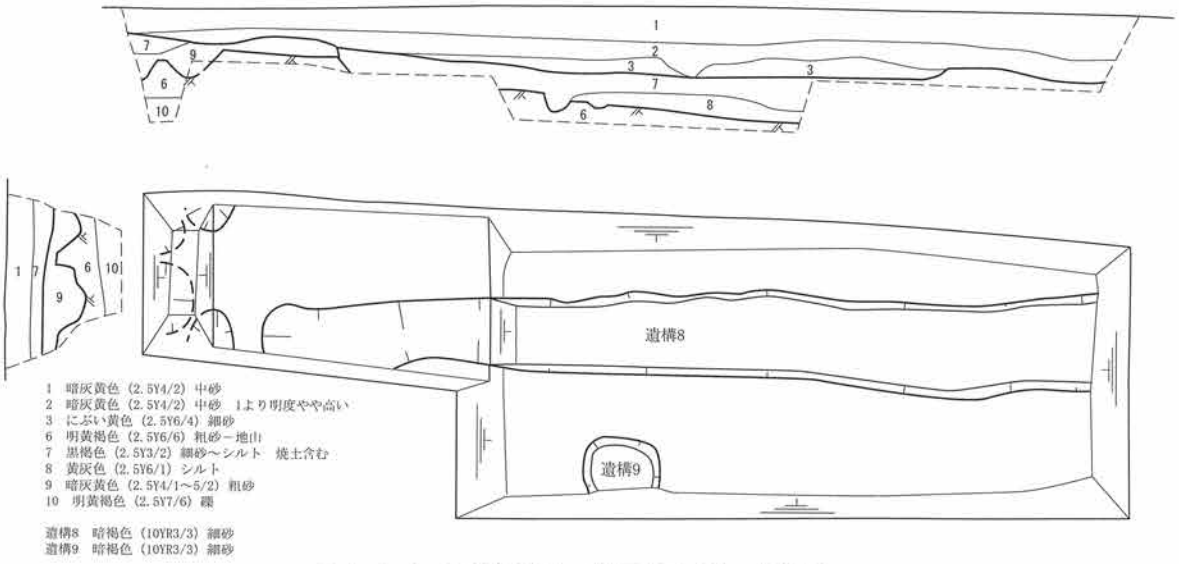
２トレンチ平面図・断面図（S＝1/50）



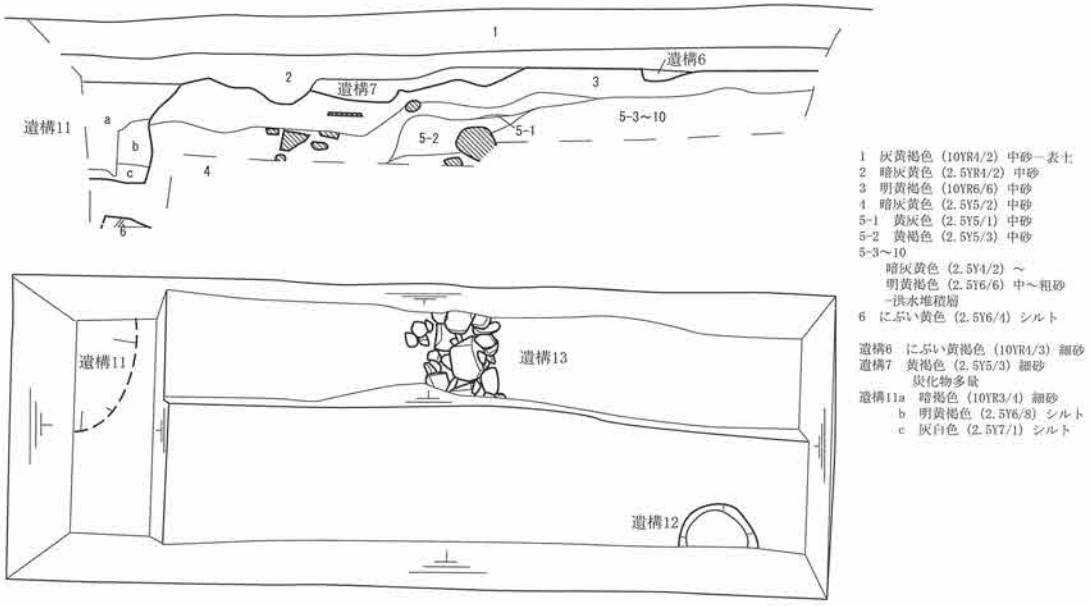
３トレンチ平面図・断面図（S＝1/50）

5トレンチ　1トレンチ南側に配置したトレンチで、3層上面と5－3層上面で遺構を検出した。3層上面では埋桶状の遺構11が認められた。5－3層上面では石組の遺構13を検出し、これは、1トレンチ遺構2の石列の延長上に位置することから、同一遺構の可能性がある。これら遺構以西は、4層堆積が厚く土地利用状況が異なると考えられることから、過去には敷地外であった可能性が考えられる。

＜調査の所見＞　いずれのトレンチでも遺構の展開が確認され、1・5トレンチの調査成果から、当該地の敷地は過去にはより狭量であったことが推定された。出土遺物の検討が不充分であるが、本調査で検出した焼土層は過去の調査で検出された正徳3年の火災との関連性が想起されるなどの調査成果を得た。



4トレンチ平面図・断面図（S＝1/50）



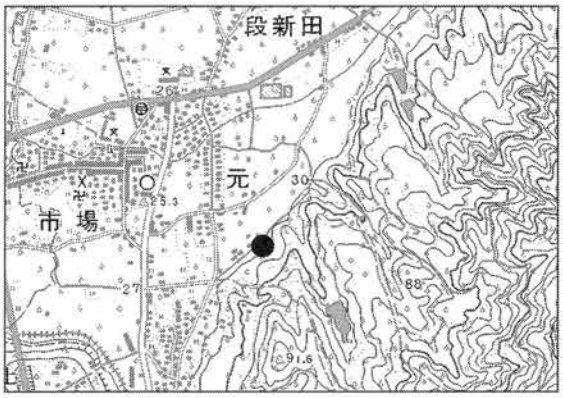
5トレンチ平面図・断面図（S＝1/50）

5. 元遺跡

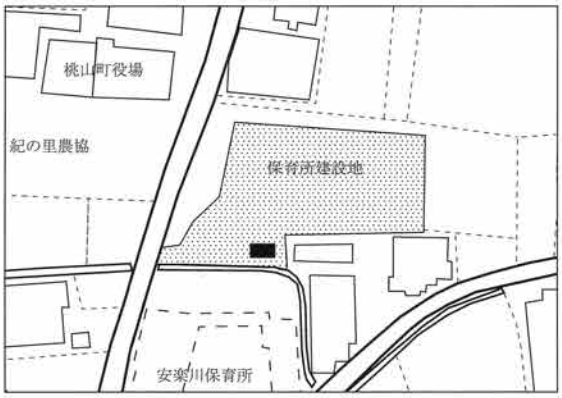
（調査件名：04－36）

種　別　確認調査

所在地　紀の川市桃山町元地内



遺跡位置図



調査位置図

＜調査の経緯＞　新桃山保育所（仮称）新築工事に先立ち、深掘削を行う浄化槽工事計画部分で確認調査を実施した。

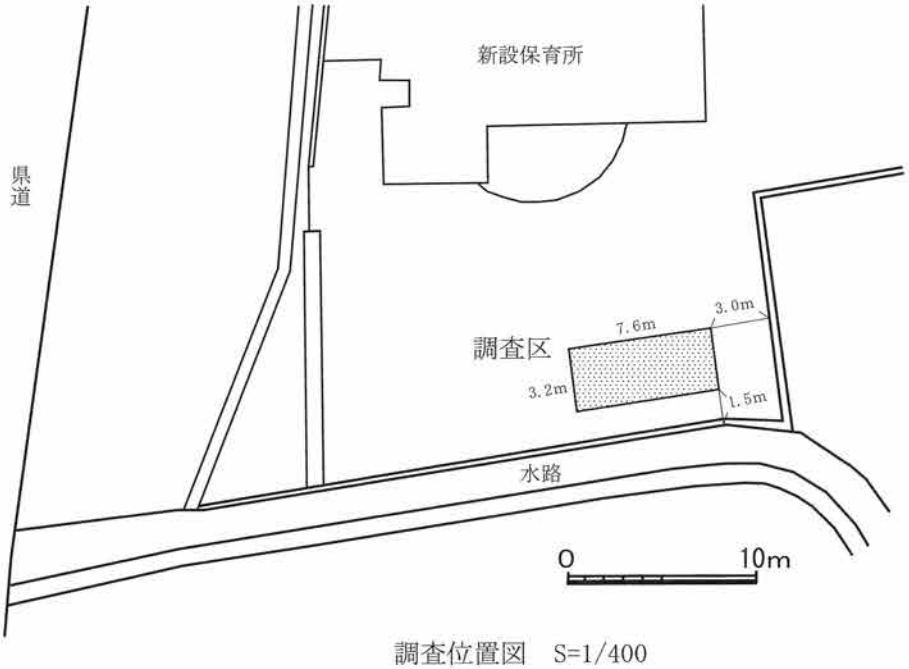
＜調査の成果＞　調査地は南に丘陵端部が迫っている平坦部に位置し、現況は造成により平坦面を形成する。

調査方法　調査は主に重機によって掘削し、遺物包含層の一部を人力で掘削した。

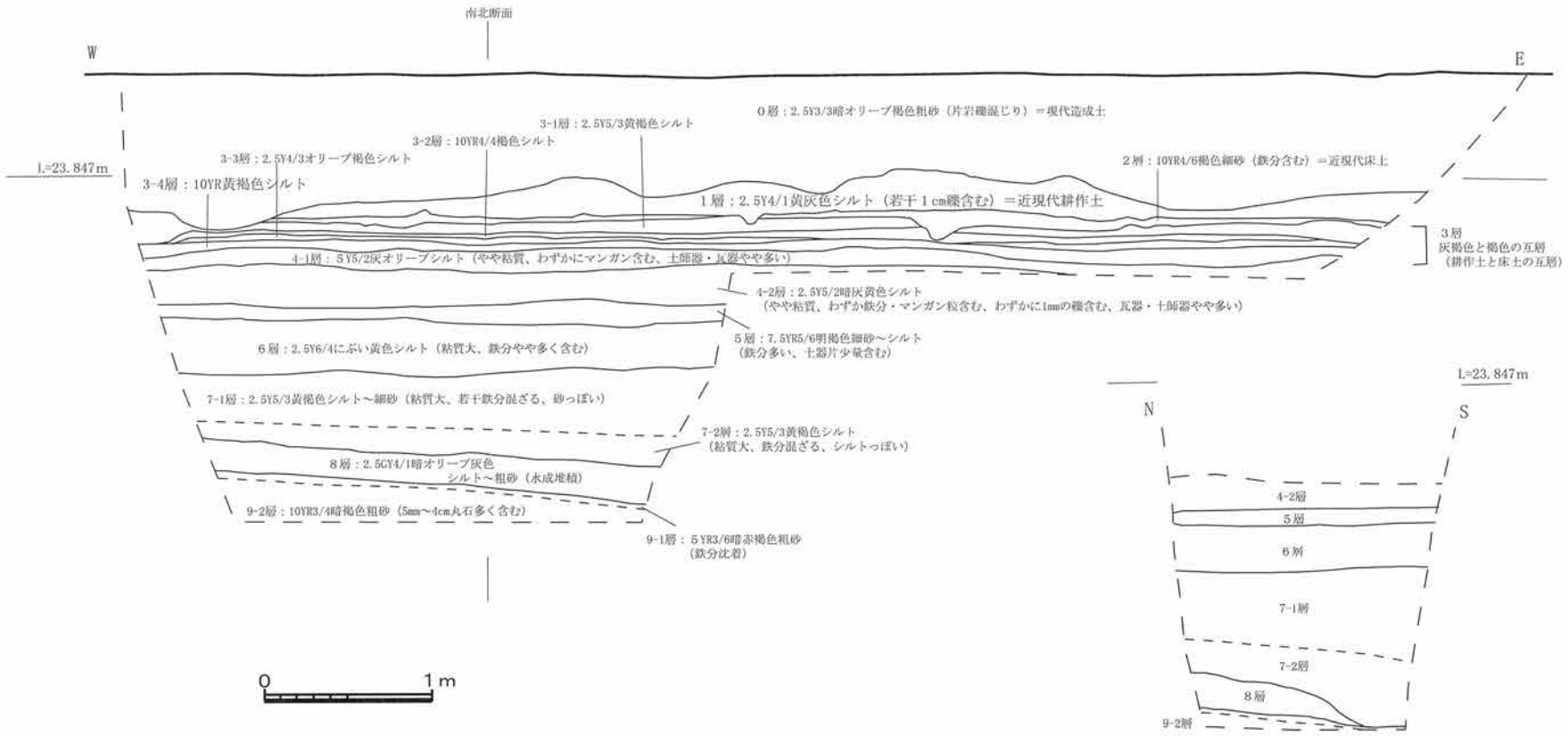
層序　現代造成土（0 層）、近現代耕作土（1 層）、同床土（2 層）、近代以前の旧耕作土と床土（3 層）、中世遺物包含層（4・5 層）、無遺物層（6・7 層）、おなじく無遺物層で水成堆積層である（8・9 層）が確認された。

出土遺物は、3 層から土師器片、4 層から土師器、瓦器、陶器片、5 層から土師器皿片などが認められるが、いずれも細片である。

＜調査の所見＞　4・5 層を中心に遺物細片の出土が認められたものの、下層で遺構の検出がされないことも含めると、1 次的な遺物包含層でなく、2 次的な遺物包含層の可能性が高い。また、遺構の展開も確認されないことから、当該地における工事での埋蔵文化財への影響はほとんどないと考えられることから、通知者等には慎重工事を指示した。



調査位置図　S=1/400


南北断面
W
E
0層：2.5Y3/3暗オリーブ褐色粗砂（片岩礫混じり）＝現代造成土
3-1層：2.5Y5/3黄褐色シルト
3-2層：10YR4/4褐色シルト
3-3層：2.5Y4/3オリーブ褐色シルト
3-4層：10YR黄褐色シルト
L=23.847m
2層：10YR4/6褐色細砂（鉄分含む）＝近現代床土
1層：2.5Y4/1黄灰色シルト（若干1cm礫含む）＝近現代耕作土
3層
灰褐色と褐色の互層
（耕作土と床土の互層）
4-1層：5Y5/2灰オリーブシルト（やや粘質、わずかにマンガン含む、土師器・瓦器やや多い）
4-2層：2.5Y5/2暗灰黄色シルト
（やや粘質、わずか鉄分・マンガン粒含む、わずかに1mmの礫含む、瓦器・土師器やや多い）
5層：7.5YR5/6明褐色細砂～シルト
（鉄分多い、土器片少量含む）
6層：2.5Y6/4にぶい黄色シルト（粘質大、鉄分やや多く含む）
7-1層：2.5Y5/3黄褐色シルト～細砂（粘質大、若干鉄分混ざる、砂っぽい）
7-2層：2.5Y5/3黄褐色シルト
（粘質大、鉄分混ざる、シルトっぽい）
8層：2.5GY4/1暗オリーブ灰色
シルト～粗砂（水成堆積）
9-2層：10YR3/4暗褐色粗砂（5mm～4cm丸石多く含む）
9-1層：5YR3/6暗赤褐色粗砂
（鉄分沈着）
0
1m
L=23.847m
N
S
4-2層
5層
6層
7-1層
7-2層
8層
9-2層

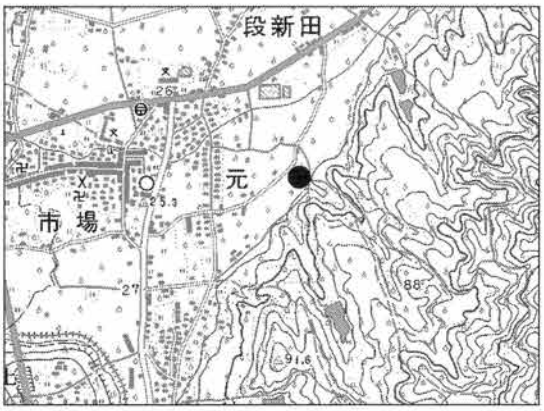
土層断面図　S＝1/40

5. 元遺跡

（調査件名　03-223）

種　別　立会調査

所在地　紀の川市桃山町元地内



遺跡位置図

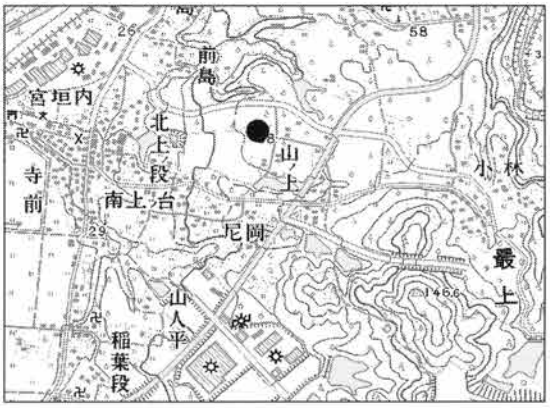
調査位置図

6. 上尾遺跡

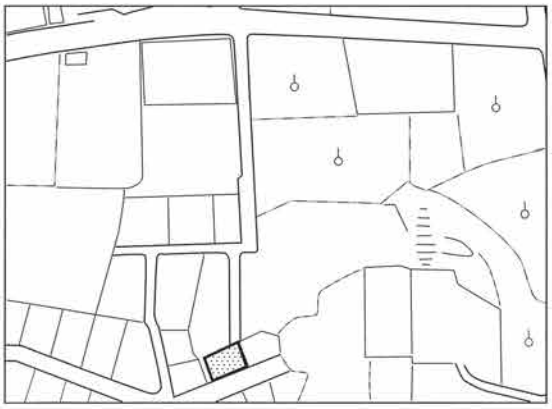
（調査件名　04-21）

種　別　立会調査

所在地　紀の川市桃山町調月



遺跡位置図



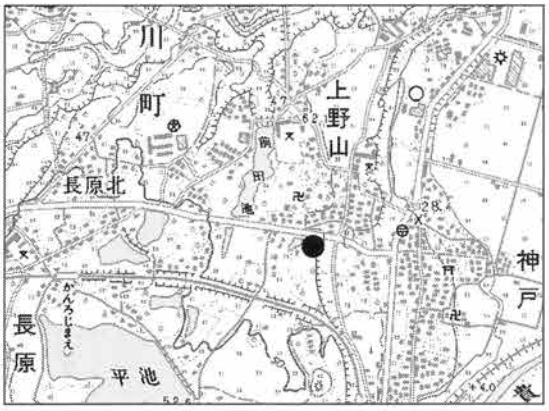
調査位置図

7. 権田池古墳

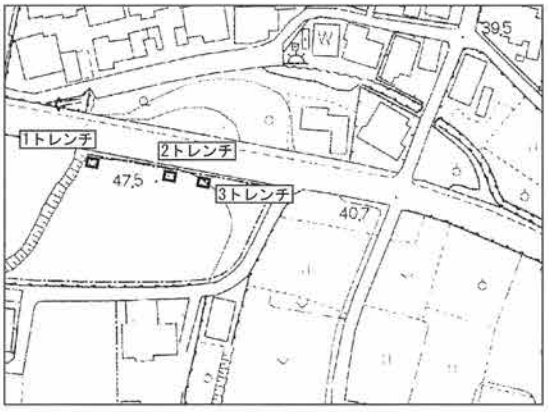
（調査件名　03-38）

種　別　立会調査

所在地　紀の川市貴志川町神戸地内



遺跡位置図



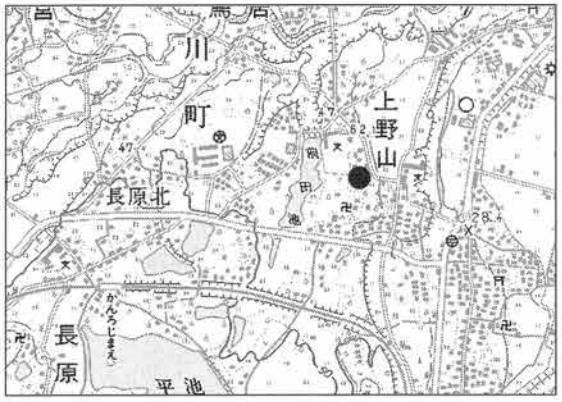
調査位置図

8. 貴志城跡

（調査件名　04-54）

種　別　立会調査

所在地　紀の川市貴志川町上野山地内



遺跡位置図

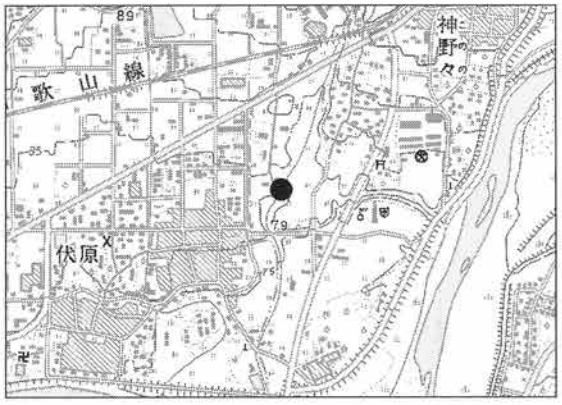
調査位置図

9. 神野々Ⅱ遺跡

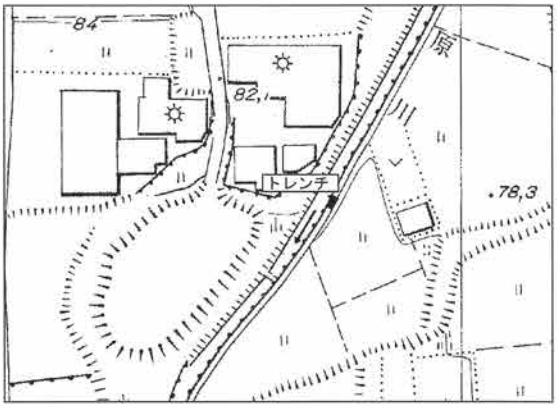
（調査件名　03-21）

種　別　立会調査

所在地　橋本市神野々地内



遺跡位置図



調査位置図

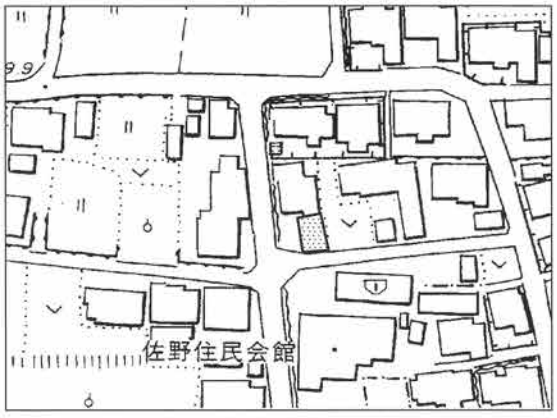
10. 佐野廃寺

（調査件名　04-28）

種　別　立会調査

所在地　かつらぎ町佐野地内

遺跡位置図



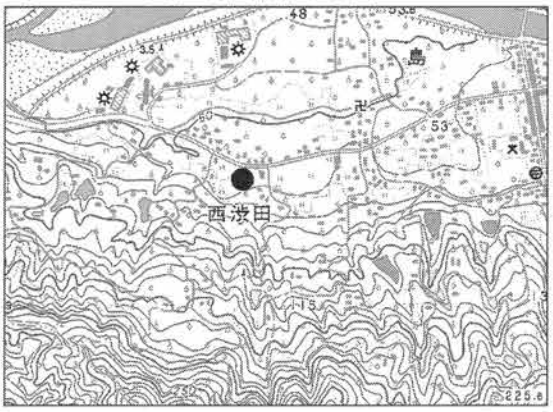
調査位置図

11. 西渋田遺跡

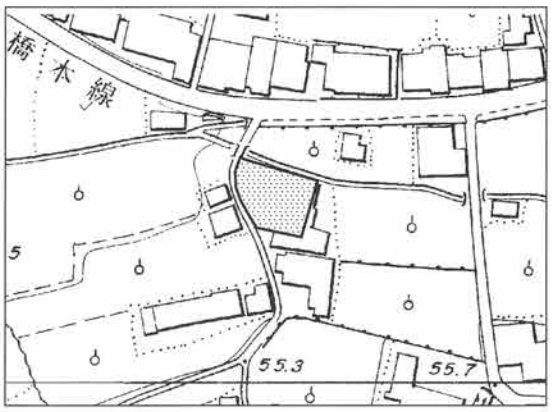
（調査件名：03-212）

種　別　立会調査

所在地　かつらぎ町西渋田地内



遺跡位置図



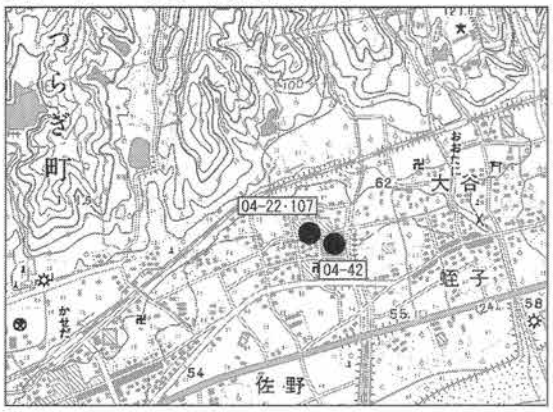
調査位置図

12. 佐野遺跡

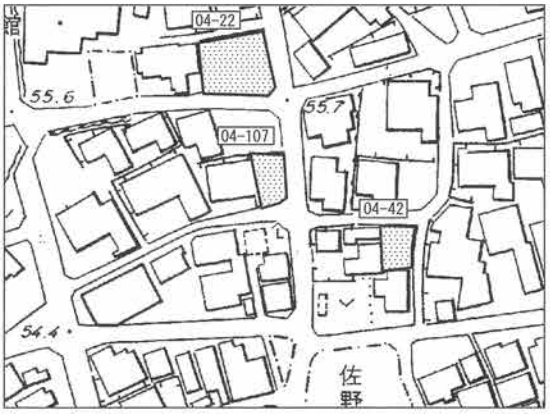
（調査件名：04-22　04-42　04-107）

種　別　立会調査

所在地　かつらぎ町佐野地内



遺跡位置図



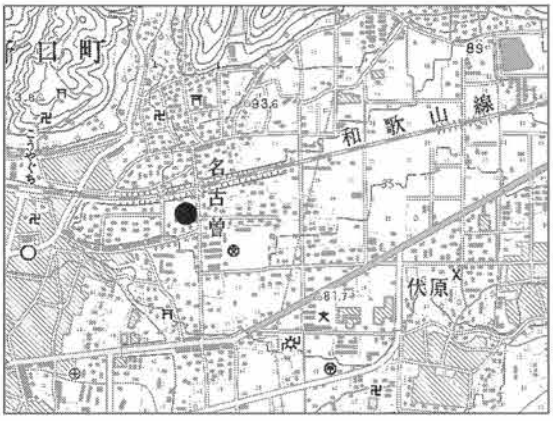
調査位置図

13. 名古曽Ⅰ遺跡

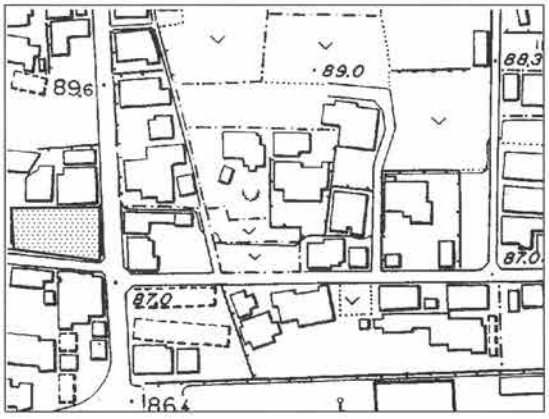
（調査件名：04-10）

種　別　立会調査

所在地　橋本市名古曽地内



遺跡位置図



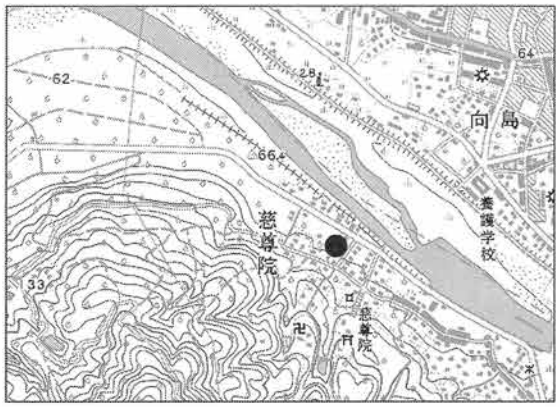
調査位置図

14. 慈尊院Ⅱ遺跡

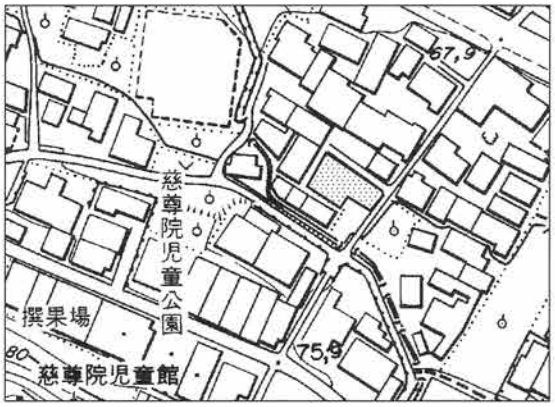
（調査件名：04-232）

種　別　立会調査

所在地　九度山町慈尊院地内



遺跡位置図



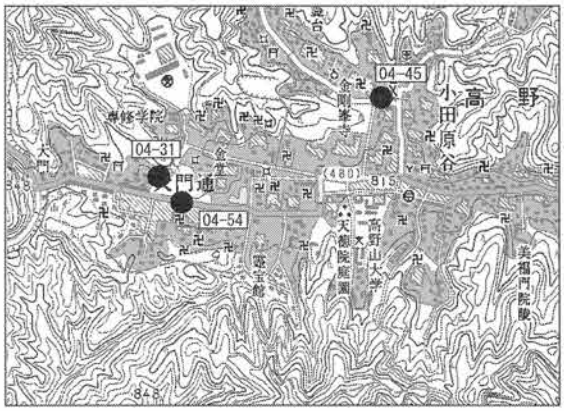
調査位置図

15. 金剛峯寺遺跡

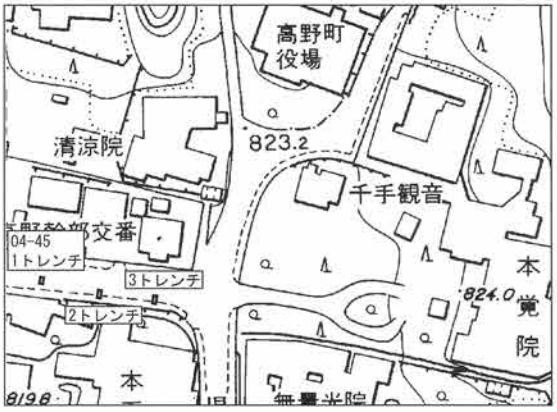
（調査件名：04-31・45・54）

種　別　立会調査

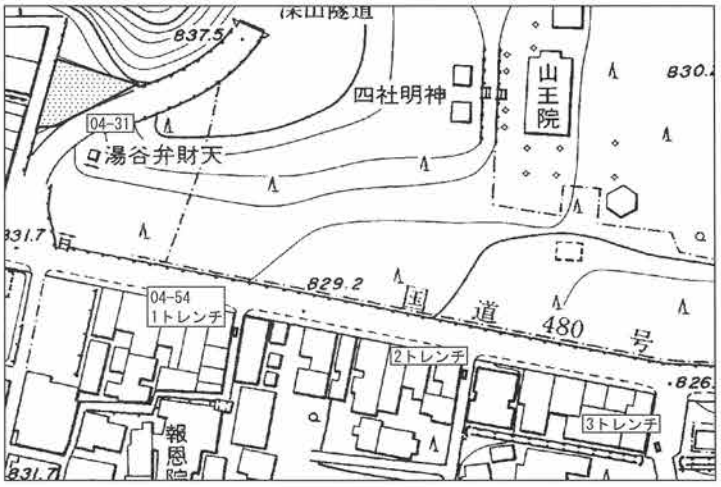
所在地　高野町高野山他地内



遺跡位置図



調査位置図



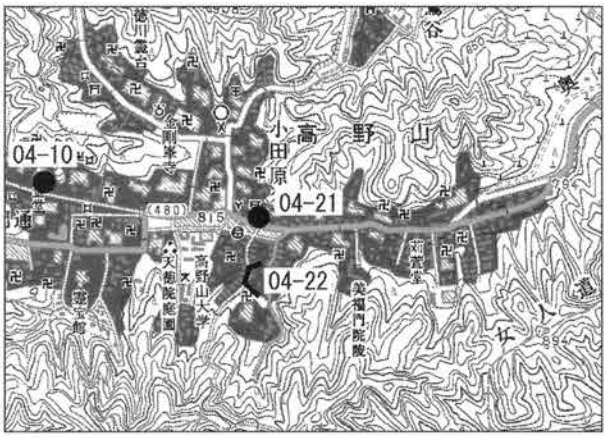
調査位置図（04-31・54）

15. 金剛峰寺遺跡

（調査件名　04-10・20・21・22）

種　別　確認調査

所在地　高野町高野山地内



遺跡位置図

■04－10 の調査成果

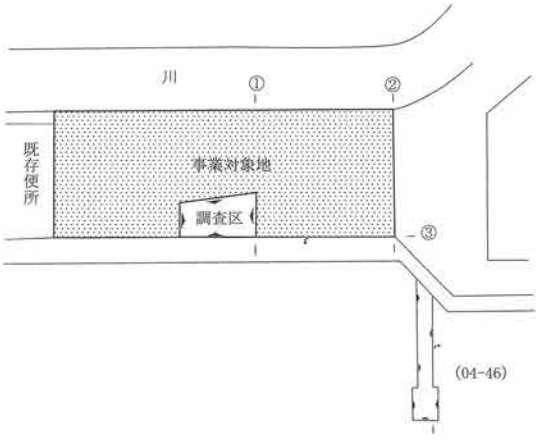
＜調査の経緯＞　金剛峯寺大塔壇上伽藍北側の道路を挟んだ位置に町管理の公衆便所が所在し、その改築計画があったため、確認調査を実施した。

＜調査の成果＞　既存便所東側隣接の事業対象地のうち一部を先行して調査区として調査した。工事の施工に際しては、後述のように河川堆積状況確認のため事業対象地東壁土層については工事立会を行い、断面図の作図を行った。その際に、04－46 工事立会についても実施した。04－46 箇所は、昭和初期の水道管埋設工事により大部分が削平を受けていたことが判明しており、舗装下で地山を検出している。

調査位置図（04-10）

調査方法　調査区部分は重機により掘削し、4 層の一部を人力により掘削を行った。その他部分は、重機掘削ののち壁面清掃により同堆積状況を確認した。

基本層序　1 層は近現代の盛土、2 層は地山上に堆積する土壌で、西側には確認されない。3 層はシルトないし砂を主体とするグライ化土壌で、水成による自然堆積層とみられる。4 層は砂礫ないし岩盤の地山と考えられる層である。

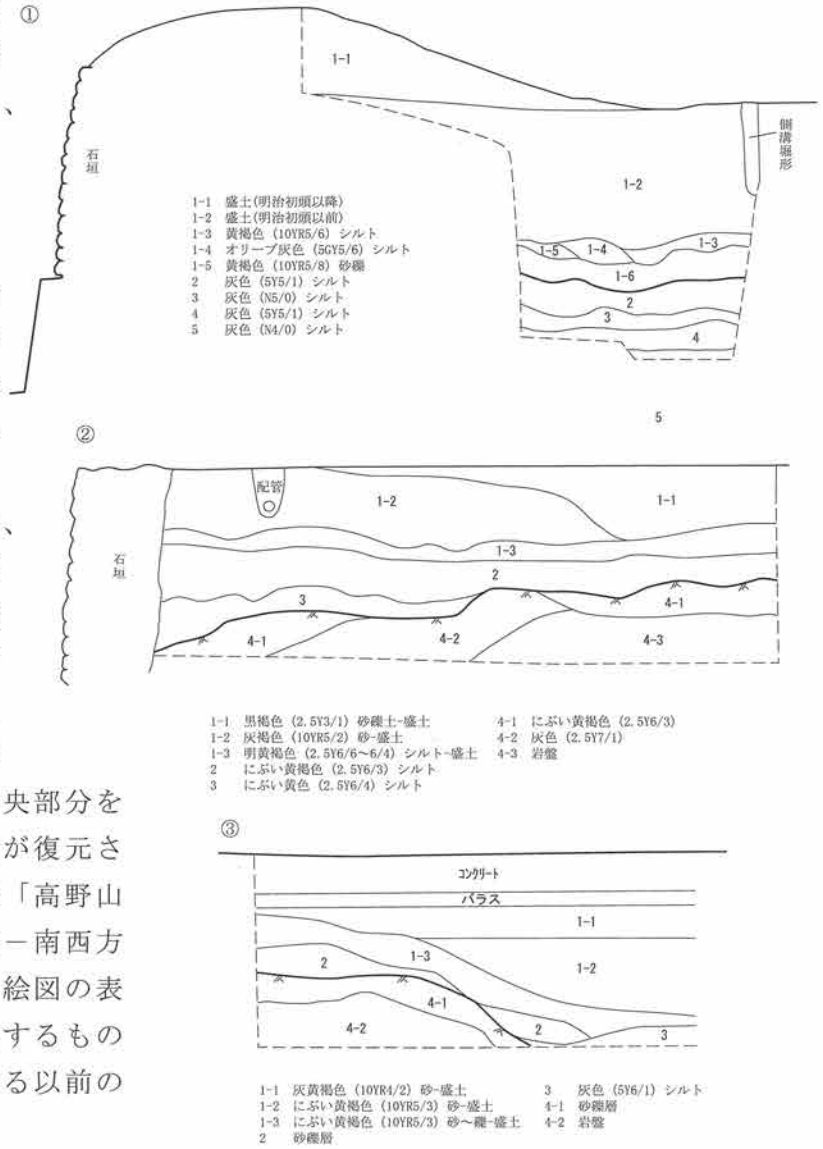


金剛峯寺遺跡（04-10）調査区位置図

調査区東壁にあたる①断面では、4 層の地山は確認されず、現地表 1.2m 下から水成堆積層である 2 層を確認したにとどまり、当該箇所は河川中に位置することとなる。なお、1－2 上面の樹木が樹齢 120 年であることから、1－1 はそれ以後の、1－2 それ以前の盛土であることが判明している。

事業対象地東端の②断面では、地山の4層が確認されたが、南端では現地表から0.8mで、北端では1.2mの位置で検出されており、旧地形が南から北へ傾斜し、低くなることが確認される。

事業対象地南端の③断面では、地山の4層が東端では現地表から0.8mで、東端から1.5mの位置では2mの位置で検出したが、1.5m以西ではより深くなり、確認されない。



金剛峯寺（04-10）土層図　S＝1/50

＜調査の所見＞　調査成果からは、地山は南東隅が最も高所で、南東隅から北、西側へ傾斜して低くなり、その部分に水成堆積によるグライ化土壌が確認される。このことから、出土遺物がないため時期は不明だが、事業対象地はその中央部分を北東－南西方向の自然流路の存在が復元される。なお、寛政5（1793）年の「高野山山内絵図」では、本調査地は北東－南西方向の「川」の表記がされており、絵図の表現と復元される過去の地形が矛盾するものでなく、現存する河川が改修される以前の姿が確認される。

調査後の措置としては、遺物の出土もなく、遺構が展開しないことから、慎重工事とした。

■04－21の調査成果

＜調査の経緯＞　高野町消防団本部車庫の改築工事が予定されたため、工事予定箇所の一部を確認調査することとなった。

＜調査の成果＞　工事予定箇所の中央部分に南北方向の調査区約24㎡を設定した。調査は主に重機により掘削し、一部サブトレンチについては人力により掘削を行った。

基本層序　1（－1）層は赤褐色造成盛土、2層は薄い炭層、3層は黄褐色シルト～中砂、4層は褐色中砂、5層は薄い黄褐色シ

調査位置図　（04-21）

ルト、6層は褐色シルト、7層は薄い炭層、8層（8－1～3）はシルトや中砂を主体とする水成堆積層、9層は岩盤、以上9層を検出した。

このうち、4層から19世紀代の白磁碗片、7層からは土師器甕片の出土が確認された。このことから、4層以上の層位は近世後半以降に帰属することが判明した。

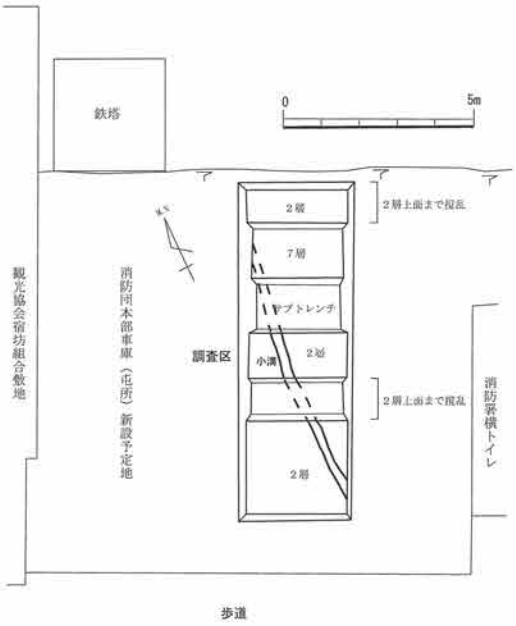
今回検出された9つの層位のうち、2・5・7層は薄く水平に堆積しており、一定期間その下面は（生活）面を形成していた可能性があるため、精査を行った。2層下面、3層上面では、幅20㎝程度の小溝を検出し、遺構面と認識された。これに対し、5・7層下面にあたる6・8層上面では、遺構が検出されなかった。また6・8層は、軟弱な土壌であり、明確な整地土層も確認されないことから、生活面を形成する可能性は否定できないものの、明確な遺構が展開しないと推測される。

以上のことから、3層上面の遺構面以前は活発な土地利用がなされなかった範囲であると推測される。なお、3層上面遺構の小溝埋没時期は、4層出土遺物や周辺の調査結果を参照すれば、「明治の大火」である可能性が高い。

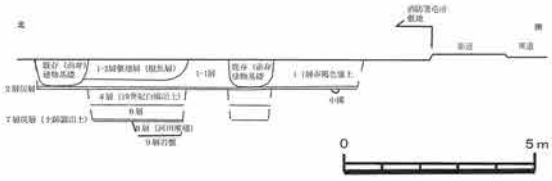
＜調査の所見＞　本調査区は、近代（明治時代）の小溝を検出したにとどまり、周辺の調査と比較して遺構密度は著しく低い。また、近世以前の土地利用状況は窺い知ることは出来ない状況ある。本調査地に南接する歩道・車道部分では暗渠化された河川の所在が確認されており、その河川以北については近世以前の土地利用は皆無であったと復元される。

絵図等では、河川北岸直近まで敷地化されているものの、そのような状況は本調査では確認されなかった。

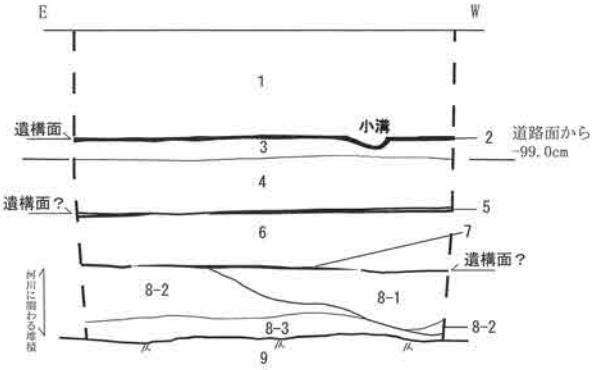
調査後の措置としては、近世後半以降遺構のみの検出であり、整地層や遺物包含層



金剛峯寺遺跡（04-21）調査区位置図
S＝1/200



金剛峯寺遺跡（04-21）
調査区東壁膜式断面図　S＝1/100



1層：5YR4/6赤褐色礫混じり粗砂（盛土）
2層：炭層
3層：10YR5/8黄褐色中砂～シルト
4層：10YR4/6褐色中砂（19世紀代白磁碗片出土）
5層：黄褐色シルト
6層：10YR4/4褐色シルト（やや粘質）
7層：薄い炭層＝土師器鍋（甕）片出土
8-1層：10YR5/4にぶい黄褐色シルト～粘土
8-2層：7.5YR3/4暗褐色中砂（一部に有機物層沈殿）
8-3層：10YR3/6黄褐色シルト（粘質大、やや湧水）
9層：岩盤（2.5Y3/1～2.5Y4/1黄灰色）

金剛峯寺（04-21）土層図　S＝1/50

も確認されないことから、通知者等には慎重工事を指示した。

■04－22の調査成果

＜調査の経緯＞　水道管埋設工事に先立ち事前に工事予定箇所の一部を確認した。

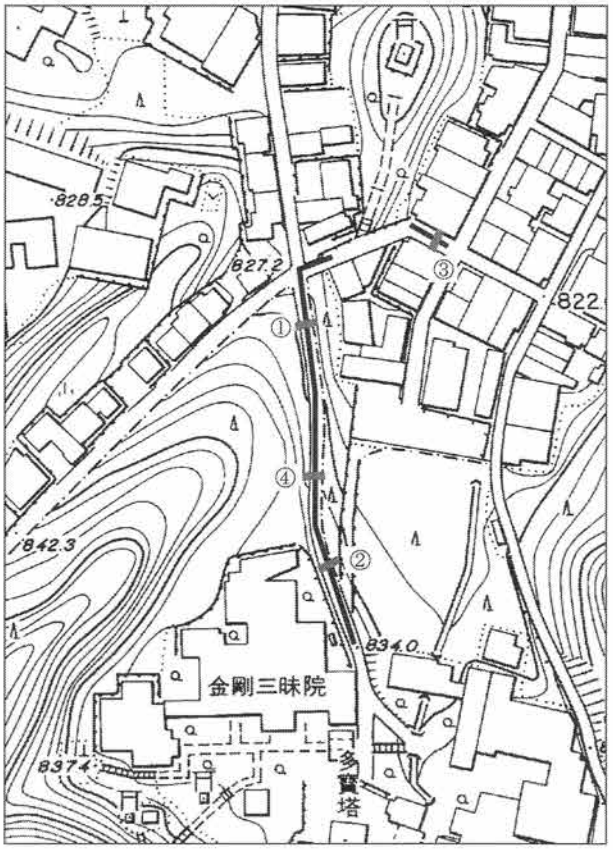
＜調査の成果＞　調査は、水道管埋設予定地のうち8ヵ所について、重機による掘削を行い、壁面観察により状況を確認した。そのうち6箇所では現地表面から1mの位置まで水道管、下水管や防災管など既に埋設されていることが確認された。このうち4箇所では水道管埋設工事範囲が既設配管の堀形内に収まることが判明した。

土層断面①・④の箇所では、現地表面（1層：アスファルト上面）から30～40cmで地山ないしは岩盤を検出したことから、遺構が展開する可能性がある。

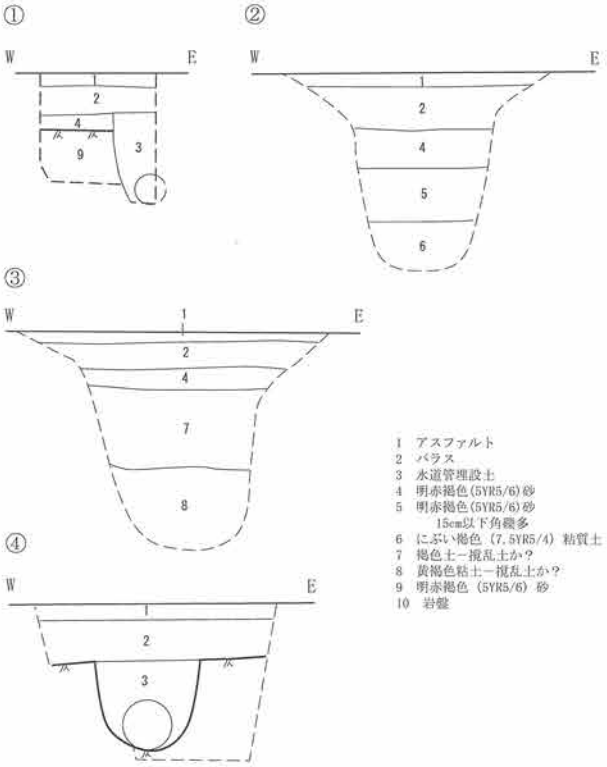
これに対し、土層断面②・③の箇所では、現地表面から1m程度掘削したものの、地山および岩盤が確認されなかった。5～8層中の一部には近代以降の所産とみられる遺物の包含も認められたが、それらの性格は不詳である。

本調査を実施した範囲は、近世後半の絵図には浄土院谷として描かれている範囲に該当するものの、施設等は表記されていない。

本調査でも、明確な遺構の検出や出土遺物も確認されなかったが、工事予定の一部の範囲については、アスファルト（1層）およびバラス（2層）下から地山面までが浅い状況が確認されたため、調査区位置図のうち黒線の範囲については、工事実施の際には埋蔵文化財担当者の立会が必要であることを通知者に指示した。



調査位置図（04-22）



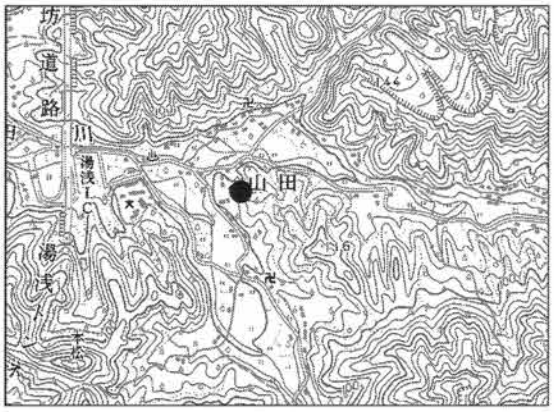
金剛峯寺（04-22）断面図　S＝1/40

16. 山田廃寺

（調査件名：03-277）

種　別　立会調査

所在地　湯浅町大字山田地内



遺跡位置図

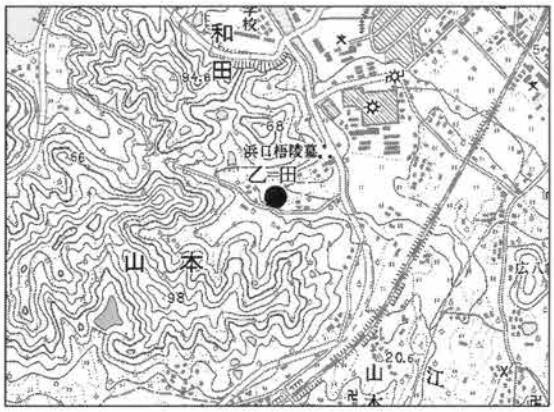
調査位置図

17. 天神社跡

（調査件名：04-63）

種　別　立会調査

所在地　広川町大字山本地内



遺跡位置図

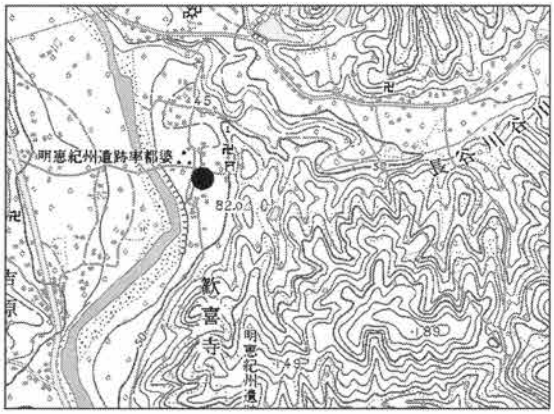
調査位置図

20. 歓喜寺跡

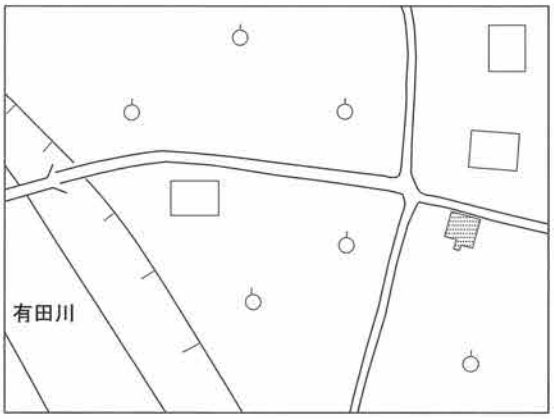
（調査件名：04-163）

種　別　立会調査

所在地　有田川町歓喜寺地内



遺跡位置図



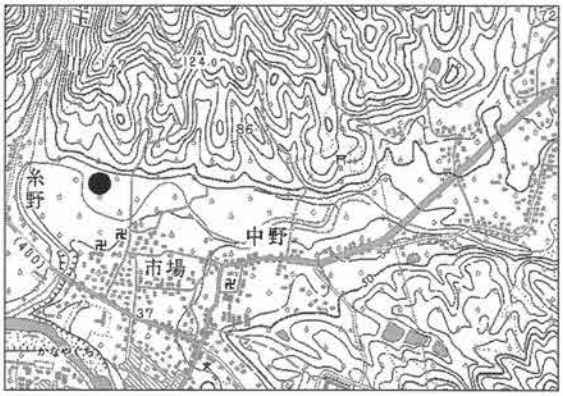
調査位置図

18. 市場遺跡

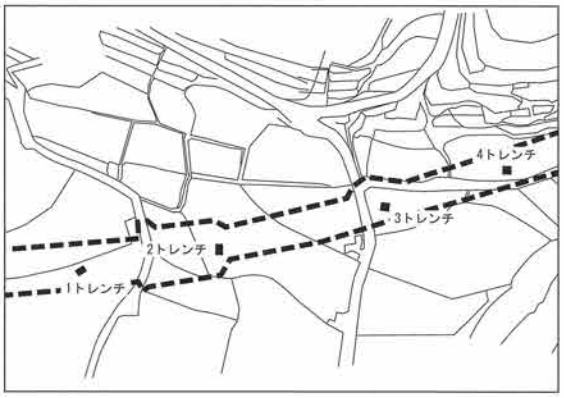
（調査件名：03-6）

種　別　確認調査

所在地　有田川町市場地内



遺跡位置図



調査位置図

＜調査の経緯＞　県道海南金屋線道路建設工事に先立ち、確認調査を行った。

＜調査の成果＞　調査区は昨年度調査区西側の早月谷川左岸、有田川左岸の河岸段丘上に位置する。

調査方法　県道敷設予定地内の中央付近に約50m ピッチで西から 1 トレンチ 1.5×2m、2 トレンチ 3×2m、3 トレンチ 2×2m、4 トレンチ 2×2m、計 4 つのトレンチ、21 ㎡の調査を実施した。調査は重機により掘削し、断面観察を行った。

1 トレンチ　現地表面から 1.8m 掘削を行った。その結果、粗砂、細砂、礫層の厚い堆積を確認した。いずれも色調・質からは洪水等による水成堆積とみられる。これらの水成堆積層下、現地表面から 1.5m の箇所で地山の可能性がある黄褐色シルトを検出した。

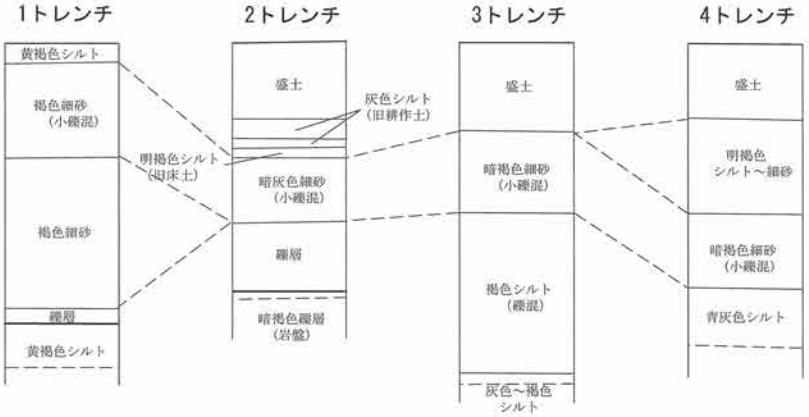
2 トレンチ　現地表面から 1.3m 掘削を行った。現代盛土下に旧耕作土ならびに旧床土その下層には、1 トレンチと類似する細砂と礫層が検出され、これらも水成堆積とみられる。その下層で、現地表面から 1.2m で岩盤を検出した。

3 トレンチ　現地表面から 1.8m 掘削を行った。現代盛土下で 1・2 トレンチ同様の細砂を検出し、その下層褐色シルトおよび褐～灰色シルトを検出した。1・2 トレンチの洪水等によるものとは異なる滞水状況での水成堆積を窺える。

4 トレンチ　現地表面から 1.5m 掘削を行った。現代盛土下にはシルト～細砂、細砂、シルトが確認された。

＜調査の所見＞　いずれのトレンチでも、遺構・遺物は確認されず、洪水ないしは滞水による水成の自然堆積の状況が確認されたにとどまる。

このことから、調査後の措置は、慎重工事を通知者等に指示した。



土層柱状図　S＝1/40

19. 中井原遺跡

（調査件名　04-24）

種　別　立会調査

所在地　有田川町中野地内

＜調査の経緯＞

個人住宅建設に伴い、浄化槽埋設工事計画部分（約 4.8 ㎡）の立会調査を実施した。

＜調査の成果＞

調査は、浄化槽埋設工事計画部分に調査区を設定し、重機及び人力により掘削をおこなった。

層序は耕作土、床土、黒褐色シルト～細砂（遺物包含層）、明黄褐色シルト（地山）となる。明黄褐色シルト～細砂より下層は水成堆積と推定される褐色粗砂～細礫となる。

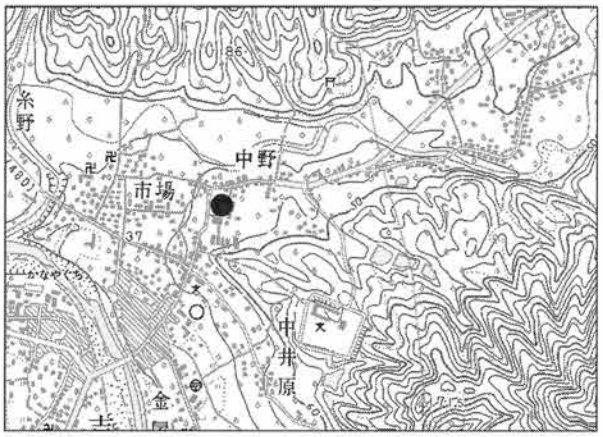
遺物包含層は、中世～近世に属する遺物が包含されていることから、近世段階に整地などにより改変された再堆積土層である可能性が高い。土層断面の観察より、地山面より掘削された遺構が確認された。これらは柱穴及び土坑と推定される。

遺物は、遺物包含層より瓦器片 1 点、備前焼甕底部片 1 点、土師器皿片 3 点、唐津焼陶器片 1 点、青磁片 1 点、白磁片 1 点、粘土塊 5 点が出土している。

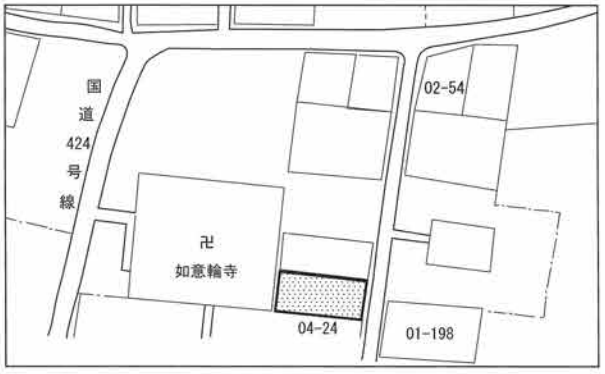
＜調査の所見＞

今回の調査では土層断面の観察から遺構が確認され、また、遺物包含層より中世～近世の遺物が出土した。当調査地点より東側の県教委調査 01-198 地点では中世の遺物・遺構が、北東側の 02-54 地点では近世の遺構が確認されている。したがって付近には中世～近世の遺構が展開しているとみられる。

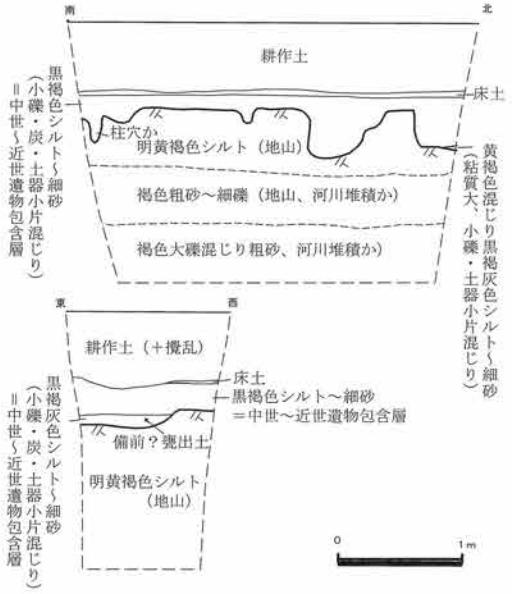
調査後の措置は、記録作成後に慎重工事を指示した。

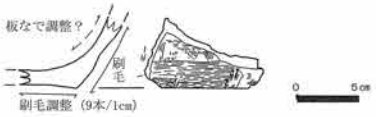


遺跡位置図



調査位置図





出土遺物（S＝1/6）

21. 蛭田坪遺跡

（調査件名　04-9）

種　別　立会調査

所在地　御坊市湯川町小松原地内

＜調査の経緯＞

県道江川小松原線建設工事に伴う立会調査を実施した。

＜調査の成果＞

調査は、幅約 2m×長約 107mの調査区を設定し、重機及び人力掘削により実施した。基本層序は、1 層:耕作土、2 層:旧耕作土、3 層:灰オリーブ色（5Y5/2）粘土～シルト、4 層:灰色（7.5Y5/1）粘土　5 層:灰色（7.5Y4/1）粘土、6 層:黒褐色（2.5Y3/1）～灰黄（2.5Y4/1）シルト、7 層:地山となる。

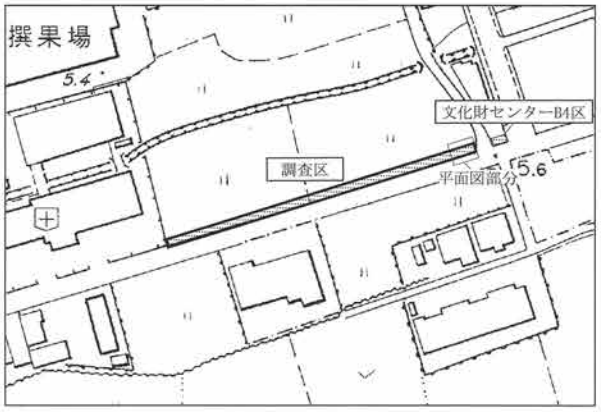
調査区内では調査区東端から約 8m付近の地点を境として、以西が谷状地形を呈しており、7 層が緩やかに傾斜している。基本層序のうち、3～6 層はこの谷状地形に堆積した土層である。この谷状地形以西では遺構は確認されなかった。

遺構は、調査区の東端付近で溝を検出した。溝は調査区内で幅約 1.5m以上、深度約 0.5mで、調査区東壁から西側へ延びた後、北方向と南西方向へ分岐し調査区外へ延びている。溝内より黒色土器が出土おり、遺構の所属時期は古代と考えられる。

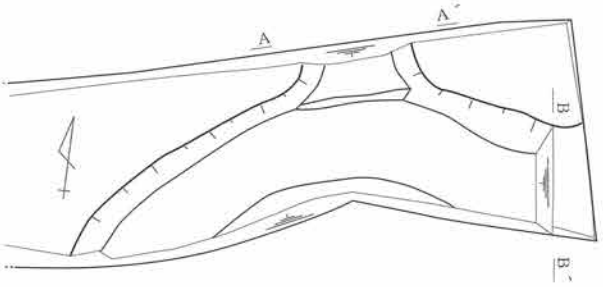
＜調査の所見＞

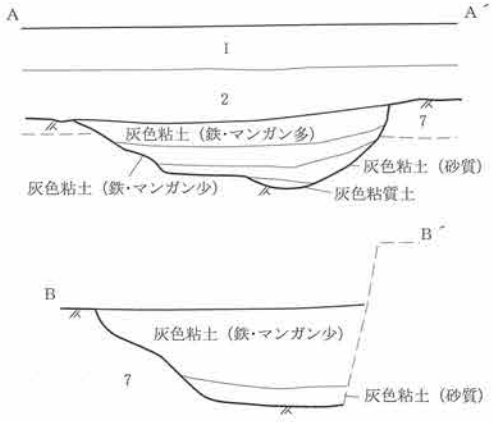
今回検出された溝は（財）和歌山県文化財センターによる調査（1993 年度 B4 区）で確認された溝に連続する可能性が高い。溝の確認された地点は、調査区の中でも最も高所に位置し、以西は谷状地形となり遺構の分布しない範囲となることから、遺構の分布範囲の西限と考えられよう。

遺跡位置図



調査位置図





溝状遺構断面図（S＝1/40）

22. 田井・西川遺跡

（調査件名：00－120）

種　別　確認調査

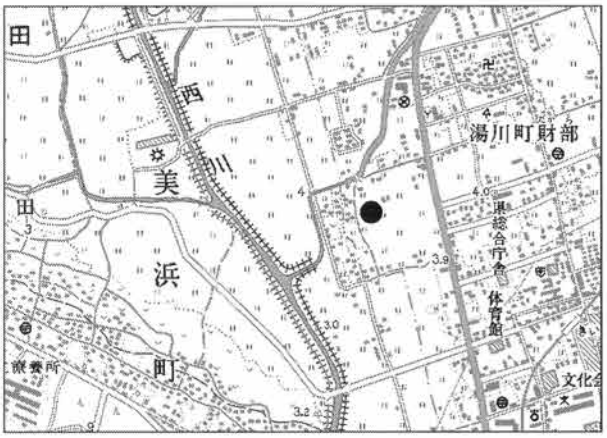
所在地　美浜町田井地内

＜調査の経緯＞

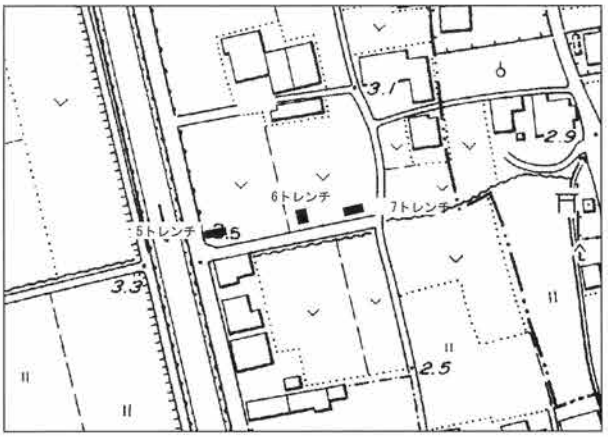
町道上田井下財部線道路建設工事に先立ち、田井・西川遺跡ならびにその周辺の試掘・確認調査を実施した。平成 12・15 年度にすでに試掘確認調査を実施してきており、本調査はそれらの東側部分に位置する。

＜調査の成果＞　田井・西川遺跡は、本調査区西側を南流する斉川で弥生土器が採集されたことにより埋蔵文化財包蔵地とされた遺跡であるが、過去 2 度にわたり調査が行われた斉川以西では、遺構の存在はなく、遺物の出土も極めて少量であったことが確認されている。なお、東側には御坊市堅田遺跡が所在する。調査地の現況は大半が畑地である。

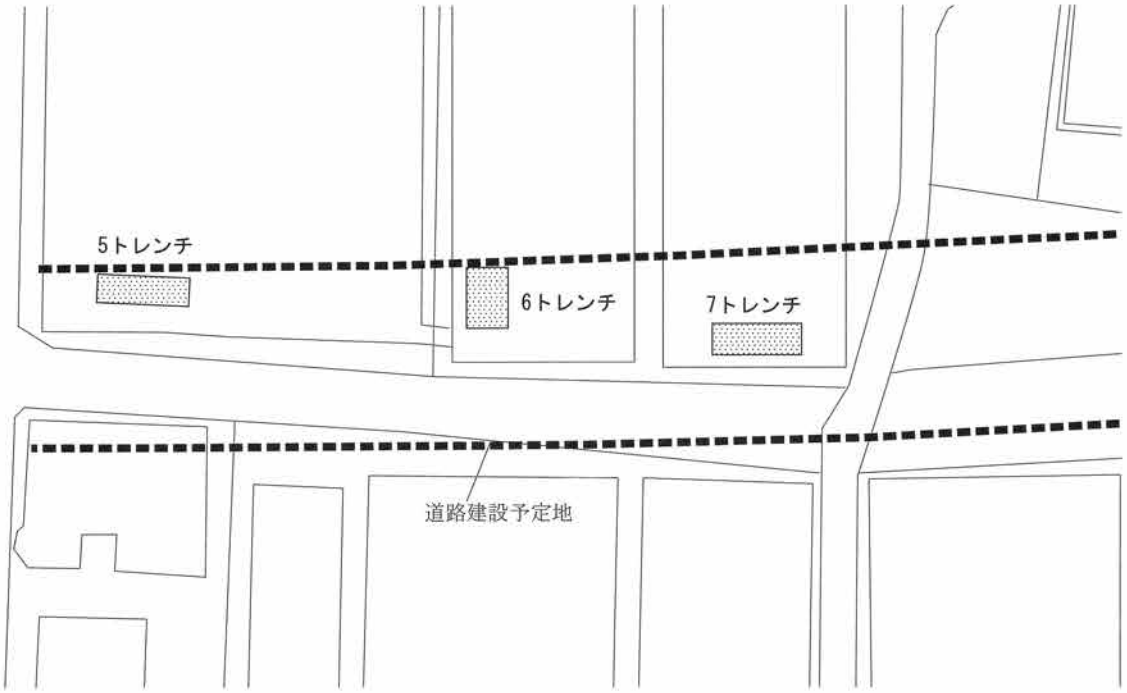
調査方法　調査は町道建設予定地内に 3 つトレンチを配置した。5 トレンチ 12 ㎡、6



遺跡位置図



調査位置図



調査位置図（S＝1/500）

トレンチ 12.3 ㎡、7 トレンチ 12.2 ㎡の計 36.5 ㎡の調査を実施した。

調査は、掘削に際しても重機により 1～3 層と一部サブトレンチの掘削を行い、サブトレンチを除く 4 層以下については基本的に人力により掘削を行った。

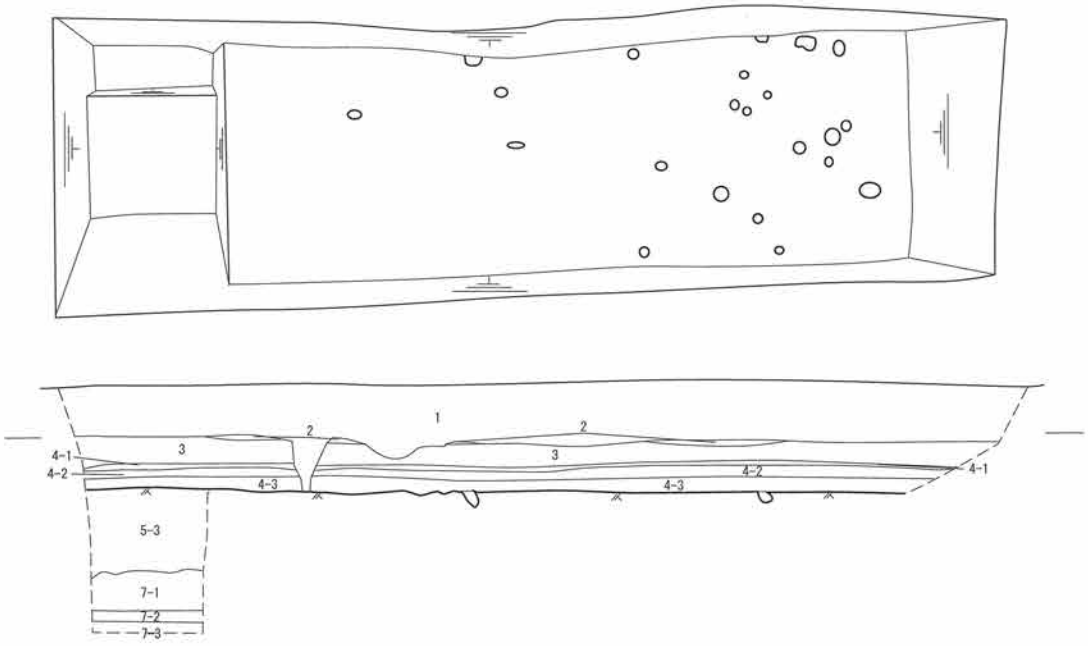
なお、トレンチ名は過去調査分と連番で付与したため、5～7 トレンチとなった。

基本層序　1 層は現代盛土、2 層は床土、3 層は旧耕作土、4 層は灰色系シルトで 3 つに細分される。5 層は 3 つに細分され、5－1 層は灰色シルト、5－2 層は黒褐色シルト、5－3 層は黄褐色シルトである。5－2 層は有機物を多く含む泥炭状の色調である。7 層も 3 つに細分されるが、7－1 層が灰色シルト、7－2・3 層が黒褐色粗砂～小礫である。

堆積状況から、5－3 層以下は地山と評価しており、7－2・3 層は洪水による水成堆積層と認識している。

5 トレンチ　本調査の西端で斉川に左岸堤防に近接した位置に配置したトレンチである。地山と評価している 5－3 層上面で遺構検出を行ったが、直径 20 ㎝未満の杭跡とみられるピットと検出した。これらは散在しており、遺構と評価しがたい検出状況である。調査区西端のサブトレンチでは 7－1 層上面で、精査を行ったものの遺構は検出されなかった。なお、7 層は 5 トレンチのみで確認した。

6 トレンチ　5 トレンチから東 20m の位置に配置したトレンチで、4 層上面まで重機により掘削し、遺構検出を行ったものの、3 層上面から掘削された不整形土坑を検出したのにとどまる。この土坑中は栗石が充填されていることから、暗渠排水関連のものとみられ、3 層は近世以降の耕作土と判断される。4－1 層以下はサブトレンチを設定して確認を行ったところ、現地表面から 1.1m で 5－3 層の地山を検出した。上面を精査したものの、遺構は確認されない。地山上には、5－2 層が 30 ㎝以上の厚さで堆積している点は 5 トレンチと異なる。

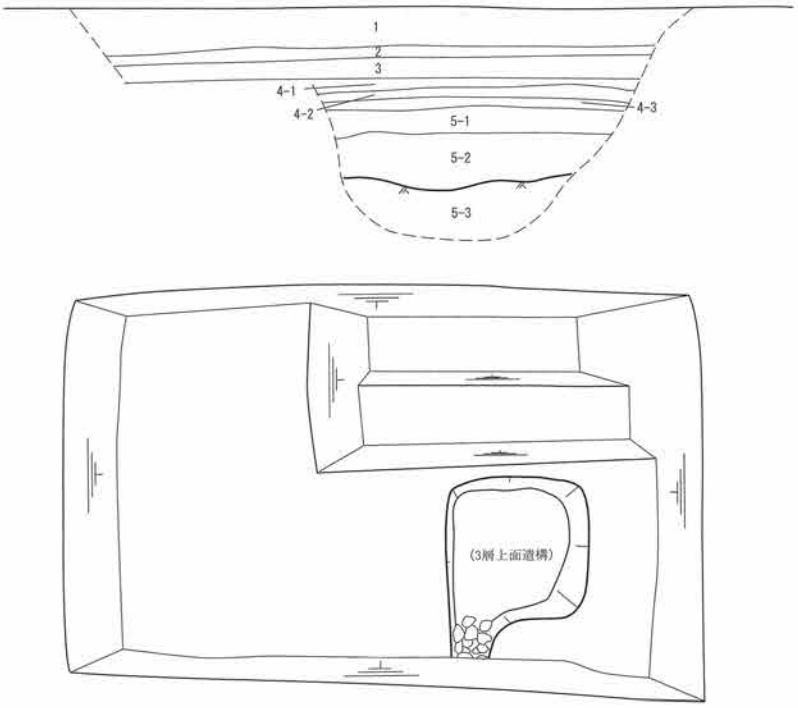


5 トレンチ平面図・断面図　S＝1/50

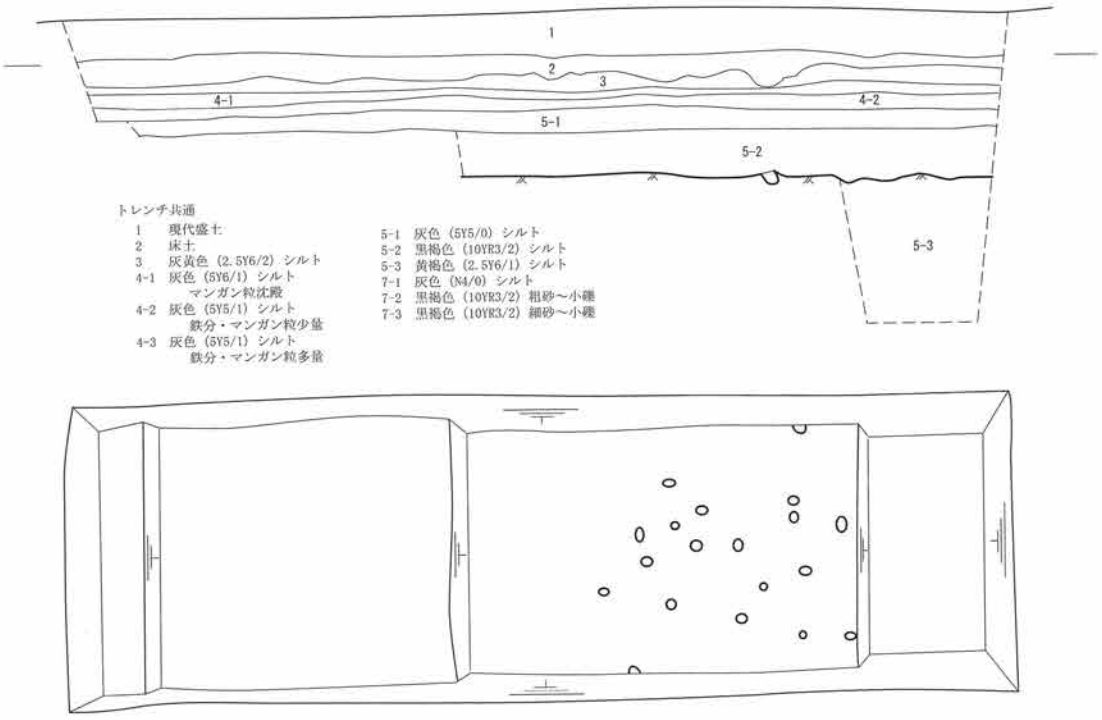
7 トレンチ　本調査で東端に設定したトレンチである。5 層上面まで重機により掘削し、以下は 5 層の 1～3 の細分層上面で精査しながら、人力により掘削した。いずれの面でも顕著な遺構は検出されず、5－3 層上面で 5 トレンチ同様のピットを検出したにとどまる。また、5－3 層上には 6 トレンチ同様 5－2 層が 30 ㎝以上の厚さで堆積しているのが、確認された。

＜調査の所見＞　平成 15 年度の調査時には、本調査地にあたる斉川以東に遺構が展開することを予想したが、本調査では明確な遺構は確認されず、遺物もほとんど採集されなかったことから、調査地周辺に遺構の存在は予想されないため、調査後措置としては慎重工事とした。

また、有機物を多量に包含するとみられる 5－2 層が 5 トレンチで不在なのに対し、6・7 トレンチで厚く堆積することから、斉川以東でも東へ行くほど、沼地状の滞水状況であった環境が復元され、遺跡として展開しないと推測される。



6 トレンチ平面図・断面図　S＝1/50



7 トレンチ平面図・断面図　S＝1/50

25. 古垣内遺跡

種　別　確認調査
所在地　日高川町高津尾地内

遺跡位置図

＜調査の経緯＞　高津尾小学校で校舎改築の予定があったため、協議を行った。その結果、改築予定地内のうち現段階で調査が可能な範囲について、平成 16 年度に確認調査を実施した。

古垣内遺跡は、同じく高津尾小学校 1981 年度に危険校舎・給食室及び体育館の新築工事に伴い確認調査を実施した。その結果、体育館建設予定地で遺構が確認されたため、本発掘調査を実施されている。その調査では、旧石器時代のブロック、縄文時代のピット、土坑、中世の掘立柱建物などが検出されている。

＜調査の成果＞　調査対象地は、高津尾川が日高川に合流する箇所の付近で、日高川左岸の河岸段丘上に位置する。調査は、1 トレンチ 6.12 ㎡、2 トレンチ 2.4 ㎡、3 トレンチ 7.38 ㎡、4 トレンチ 4.95 ㎡の計 4 トレンチ、20.85 ㎡を実施した。

調査方法　校舎建設予定地のうち、現況で確認調査が実施可能な東半部の範囲について、行い、校舎改築予定のうち現校舎が現存する西半については、校舎取り壊し後に実施することとした。

1 トレンチ　現在駐車場に利用されている箇所に設定した。現地表アスファルト舗装の下、整地のための盛土（1－2 層）、旧耕作土・床土（2 層）直下で地山とみられる黄褐色シルト（5 層）を検出した。トレンチ両端は 1－2 層上面からの撹乱により破壊が及んでいたものの、5 層上面で精査を行ったところ、直径 30 ㎝未満の土坑 7 基を検出した。このうち遺構 1 検出面上で、サヌカイト剥片を採取している。遺構は土坑 1 基のみ掘削したに止まるため、遺構の帰属時期は不明である。

2 トレンチ　1 トレンチ同様、駐車場内に設定したトレンチである。1 トレンチ同様にアスファルト（1－1 層）、整地用の盛土（1－2 層）、耕作土（2 層）下で、地山の 5 層を検出したものの、中央部分は撹乱されていた。5 層上面で精査を行った結果、土坑 3 基および溝ないしは落ち込み 1 基を検出した。遺構 8－2 の底面は、板石が配置されていることを確認した。

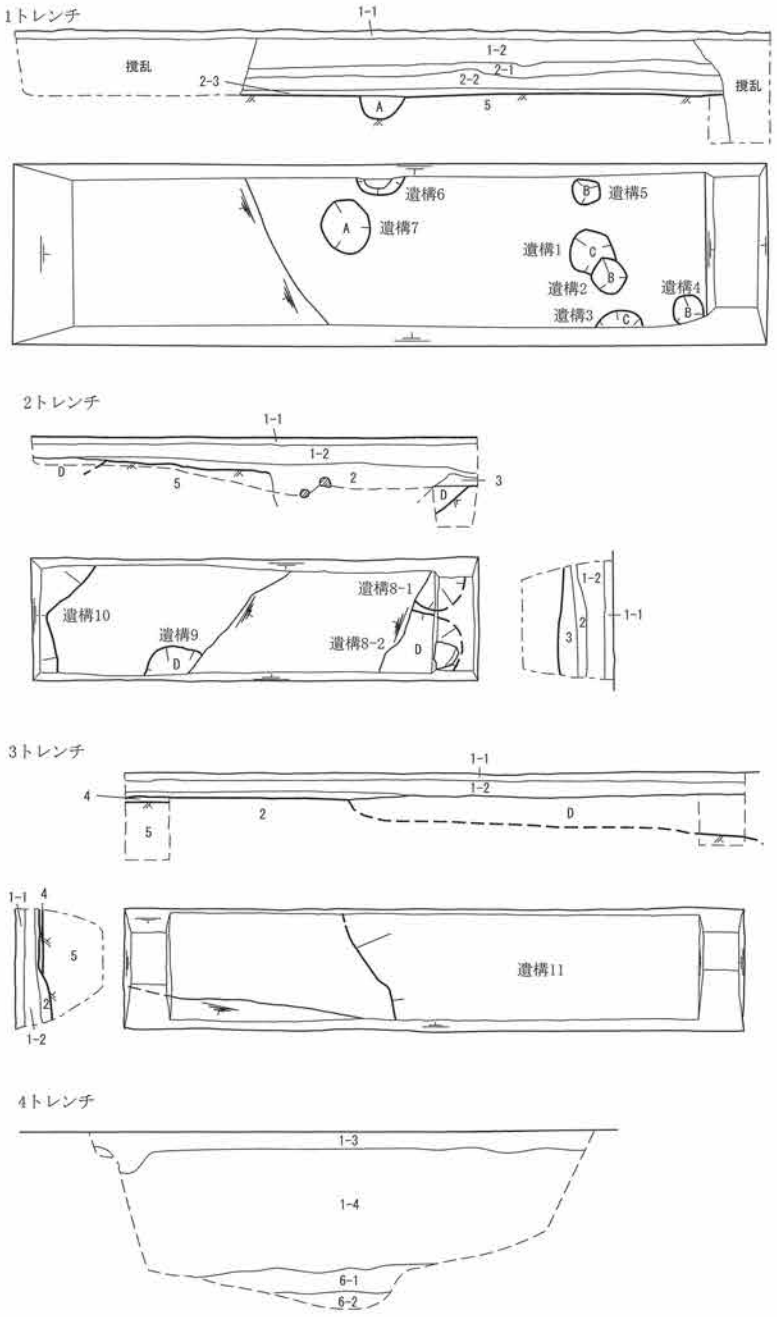
3 トレンチ　1・2 トレンチ同様、駐車場内に設定したトレンチである。先述の 2 つのトレンチ同様、アスファルト（1－1 層）・整地用の盛土（1－2 層）・耕作土（2 層）が確認された。他トレンチと比して 2 層は薄く、部分的にのみ確認されたことから、駐車場として利用する際の土木工事で、一部削平されていることが予想される。

3 トレンチでは、2 層下でにぶい黄褐色シルト（4 層）の堆積を確認した。4 層上面で撹乱のほか、浅い落ち込み状の遺構 11 を検出した。4 層は厚さが薄いものの、掘削した範囲では遺物も確認されず、その上面で遺構が検出されたことから、地山の可能性が考えられる。なお、5 層はトレンチ端のサブトレンチの 4 層下層で確認した。

4トレンチ　船着中学校南側に設定したトレンチで、表土（1－3層）とその下層に80cmの盛土とみられる堆積（1－4層）を確認した。1－4層下層では、細砂ならびに粗砂が確認され、洪水による水成堆積（6層）と判断している。4トレンチ設定箇所は、昭和28年の洪水の被害を受けた箇所であることから、6層はその際の堆積層である可能性がある。1－4層は、その後中学校校舎を建設する際に整理用に盛土されたものと推測される。

＜調査の所見＞　駐車場内に設定した1～3トレンチでは、遺構の展開が確認された。出土遺物は、サヌカイト剥片を除くと土師器ならびに瓦器などの中世出土遺物が確認された。しかしながら、1981年度の調査で検出されたような旧石器時代や縄文時代の遺構は確認されず、遺物も少量確認されたに過ぎない。

しかしながら、改築予定地の東半の一部では遺構の展開が確認されたことから、本発掘調査の必要性があると判断される。ただし、その範囲については今後実施予定の改築予定地西半部の確認調査後に判断する必要がると考えられる。



1-1　アスファルト
1-2　にぶい黄褐色（10YR4/3）砂礫土－盛土
1-3　表土
1-4　にぶい黄褐色（10YR5/4）シルト
　　角礫含む－盛土
2-1　灰黄褐色（10YR4/2）シルト－耕作土
2-2　にぶい黄褐色（10YR4/3）シルト－耕作土
2-3　褐色（7.5YR4/6）シルト－床土
3　にぶい黄褐色（10YR4/3）シルト
4　にぶい黄褐色（10YR5/4）シルト
5　黄褐色（10YR5/8）シルト
6-1　褐色（10YR4/4）細砂
6-2　灰色（5Y5/1）粗砂
A　黒褐色（7.5YR3/2）細砂
B　暗褐色（10YR3/4）細砂
C　暗褐色（10YR3/3）細砂
D　褐色（10YR4/4）シルト

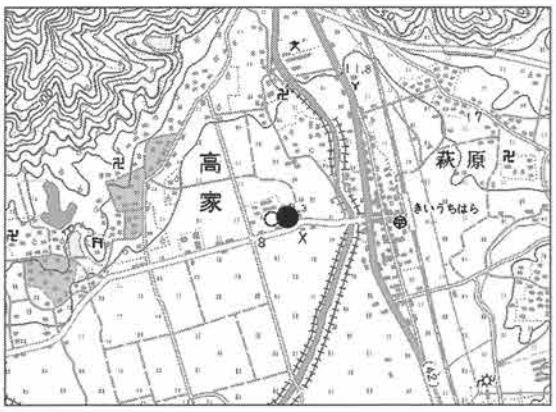
トレンチ平面図・断面図　S＝1/20

23. 高家遺跡

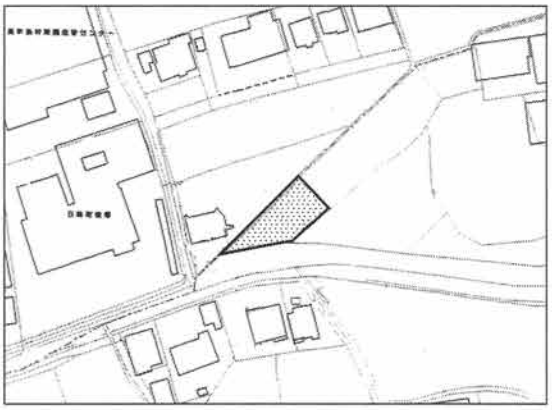
（調査件名：04-35）

種　別　立会調査

所在地　日高町高家地内



遺跡位置図



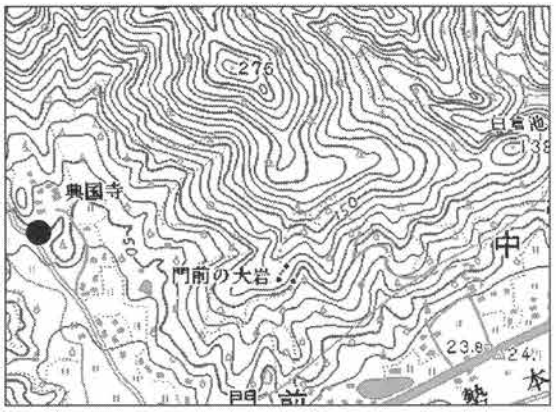
調査位置図

24. 興国寺跡

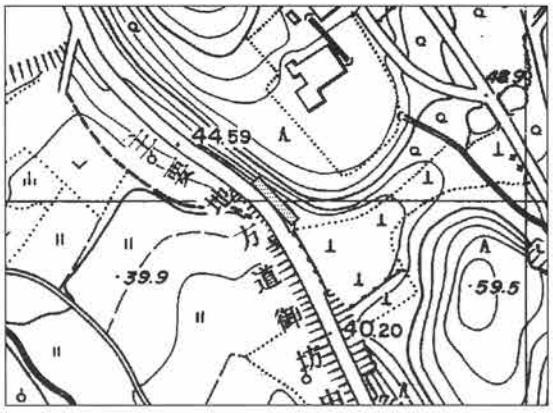
（調査件名：04-49）

種　別　立会調査

所在地　由良町門前地内



遺跡位置図



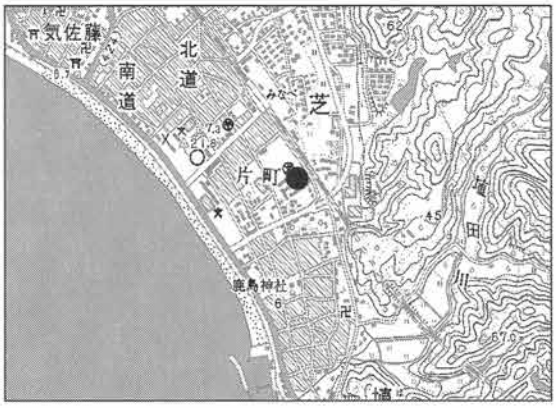
調査位置図

26. 片山遺跡

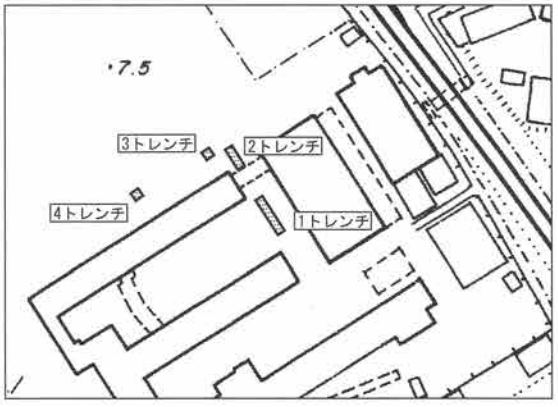
（調査件名：04-7）

種　別　立会調査

所在地　みなべ町芝地内



遺跡位置図



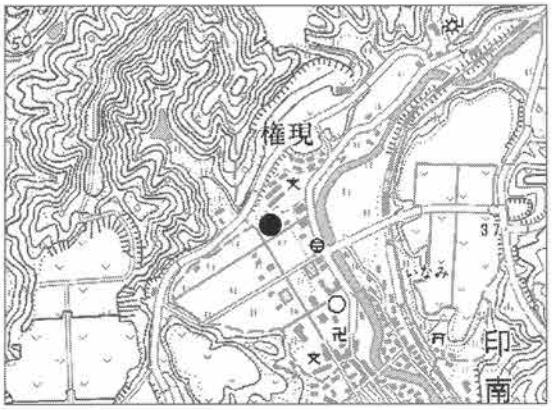
調査位置図

27. 印南遺跡

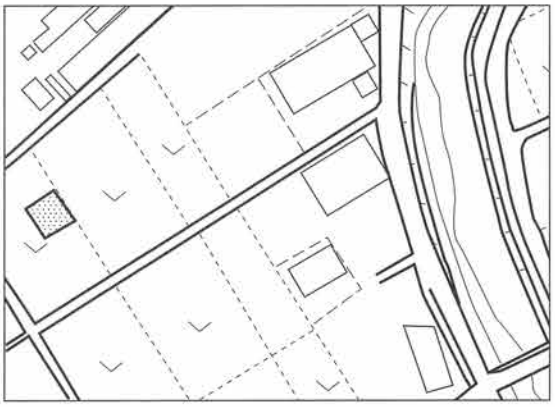
（調査件名：03-288）

種　別　立会調査

所在地　印南町印南地内



遺跡位置図



調査位置図

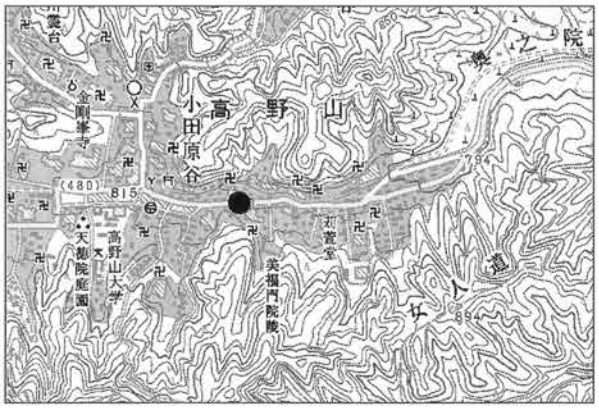
平成16年度県教育委員会による調査

指定記念物の現状変更に伴う調査

1. 国指定史跡　高野山町石
（現状変更）

種　別　確認調査

所在地　高野町高野山地内



遺跡位置図

＜調査経緯＞

国道371号線の歩道改良工事とそれに伴う排水溝（縦断管渠）設置工事が計画され、工事範囲が国指定史跡高野町石にあたることから事前確認調査を実施した。

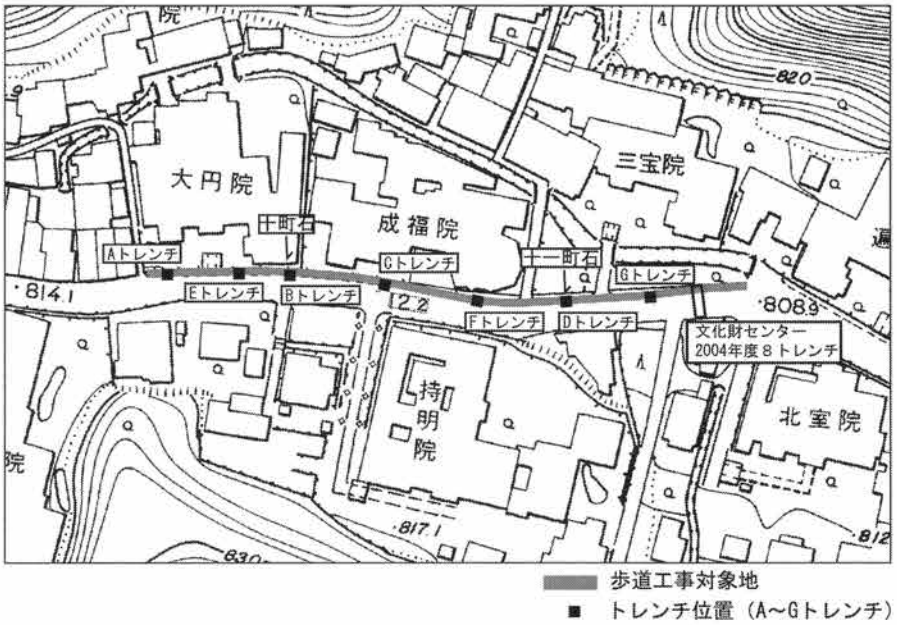
＜調査内容＞

調査は7箇所の調査区（A～Gトレンチ）を設定した。各調査区は、排水溝の計画深度である約80㎝までを掘削した。

Aトレンチ：調査区南端で共同溝（電線）掘形を検出し、また調査区北半では道路盛土直下でNTT管埋設時の掘形と推測される攪乱を確認した。後者の攪乱掘削のベースとなった明黄褐色粗砂～粘土層は、遺物などは検出されず所属時期は特定できない。

Eトレンチ：Aトレンチと同様に調査区南端および北半で攪乱を確認した。また両攪乱の間で確認した明褐色礫混じりシルト層は、Aトレンチの明黄褐色粗砂～粘土層に対応するとみられる。遺構・遺物は確認されなかった。

Bトレンチ：歩道側調査区（十町石側）と車道側調査区の二つの調査区を設定した。車道側調査区では、A・Eトレンチと同様の攪乱を確認し、またA・Eトレンチに対応する明褐色土層を検出した。一方、歩道側調査区では、歩道盛土下で花崗岩製の平面方形の台石を検出した。台石は中央に受部と推測される方形の凹みを有し、町石下部を据え付ける構造となる。現在の十町石は歩道盛土内に立つ状態となっていることから、本来はこの台石上に据え付けられていた町石が歩道工事時に現在位置に移動させられたことが明らかとなった。また台石掘形が検出された。台石掘形掘削のベースとなる黄褐色シルト層上面は、道路造成以前の旧地表面となることが推測される。なお、この黄褐色シルト層は、車道側調査区では確認されず削平を受けたものと考えられる。



調査位置図

Cトレンチ：歩道側調査区では工事予定深度まで現代の盛土であることを確認した。車道側調査区は下水管埋設時の掘形と推測される攪乱を確認した。調査区北半では黄褐色シルト層の褐色ないしにぶい黄褐色シルト層が確認され、これらは整地土層の可能性がある。遺構および遺物は確認されなかった。

Fトレンチ：調査区北半で近現代の磁器を含む炭層を検出し、浅い落ち込み状となる。黄褐色粗砂層下には地山と推測される黄褐色粗砂～細砂層が確認され、南東方向へレベルを下げている。遺構および近世以前の遺物は確認されなかった。

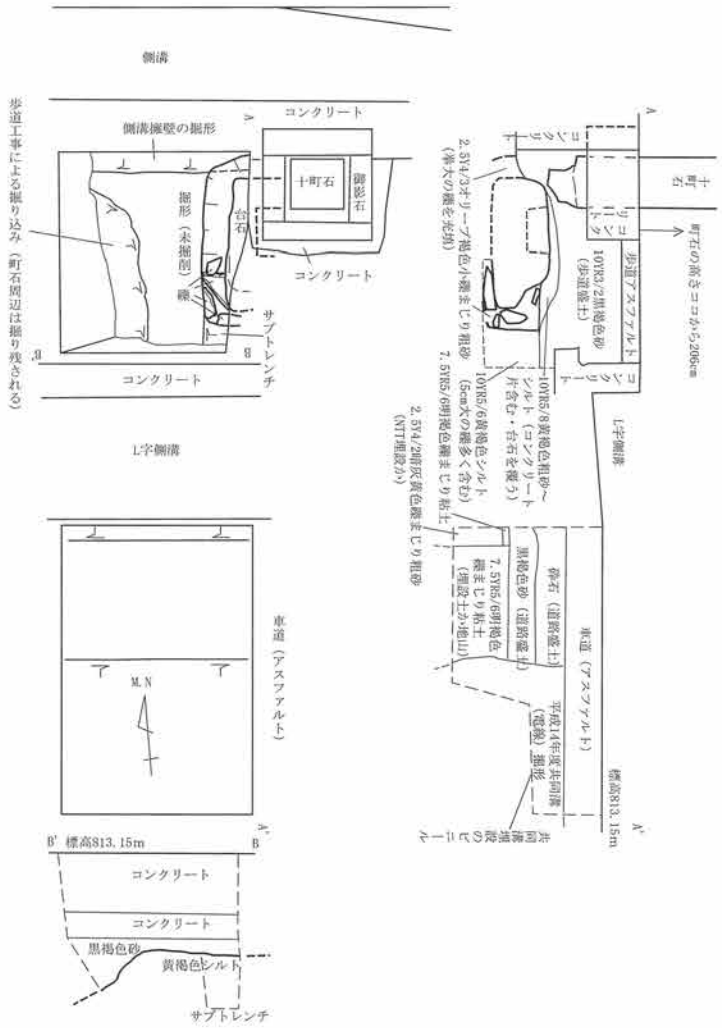
Dトレンチ：調査区南端は共同溝掘形による攪乱を受けていた。北半は道路盛土下で褐色礫混じり粘土層を検出し、さらに下層で焼土面を検出した（現GL－約80㎝）。いずれの層においても遺構・遺物は検出されず、所属時期は特定できない。

Gトレンチ：調査区南半および北半で攪乱を確認した。また北端でサブトレンチを設定したところ、現GL－80～95㎝で炭・焼土を多く含む黒褐色粗砂層を確認し、その直下で炭層を検出した。これらはDトレンチで確認した焼土面に対応する層である可能性が高い。炭層の下層は明褐色礫混りシルト層で、地山の可能性もあるが確定できない。遺物は出土しなかった。なお、本トレンチの東側約16mの地点で実施された（財）和歌山県文化財センターによる調査（1994年度調査8トレンチ）でも、炭・焼土混りの土層が確認されている。

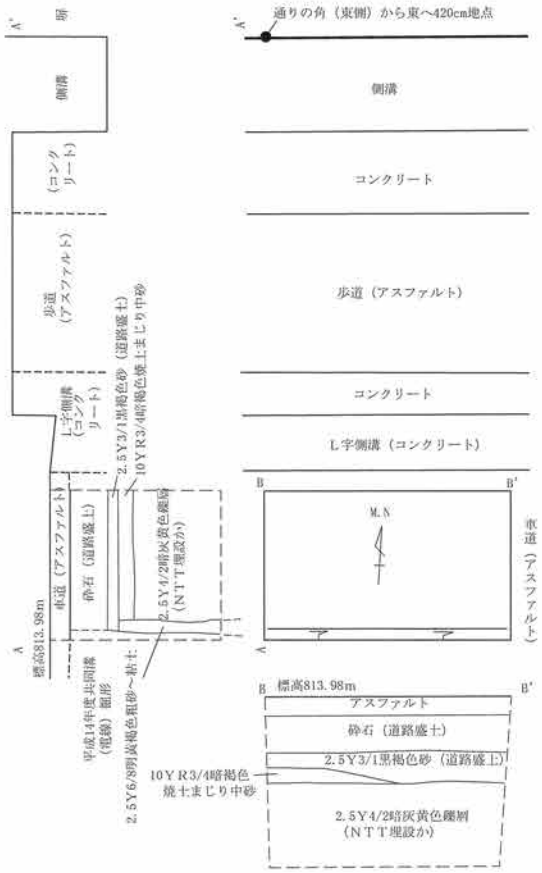
＜調査所見＞

十町石の台石および台石掘形以外には明確な遺構は検出されなかった。ただし、D・Gトレンチで検出された焼土面などは遺構面として認識できる。遺物は近代の磁器片を除いて出土しておらず、このため各土層の時期は特定できない。

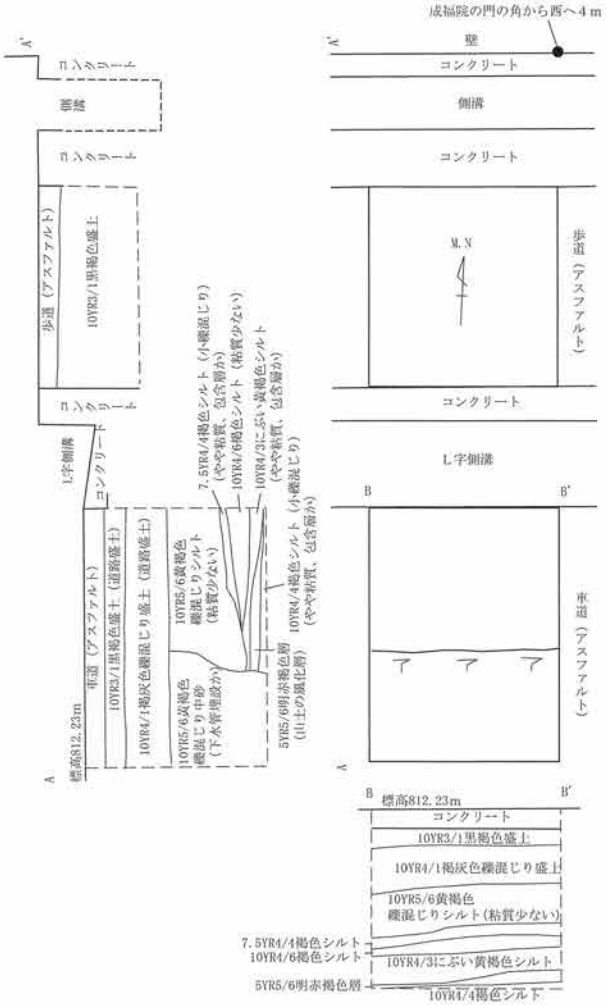
調査後の措置としては、現GL－約50㎝までは現代盛土及び攪乱であり、それ以下については部分的に遺構・遺構面が残存する可能性があるため、排水溝の計画深度を変更し、現地保存の措置をとった。



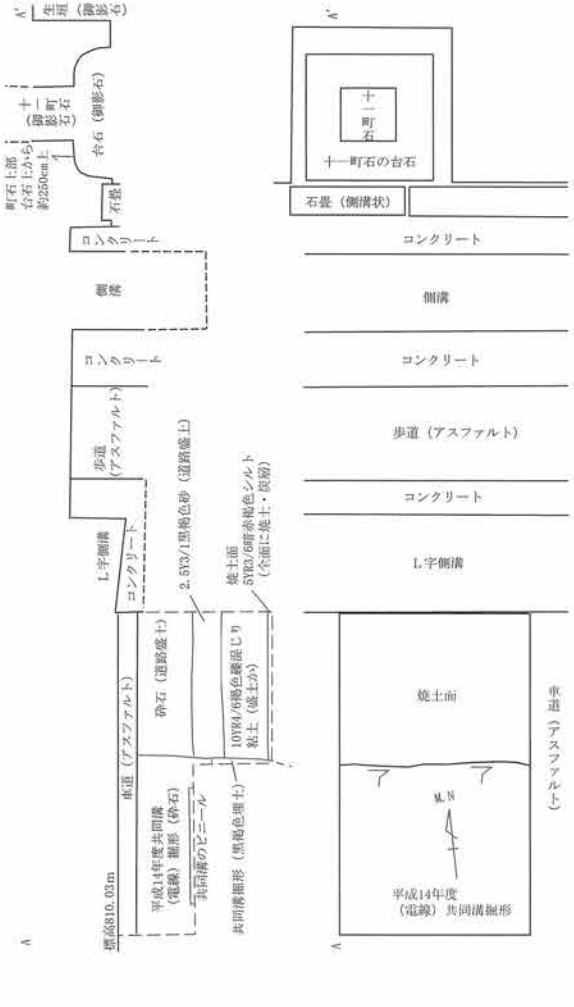
Bトレンチ平面図・断面図（S＝1/40）



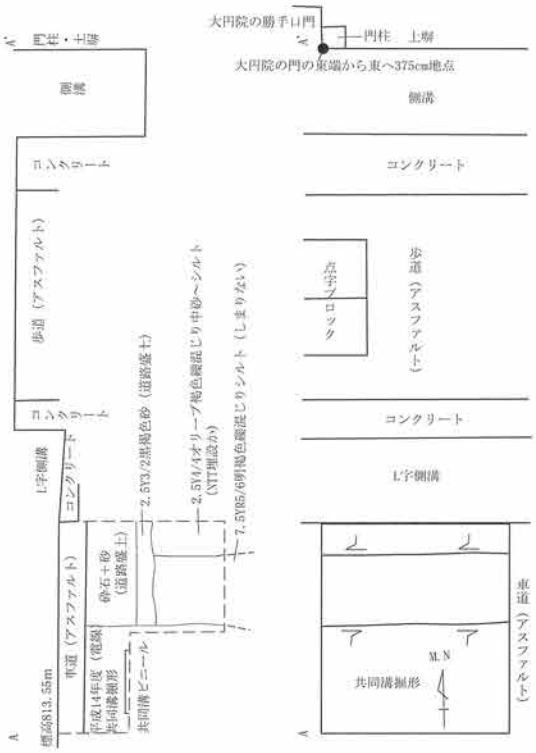
Aトレンチ平面図・断面図（S＝1/40）



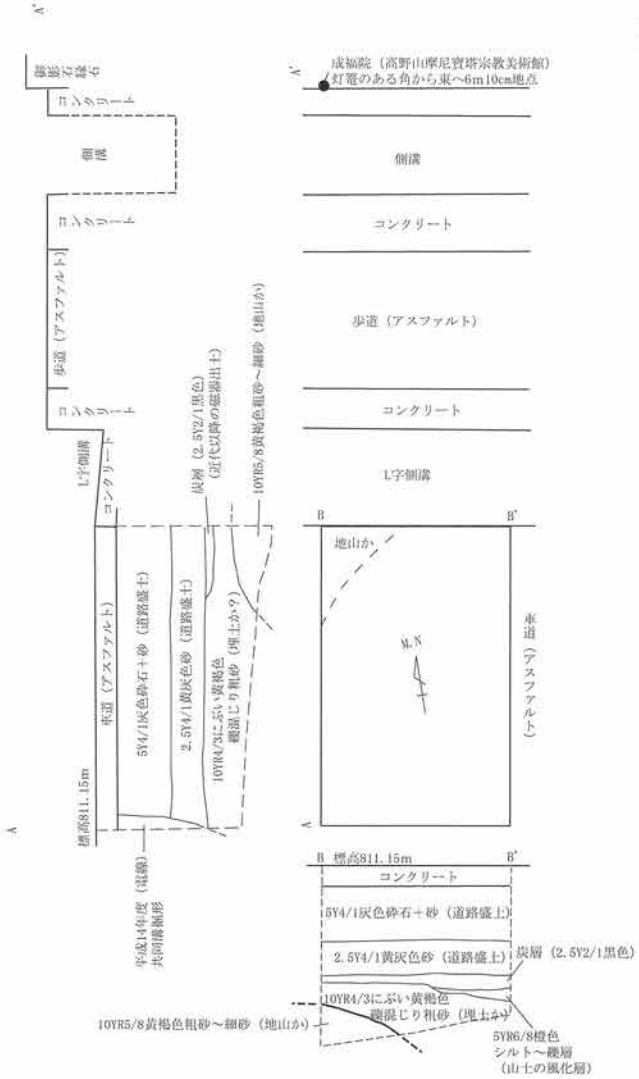
Cトレンチ平面図・断面図（S＝1/40）



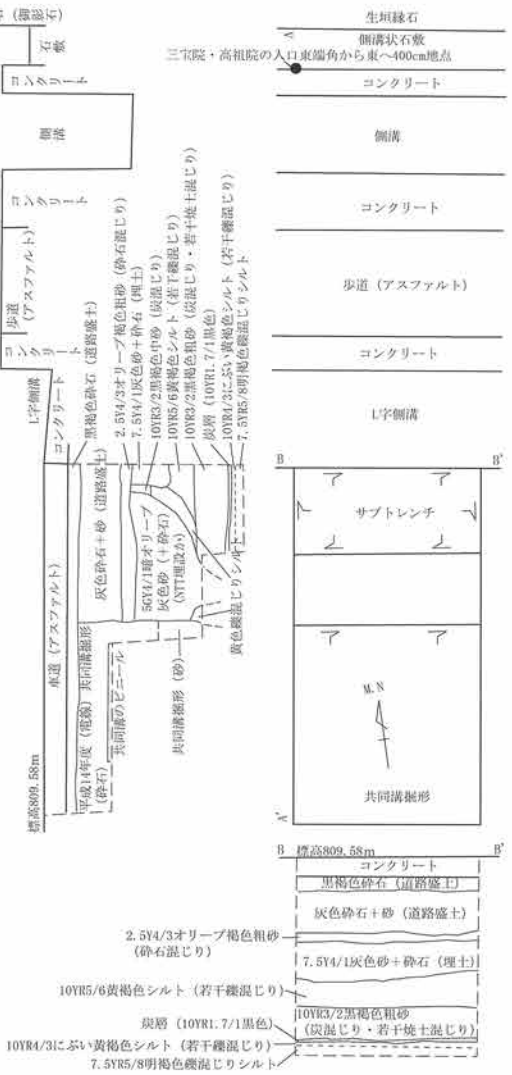
Dトレンチ平面図・断面図（S＝1/40）



Eトレンチ平面図・断面図（S＝1/40）



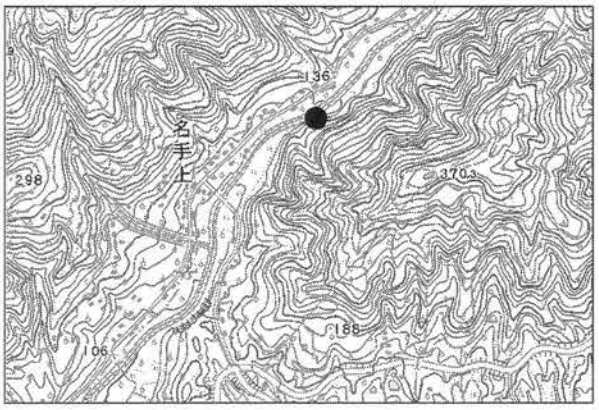
Fトレンチ平面図・断面図（S＝1/40）



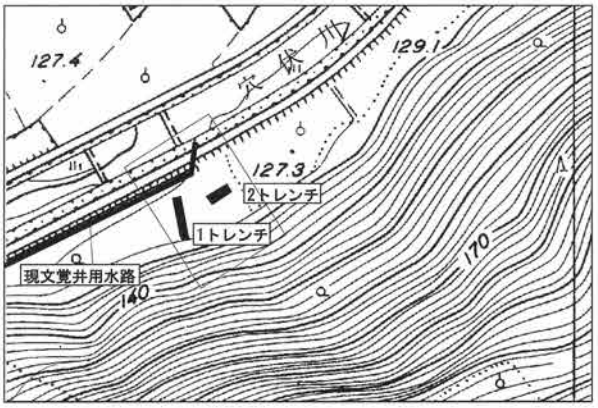
Gトレンチ平面図・断面図（S＝1/40）

2. 県指定史跡 中世農耕用水路文覚井（現状変更）

種　別　確認調査
所在地　かつらぎ町萩原地内



遺跡位置図



調査位置図

＜調査経緯＞

国道480号線道路改良工事が実施されるのに伴い、文覚井取水口付近の工事予定地部分について遺構の有無を確認するための確認調査を実施することとなった。調査は2箇所の調査区（1･2トレンチ）を設定し、掘削は、重機及び人力掘削によりおこなった。

＜調査成果＞

基本土層は、1層：表土、2層：周辺の耕地化に伴うと推測される整地層、3～6層：洪水によると推測される水成堆積層、である。

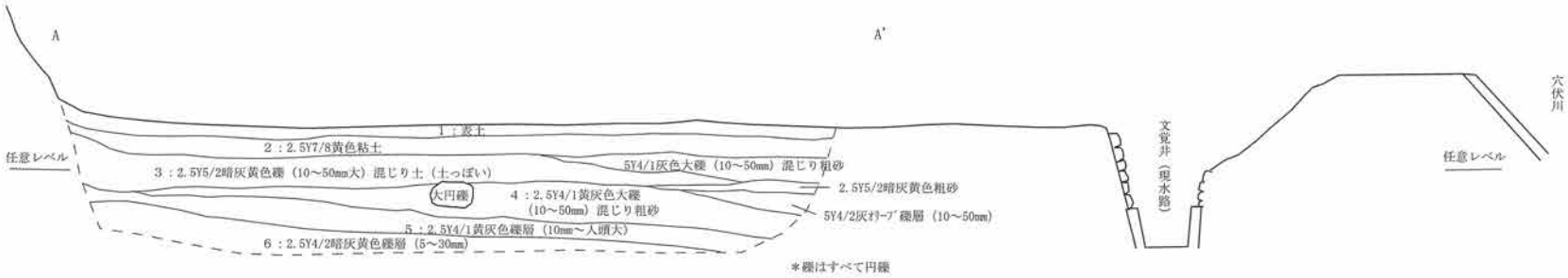
1トレンチは、幅約1.5m×長約13mの南北方向に設定した調査区である。1･2層を除去後、GL－約0.5mで水成堆積層を確認した。水成堆積層は、大礫混じり粗砂層、礫混じり土層（3層）、大礫混じり粗砂層（4層）、礫層（5・6層）から構成される。遺構及び遺物は検出されなかった。

2トレンチは、1トレンチの東側に東西方向に設定した、幅約1.5m×長約6.5mの調査区である。1･2層を除去後、GL－約0.4mで3層が検出され、以下1トレンチと同様の堆積状況を示している。遺構及び遺物は検出されなかった。

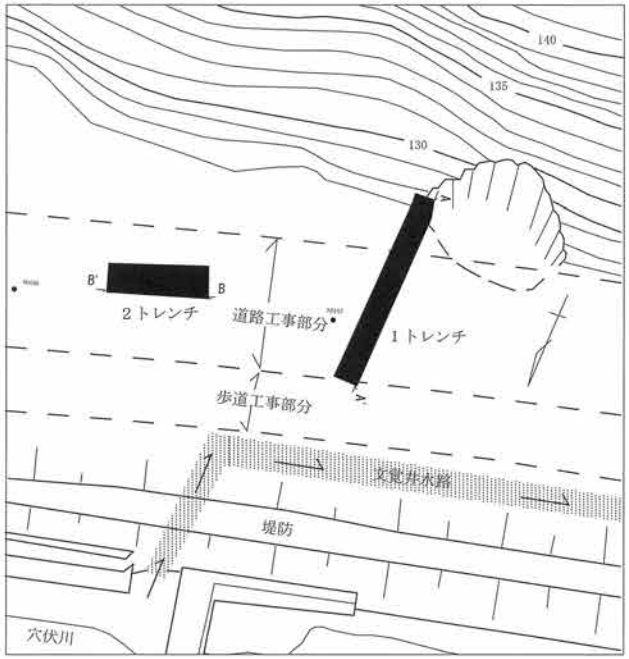
＜調査の所見＞

今回の調査では、過去の用水路等の遺構は確認できなかった。また、遺物も出土しなかった。以上の調査結果より、水路が洪水によって流失した可能性も残されるものの、用水路はその完成当初より、現在の位置に構築されていた可能性が高いものと考えられる。

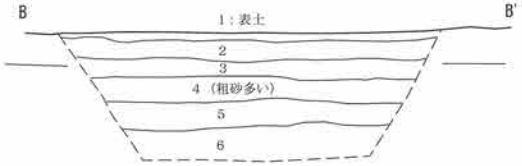
調査後の措置としては、慎重工事を通知者に指示した。



1トレンチ断面図（S＝1/120）



トレンチ配置図（S＝1/500）



2トレンチ断面図（S＝1/120）

2. 県指定史跡 中世農耕用水路文覚井（現状変更）

種　別　確認調査

所在地　かつらぎ町萩原地内

＜調査経緯＞

農業用排水路の設置工事にあたり遺構の有無を確認するための確認調査を実施した。調査は工事区間に３箇所の調査区（1～3トレンチ）を設定した。

＜調査成果＞

基本土層は、1層：表土、2･3層：現代水路が掘削されるベース層、4層：旧水路（①）が掘削されるベース層、5層：2トレンチにおいて地山直上に堆積する粗砂土で、溝（②・③）の掘削されるベース層、6層・7層：地山直上に堆積するシルト～粗砂層、8層：地山、となる。

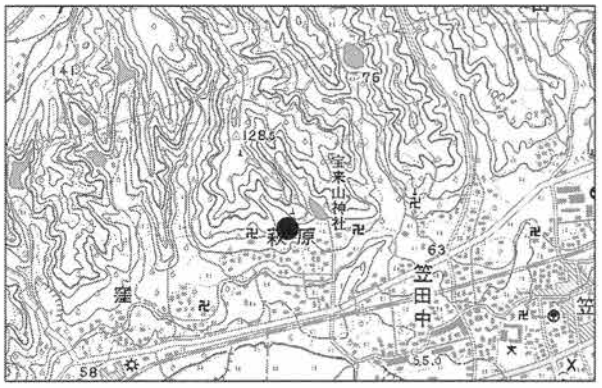
1トレンチ：コンクリート片を構築材とする現代水路を確認した。また、4層上面より掘削される旧水路（①）が確認され、旧水路は石垣により構築される。現代水路はこの旧水路石垣を再利用しているとみられる。

2トレンチ：1トレンチと同様、4層上面より掘削された旧水路（①）を再掘削して現代水路が構築されている。また5層上面においても溝が確認された（②③）。

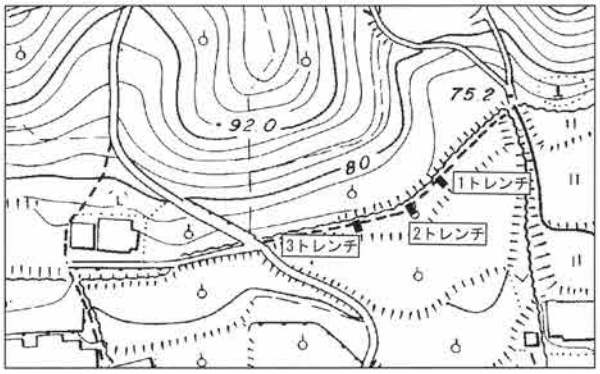
3トレンチ：1・2トレンチ同様に現代水路及び旧水路（①）を確認した。ただし現代水路は塩ビ管埋設により暗渠化し、人為的に埋められたと考えられる。

＜調査の所見＞

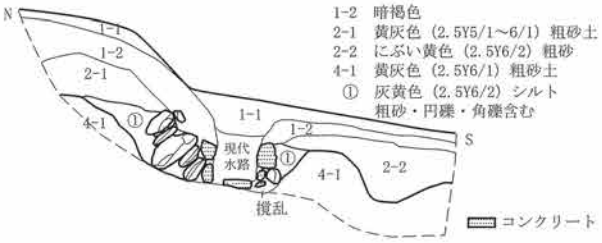
各調査区とも、旧水路およびそれを再掘削して構築された現代水路が確認された。遺物は皆無であるために旧水路・溝の所属時期は不明である。調査後の措置としては、積極的に近世以前に帰属すると判断される遺構が確認できないことから、慎重工事を指示した。



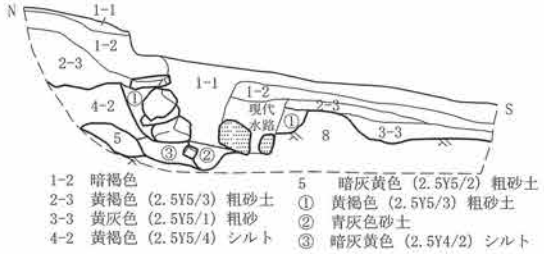
遺跡位置図



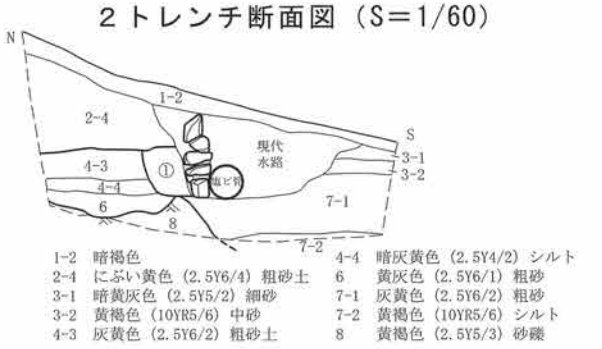
調査位置図



1トレンチ断面図（S＝1/60）



2トレンチ断面図（S＝1/60）

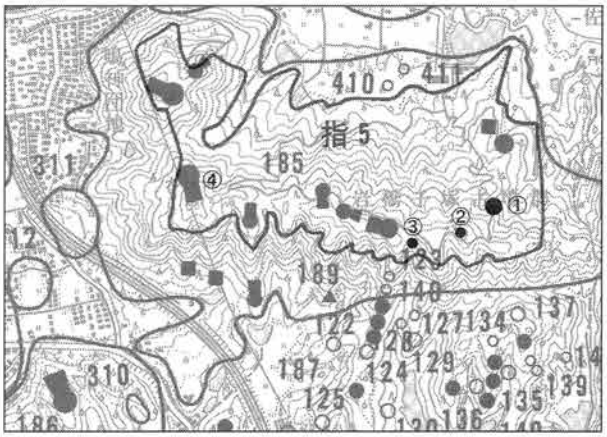


3トレンチ断面図（S＝1/60）

3. 特別史跡岩橋千塚古墳群：大日山35号墳・前山A2号墳・前山B41号墳（現状変更）

種　別　発掘調査

所在地　和歌山市岩橋・井辺



遺跡位置図

①185-433. 前山A64号墳　②185-368. 前山A2号墳
③185-197. 前山B41号墳　④185-132. 大日山35号墳

1. はじめに

和歌山市の東部、紀ノ川下流左岸の標高約150mを測る岩橋山塊周辺には、現在知られているだけでも700基前後の古墳が現存する。地名から岩橋千塚古墳群と総称され、国内では最大規模の群集墳であり、結晶片岩の板石を用いて、石棚や石梁を備えた地域色の強い横穴式石室が存在する。古墳群は学術的価値が認められ、昭和6年に史跡指定、昭和27年に特別史跡に指定されている。昭和46年には紀伊風土記の丘が開園し、歴史公園として公開されている。しかしながら、近年では古墳群の毀損が進行しており、整備する必要性が生じてきた。

このため、和歌山県教育委員会では、平成15年度から10年計画で岩橋千塚古墳群の保存と活用のため総合的な整備事業を実施している。平成16年度は大日山35号墳のトレンチ発掘調査及び、前山A2号墳・前山B41号墳の墳丘測量調査と石室の発掘調査を実施した。

2. 大日山35号墳の調査

大日山35号墳では平成15年度に墳丘上に12本のトレンチやグリッドが設定されて調査されている。その結果、盾形状の基壇に二段築成の墳丘が築造された総長約96m・墳長約83mを測る県内では最大規模の前方後円墳であることが判明した。

本年度は東クビレ部と東側の墳丘基壇裾部にトレンチを設定して調査した。それぞれ13・14トレンチとした。

《13トレンチ》

13トレンチは大日山号墳の東クビレ部に設定した東西1.9m・南北5.6mのトレンチである。1次調査の1トレンチの北側に接続する。

基本層序は5層に分かれ、上から1層7.5YR3/2黒褐色腐蝕土、2層10YR7/6明黄褐色土、3層10YR6/6明黄褐色土、4層10YR6/8明黄褐色土、5層10YR4/2灰黄褐色土である。すべての層から円筒埴輪の破片が出土したが、4・5層からの出土が顕著であった。すべて原位置を保ったものではなく、上部の造出から流失したものだと推定される。少数ではあるが、家形埴輪の破片もみられる。2層からは瓦器椀の破片が出土した。

検出した地盤は後円部と東造出部の接合部だと推定される。等高線は北北東方向に緩やかに下がっていき、西側ではやや軟質の結晶片岩の岩盤が露出する。岩盤の板状節理面はほぼ東西方向である。

接合部の斜面地点で、長さ50㎝・幅15㎝程の片岩の石材2つが、連なって水平方向に据えられていた。土留めのための地業だと推定される。

《14 トレンチ》

14 トレンチは大日山 35 号墳の基壇テラスに樹立された円筒埴輪列を確認するために 1 次調査の 1 トレンチと 2 トレンチの間に設定した。幅約 0.6m長さは 6.0mである。

円筒埴輪は 8 個体検出した。南側から埴輪 1～8 とする。円筒埴輪は基底部の直径が 25 ㎝前後の小型で、上部はかなり削平されていた。埴輪の外周には円形の据付坑が認められ、内部に結晶片岩が据えられているものも確認された。埴輪は、ほぼ直線状に並ぶが、北側では、やや外側に開き気味である。

埴輪の据え付け面は南側が高く、北側が低くなっており、比高差がある。このため、埴輪の遺存度は南側のものほど低い。埴輪の間隔は中心間の距離で、南から 0.85m・0.75m・0.78m・0.90m・0.78m・0.66m・0.75mである。埴輪は赤褐色で器壁が薄くやや軟質の種類と、褐色で器壁がやや厚く焼成堅緻な種類がある。

3. 前山Ａ２号墳の調査

前山Ａ２号墳は岩橋千塚古墳群中の南東部に位置し、標高約 149mの尾根部に造られた円墳である。古墳の規模は直径約 10.0mで、内部にはいわゆるＴ字形石室と呼ばれている横長の横穴式石室が築かれている。

古墳は盗掘を受け、墳丘上部約 1/3 が破壊され、石室も天井石や側壁上部の石材が抜かれていた。前山Ａ２号墳の近辺には、横穴式石室や竪穴式石室を内部施設とする小型の円墳が他にも 3 基築かれており、何らかの係わりをもった集団の古墳群ではないかと推定される。

墳丘に 8 本のトレンチを設定し、横穴式石室および墓道部の調査を実施した。

《1 トレンチ》

1 トレンチは玄室の北東角から北東方向に設定した。長さ約 4.0m・幅約 0.7mである。土層の堆積は上から 1 層 7.5YR3/2 黒褐色腐蝕土、2 層 5Y8/3 淡黄色土、3 層 5Y8/4 淡黄色土、4 層 2.5Y8/6 黄色土、5 層 10YR6/6 明黄褐色土、6 層 2.5Y8/4 黄色土、7 層 2.5Y6/4 にぶい黄色土、8 層 2.5Y5/4 黄褐色弱粘質土である。3 層からは瓦器の破片が出土しており、4～8 層が古墳の墳丘盛土だと考えられる。底部は表土から 20～40 ㎝程の深さで岩盤となっている。明瞭な周溝や葺石等は確認できなかった。石室の内側壁面から、約 0.9m 外側で岩盤を掘り込んでおり、石室の墓坑だと推定される。玄室床面との比高差は約 0.9 mである。石室を構築する石材の周囲には長さ 20～30 ㎝程の結晶片岩がやや疎らに埋め込まれていた。

《2 トレンチ》

2 トレンチは玄室部から南東から方向に設定した。長さ約 2.8m・幅約 0.8mである。南東部は岩盤で、墳丘裾部は浅く周溝状に掘削されている。

《3 トレンチ》

3 トレンチは玄室部から北北東方向に設定した。長さ約 2.9m・幅約 0.6mである。土層の堆積は上から 1 層 7.5YR4/2 灰褐色腐蝕土、2 層 2.5Y7/4 浅黄色土、3 層 2.5Y7/6 明黄褐色土、4 層 2.5Y6/6 明黄褐色土、5 層 2.5YR6/8 明黄褐色土である。墳丘裾部では長さ 10～20 ㎝程の扁平な片岩が並んでいた。

《4 トレンチ》

4 トレンチは羨道南壁の前端部から南南東方向に設定した。長さ約 4.8m・幅約 0.7mで

ある。土層の堆積は上から1～11層に分層された。1～3層が古墳築造後の堆積土で、4～10層が古墳の盛土、11層が地山だと考えられる。

羨道部の石材は結晶片岩製で、長さ40～70㎝・幅10～20㎝の楔状の形状で、小口積みにされている。これらの石材の周囲には、やや締まった明黄褐色土やオリーブ黄色土の高まりがみられる(土層 7～10)。墳丘の中核部では、内部施設である横穴式石室の石材を積上げては、周りを土で覆う作業を順次繰り返し、墳丘を盛り上げていったのではないかと推定される。

トレンチ中央部の標高 147.6mから南側では底は岩盤が露出している。羨道部床面との比高差は約0.1mとレベル差はあまりない。

《5トレンチ》

5トレンチは墓道の位置と墳丘裾部の土層を確認するために、墳丘南西部に南北方向に設定した。長さ約2.6m・幅約0.5mである。土層の堆積は上から1層5Y6/4オリーブ黄色土、2層10Y6/2オリーブ灰色土、3層2.5Y6/4にぶい黄色土、4層7.5Y6/2灰オリーブ色シルト質土(地山)、である。南部の2層から完形の須恵器短頸壺が、天地が逆の状態で出土した。1～2層からは、須恵器甕、土師器把手付鍋の破片が出土した。羨道の堆積土は4層に分かれる。断面観察では、排水溝の掘り込みは確認できなかった。

《6トレンチ》

6トレンチは墓道先端部の状況を確認するために、墳丘南西端部に設定した。長さ約2.0mである。幅約 1.0mの墓道を検出した。羨道の先端部は削平されて不明瞭であった。中心軸上に長さ65㎝・幅32㎝の片岩や人頭大の片岩が据えられていたが、その下部では排水溝は確認できなかった。墓道入口の北側から完形の陶邑TK43型式に相当する須恵器坏身が、ほぼ水平な状態で1点出土した。

《7トレンチ》

7トレンチは、墳丘裾部の土層を確認するために、墳丘西部に南北方向に設定した。長さ約1.3m・幅約0.4mである。土層の堆積は上から1層5Y6/4オリーブ黄色土、2層10Y6/2オリーブ灰色土、3層 7.5Y6/2 灰オリーブ色シルト質土(地山)、である。その下は 5Y7/4浅黄色5Y6/3オリーブ黄色の結晶片岩の岩盤である。

《8トレンチ》

8トレンチは墓道の位置と土層を確認するために、羨道入口部に南北方向に設定した。長さ約2.5m、幅は南側で1.3m、北側で1.0mである。

墓道埋土の土質は墳丘盛土と類似しており、上端で、幅約 1.8mで断面は逆台形状である。墳丘の土の堆積は、ほぼ水平に近いが、墓道の土の堆積は両側壁部から中央にかけて、斜めに下がっている。

《墳丘》

墳丘は各トレンチの土層の堆積状況から直径約10mの円墳だと推定される。南西部のトレンチでは岩盤を整形した浅い溝状の落込みがみられたが、その他の地点では、明瞭な周溝は確認されなかった。墳丘盛土は旧地形が東北東から西南西へと傾斜しているため、全体的に同様の方向で堆積している。下部は水平に近いような緩やかな堆積であるが、上部になると石室を中心として、斜めに盛り上げられている。版築や作業単位を示すような土質の単位は認められなかった。

《石室》

石室は岩橋山塊で産出する板状の結晶片岩で構築されており、西南西方向に開口している。石室は岩盤を平坦に整形して築かれており、規模は玄室の幅 1.88m～1.92m、長さ 1.02m～1.03mで、羨道の幅約 0.75m、長さ約 1.95mである。石室規模が小さいことから、古墳に葬られた人物は 1 人だと推定される。

石室は基本的に横長の片岩を小口積みにして構築されており、通廊部もやや大型の石材を小口積みにして、1 石で構成された側面を前壁部としている。羨道部は石材がやや小型で大きさも不揃いで、積み方も乱雑である。入口部は水平でなく全体的に斜め下方に積まれている。

玄室と羨道の間には通廊部(玄室前道部)と呼ばれている幅約 0.50mの狭まった部分があり、基底部には厚さ 14 ㎝・長さ 1.24m・幅 0.50mの玄室前道基石が敷かれている。玄門部では厚さ約 8 ㎝の板状の扉石が立てられ、内部を閉塞していた。玄室の前端部から墓道にかけての床面には、幅約 20 ㎝の断面が V 字状の暗渠排水溝が設けられている。玄室入口部の 2 個の片岩は排水溝の蓋石だと推定される。羨道と墓道は玄室から見て、やや左側に偏って築かれている。

石室は各トレンチの状況から、丘陵斜面の上側から岩盤をコの字状に墓壙を掘削して、床面を平坦にし、石材を水平に小口積みにしていき、周囲を土で固めて築いたものと推定される。墳丘の中心点は、ほぼ羨道の中間点にあたっている。

《出土遺物》

玄門部から土師器の壺が 1 点、墓道入口部から須恵器の坏身が 1 点、南西部の墳丘中から、須恵器短頸壺 1 点、須恵器甕と土師器土鍋の破片が出土した。これらの出土遺物から、この古墳が築かれたのは 6 世紀末頃だと推定される。

4. 前山Ｂ41 号墳

前山Ｂ41 号墳は岩橋千塚古墳群中の南東部に位置し、標高約 140mの尾根の東端部に造られた円墳である。古墳の規模は直径約 8.0mで、内部には玄室平面形が正方形に近い横穴式石室が築かれている。古墳は盗掘を受け、墳丘上部約 1/2 が破壊され、石室も天井石や側壁上部の石材が抜かれていた。

《墳丘》

墳丘は断割り調査を実施していないので、正確な規模は明らかでないが、平板測量図の等高線の状況から直径 8.0m前後の円墳であると推定される。墳丘の中心点は玄室のほぼ中央部あたりだと考えられる。

墳丘の北側を切断する形で土地境界を区画する溝が掘削されており、壁面の断面観察から山側には岩盤を穿って、古墳に付随する幅約 2.0m・深さ 0.45m 程の周溝が掘削されていることを確認した。

《石室》

石室は岩橋山塊で産出する板状の結晶片岩で構築されており、南東方向に開口している。石室は土地境界溝の周溝断面土層と玄室床面の高さから考えると、岩盤を掘削して築かれており、規模は玄室の幅 1.62m、長さ 1.82m～1.86mで、羨道の幅約 0.90m～1.15m、長さ約 1.85mである。玄室奥壁には長さ 30 ㎝・幅 20 ㎝前後の結晶片岩の板石が敷かれて、

周辺には直径5㎝前後の玉石が見られることから、本来は板石を底に敷いて、その上に玉石を敷き詰めていたものと推定される。排水溝は設けられていない。玄門端部から入口方向に約1.3mの場所では、長さ40～50㎝の片岩の板石が長軸方向に数枚敷かれており、羨道門部の底部であった可能性がある。

石室の構築技法は基本的には結晶片岩の板石を小口積みにする技法であるが、玄室では床面から約0.8m前後の高さまでは長さ50～80㎝・厚さ15㎝前後の比較的大型の石材を平積みにしており、そこから上部では中型から小型の石材を小口積みにして、壁面の持ち送り角度も急になっている。前壁部では、玄室前道基石の下に枚の板状の石材が敷かれており玄室内部に突出している。羨道部は石材がやや小型で、入口部に向かってやや斜めに下がるように積まれている。

石室は石室の主軸方向と岩盤の板状節理面の方向および丘陵の等高線とが、ほぼ直交するように築かれている。玄室と羨道取り付け部の床面の断差はほとんど無く、やや入口部が下がり気味の平坦面に石室が築かれている。

玄室奥部の板石の長軸が主軸方向に対して、直交する方向に敷かれていることから、被葬者も主軸に直交する形で、2～3人納めることを勘案して石室を築造したものと推定される。

《出土遺物》

墳丘上から須恵器の甕の破片が1点、墓道入口部から須恵器の低脚で1段透かしの高坏脚部が1点出土した。これらの遺物は7世紀初頭頃の年代を示すものであり、古墳の初葬時の副葬品であれば、この古墳が築かれたのは7世紀初め頃だと推定される。石室の形態や構築技法からみれば、玄室幅に対する羨道部の幅が広く、奥壁下部で大型の石材が平積みされている点などから、岩橋千塚古墳群の横穴式石室の中では比較的新しい要素をもつ石室だと推定され、出土遺物の年代との大きな隔たりは認められない。

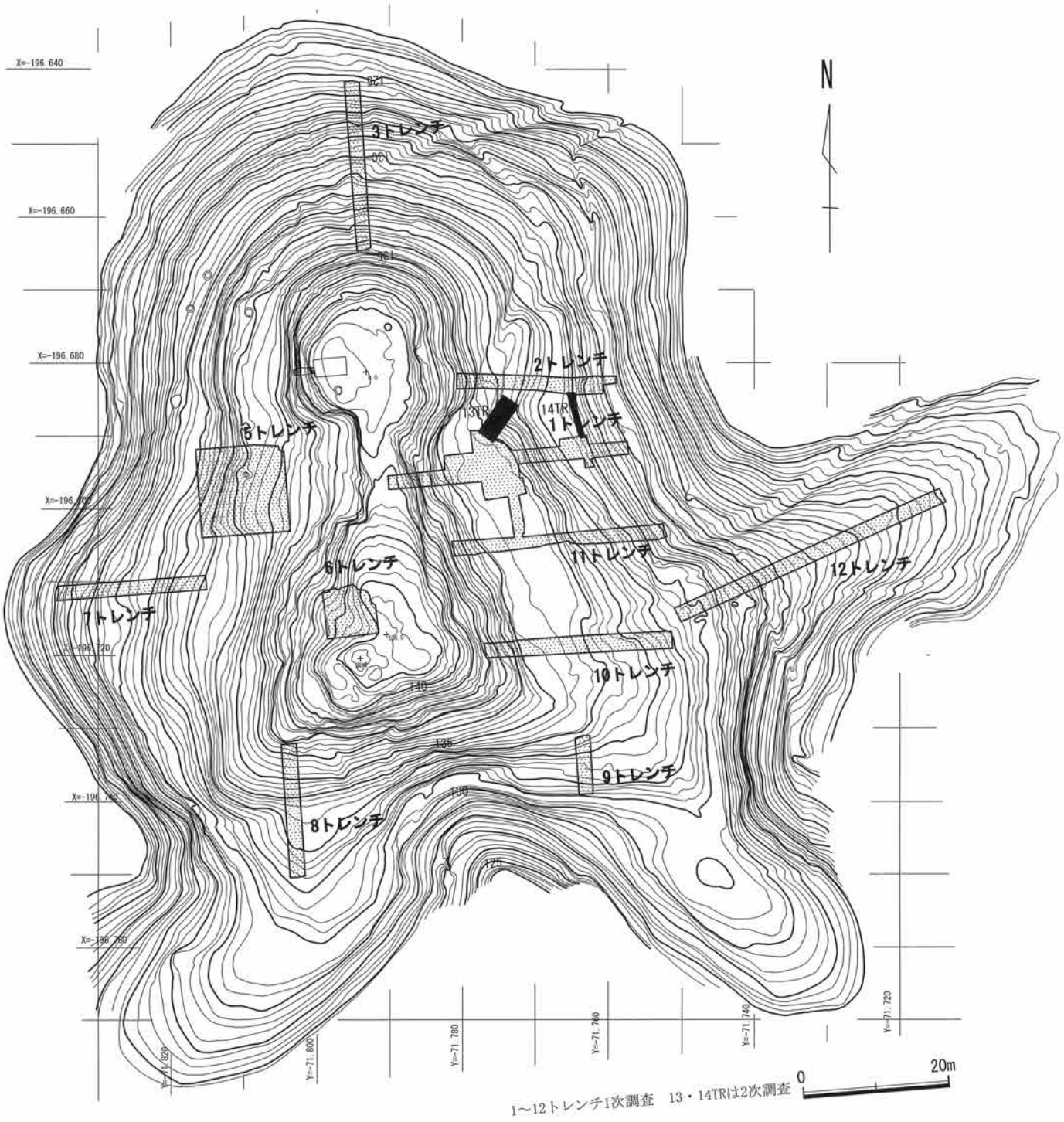
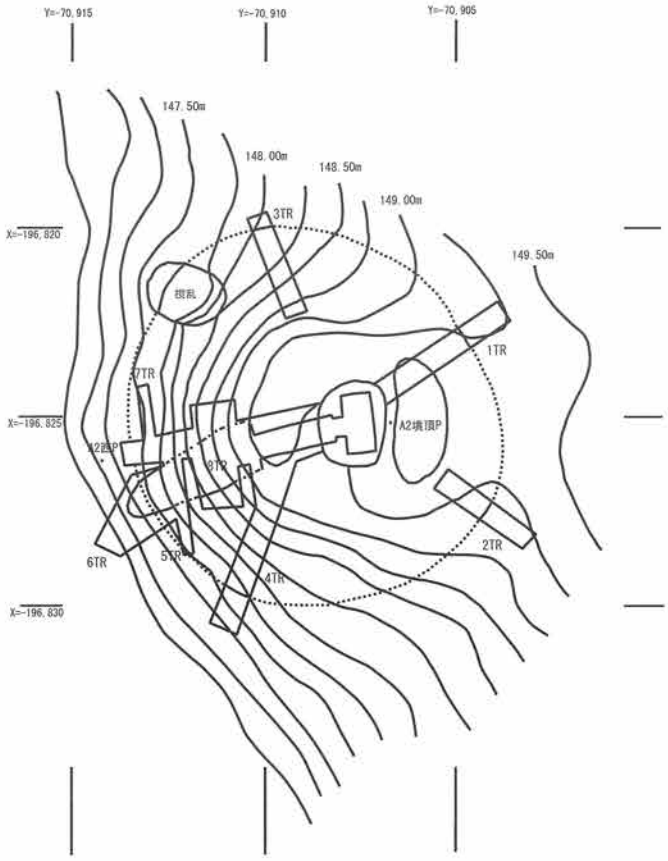


図　大日山35号墳　トレンチ配置図



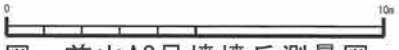


図　前山A2号墳墳丘測量図
S＝1/200

円墳　直径約10m
横穴式石室玄室長1.02m・幅1.90m　羨道長約2.0m

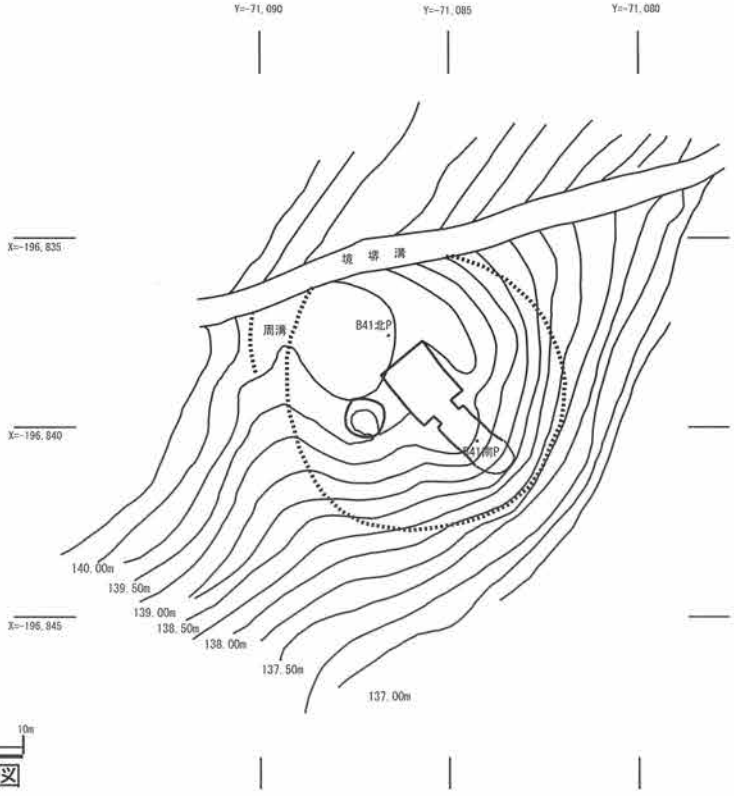


図　前山B41号墳墳丘測量図
S＝1/200

円墳　直径約8.0m　横穴式石室　玄室長1.82m・幅1.58m

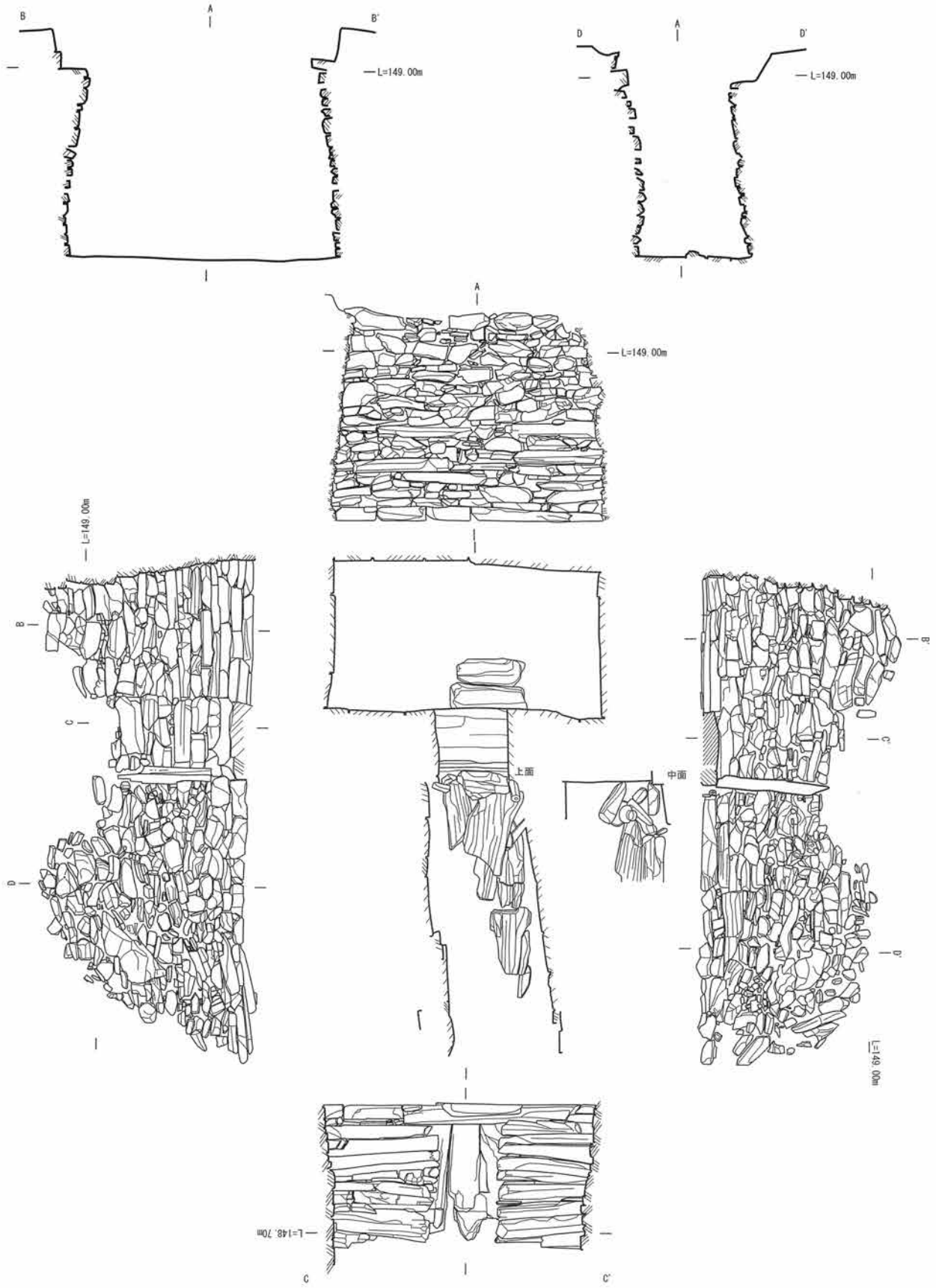


図　前山A2号墳石室実測図　S＝1/40

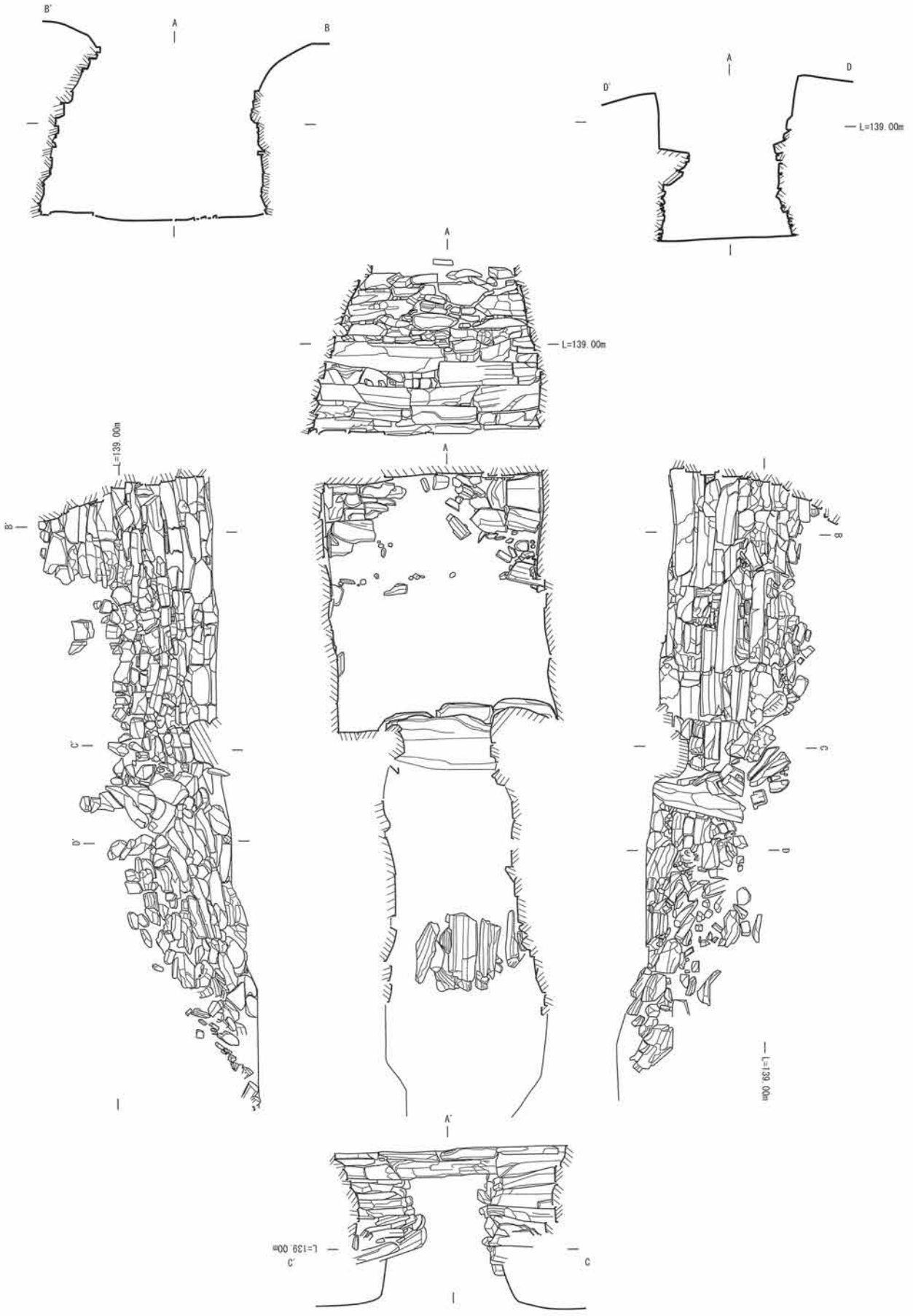
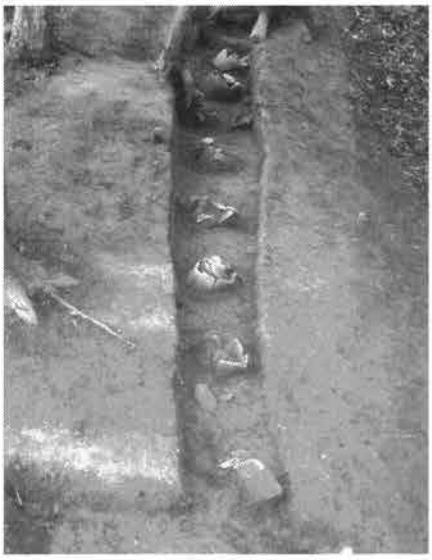


図　前山B41号墳石室実測図　S＝1/40



大日山35号墳　14Tr
円筒埴輪列検出状況
（南から）

大日山35号墳　14Tr
円筒埴輪７・８（西から）

前山A2号墳　墳丘（北から）

前山A2号墳　石室（北から）

前山A2号墳　石室（東から）

前山A2号墳　玄門部（北から）

前山A2号墳
8トレンチ西壁土層

前山A2号墳
玄門部　土師器出土状況

前山B41号墳　墳丘（北から）

前山B41号墳　石室（北東から）

前山B41号墳　石室（北西から）

前山B41号墳　石室（南東から）

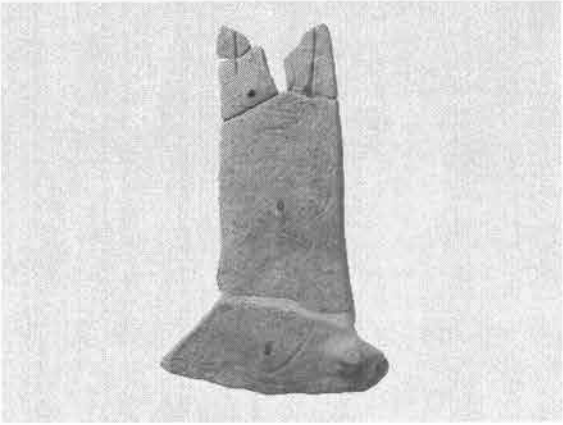
前山B41号墳　石室北東隅

前山B41号墳　玄門部

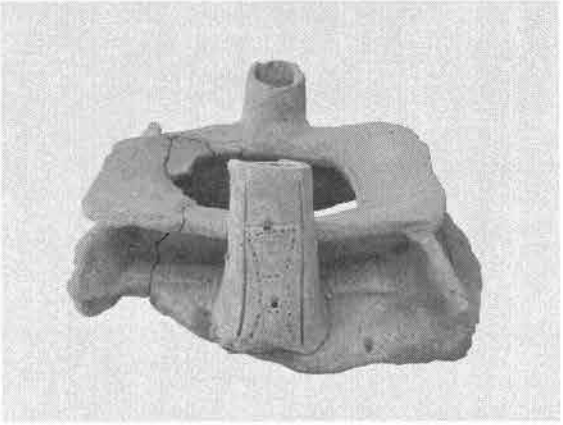
5. 大日山 35 号墳の出土遺物整理

平成 15 年度実施の大日山 35 号墳 1 次調査の 1 トレンチ、東造出で出土した埴輪群の整理作業の一部を実施したので、その成果を紹介する。東造出上の円筒埴輪に囲繞された空間内に樹立または設置されていた器物のうち個体識別された種別・数量は、埴輪が家 3、蓋 3、大刀 2、盾 1、人物 5、鳥 5、馬 1、その他動物（四足獣）4、須恵器が甕 1、高坏 1、器台 1 に及ぶ。これらの数量は整理途上の現段階の理解であり、いまだ意匠の不明な埴輪片が多数存在することから、今後整理作業の進展に伴い種別・数量ともに増加すると予想される。そのため、全体的な埴輪祭祀形態の問題については今後の整理作業の進捗を待つこととし、ここでは特徴的な個々の形象埴輪について簡単に紹介する。

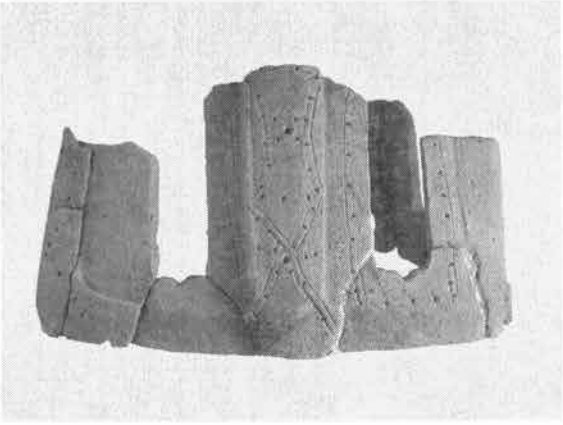
家形埴輪は多数の破片が確認されるものの、全形が復原される個体はない。屋根部では、分割成形の個体が 2 棟分以上確認される。破風板から千木にかけては長大・幅広なもので、装飾性も豊かである。千木の交差部分は、板材が交差するため段違いになる実際の千木を模倣する今城塚古墳例と異なり、その部分も一体的な形で製作されていることから、型式学的に後出する表現と評価できよう。屋根部では寄棟部 1 個体の残存状況が良好で、両妻側に棟持柱が表現される。棟持柱外面にはヘラ描き・刺突により革盾が施文され、壁体部身舎の柱外面の施文との共通性が看取される。壁体部では先述の 2 間×2 間の身舎は、3 間×3 間の円柱総柱形式と組み合うと予想されるが、どの屋根部と組み合うかは不明だが 3 分割成形入母屋造の家形埴輪 1 棟の存在が確実である。また、この他にも屋根部や原位



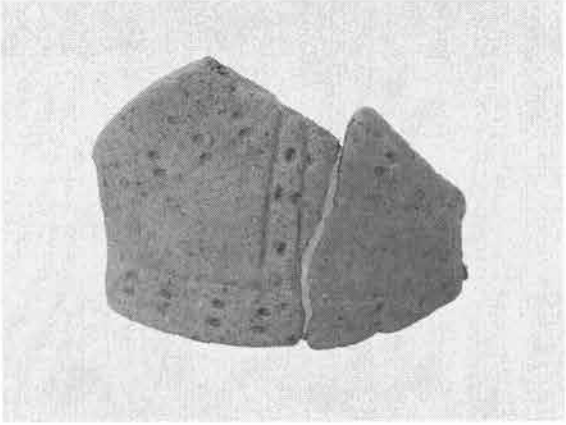
家形埴輪　屋根部（千木）



家形埴輪　屋根寄棟部（棟持柱）



家形埴輪　屋根部（千木）



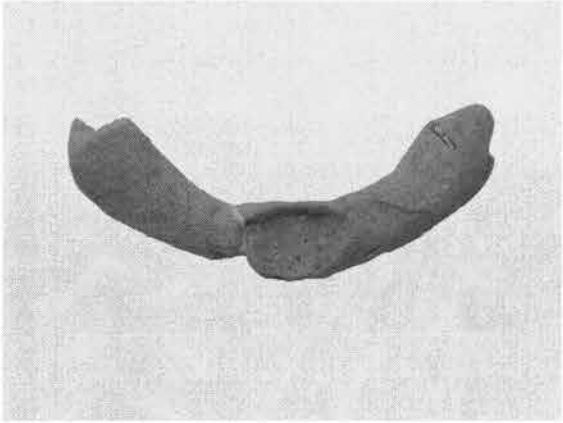
人物埴輪　頭部（二山式冠）

置で検出した家形埴輪基部の存在などから２分割成形の入母屋造家形埴輪１棟の存在が認められる。このほか一体成形の寄棟造とみられる家形埴輪とみられる小片も認められる。

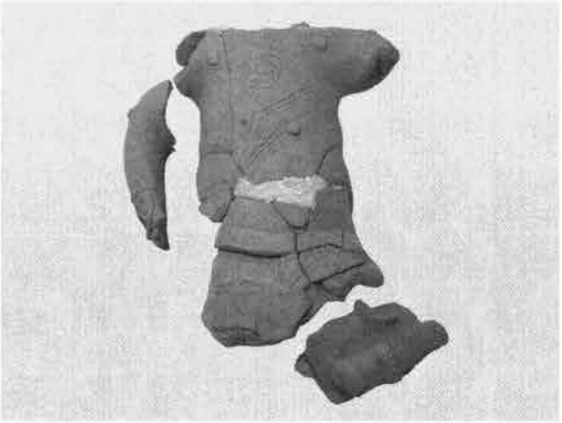
人物埴輪では、横転した状況で検出した力士１体の存在を確認した。これ以外に全身が判明した個体はないが、上半身に円形浮文が貼付される衣服を纏い、腰に佩刀した盛装男子が存在し、腰部の内面接合状況から、脚部のある立像とみられる。このほか部位別には、島田髷と二山式冠表現の頭部各 1、器物を捧げ持つ供献形態の腕部 3、踝や足輪表現のある脚部 1、そのほかに鞆・草摺とみられる破片などが認識された。これらを総合的に判断すると、全身立像盛装男子（二山式冠を被るか？）、力士、巫女（供献姿勢の女子）などの職掌が確認された。

動物埴輪は、大別して四足獣と鳥とが確認される。四足獣では、最下段テラスに転落していた馬形埴輪の遺存状況が良好である。接合関係は確認されていないが、同一個体とみられる部品が東造出上で出土しており、頭部・前脚・尻尾のほか鞍・障泥・鐘形？杏葉・雲珠・辻金具などが確認され、装飾性豊かな飾馬である。なお、馬右胴側の障泥には力帯に垂下された短冊形水平板が確認された。このほか四足獣には、馬（猪？）の頭部 1、犬（猪？）の頭部 1、角付の牛（？）頭部 2 などが認められる。

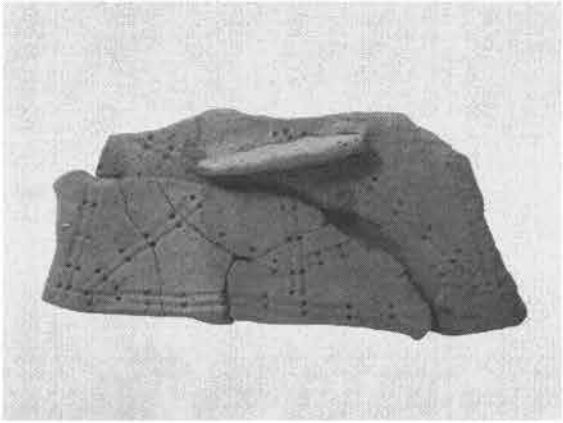
鳥形埴輪には、大別して２種類確認される。まず、調査時から異形の鳥形埴輪として認識していた中間段テラス円筒埴輪列付近に横位で出土した個体がある。接合の結果、球形の体部に翼を広げ、短い頸部と球形の頭部を前方へ傾けて滑空する姿態を表現することが



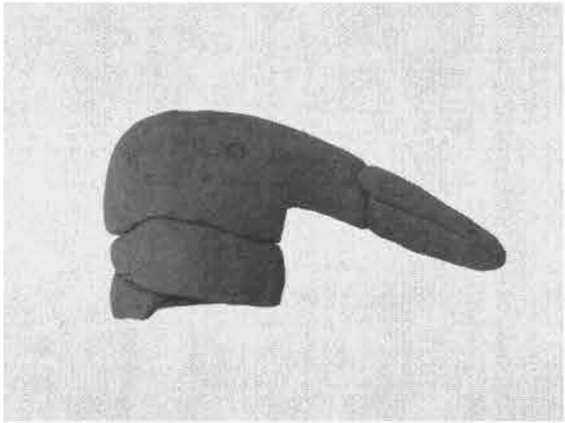
人物埴輪　腕部（供献形態）



人物埴輪（盛装男子）



馬形埴輪（障泥・短冊板水平板）



鳥形埴輪　頭部

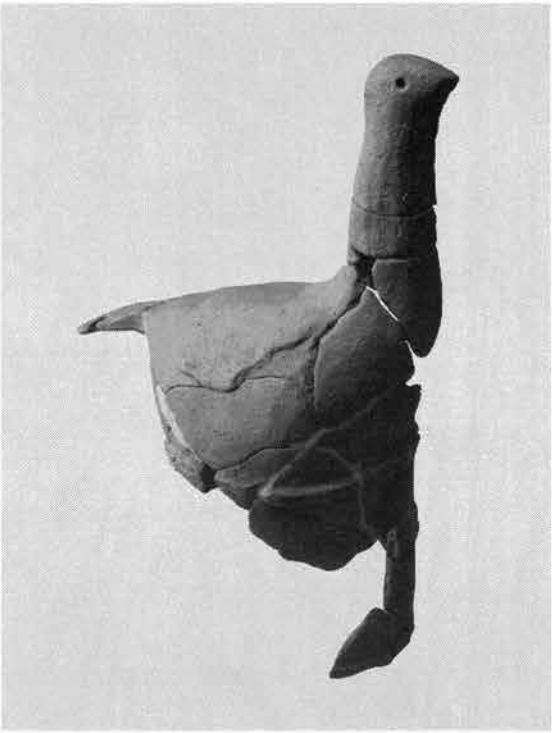
判明した。その姿態だけでなく、頭～頸部の形態も従来の鳥形埴輪の範疇では理解できず、このような姿態を表現する鳥形埴輪は現在のところ他例がない。また、翼の平面形態は頭部側が直線的で、尾側が半円形を呈し、鳥形木製品の翼の形態と類似しており、実際の鳥でなく鳥形木製品を模倣した可能性が推測される。この他にも翼の可能性が推測される破片があるため、滑空姿態の鳥形埴輪は2羽以上存在する可能性がある。

この他に鳥形埴輪は、頸部が細く体部から上方に伸びる一般的な水鳥の形態のものがある。同様の特徴をもつ頸部・体部が3羽分確認され、その頭部のうちの1つには断面円形の長約 10 cmを測る嘴が接合する。他の頭部もほぼ同形態をとることから、嘴の長い鳥形埴輪が3羽存在すると理解される。鳥形埴輪において円形の嘴が長い場合、「鵜」または「鶴」の可能性が考えられる。「鵜」の場合、頸部下端～体部にかけて紐の表現が認められるが、今回の場合はそのような表現は認められないことから、消去法的に「鶴」と認識される。なお、明確に鶏形と認識される破片は現在確認されない。

以上が、形象埴輪のうち特徴的と考えられる一群である。滑空姿態を表現した鳥形埴輪は国内初例と考えられるほか、嘴の長い鳥形埴輪が鶴と評価された場合、関東地方以外では初例、短冊形水平板も同様に4例目であり、これらも類例は少ない。また、3分割成形の棟持柱が表現される家形埴輪は、管見の限り今城塚古墳出土例以外ではなく、力士や盛装男子、供献形態の巫女などの人物埴輪群も西日本では類例が多いものでない。さらには、平成 17 年度に実施した西造出の調査では、東造出同様に多量の埴輪が出土しており、その中には東造出とは異なる種類の形象埴輪が認められる。

以上のように、大日山 35 号墳は各種の形象埴輪群を多量に樹立していた古墳として認識される。今後の整理作業の進展により、大日山 35 号墳で執り行われた埴輪祭祀の具体相が解明されるものと期待される。

鳥形埴輪（滑空）



鳥形埴輪（水鳥）

報　告　書　抄　録

ふりがな	わかやまけんまいぞうぶんかざいちょうさねんぽう
書名	和歌山県埋蔵文化財調査年報
副書名	平成16年度
編著者名	黒石哲夫　藤井幸司　萩野谷正宏
編集機関	和歌山県教育委員会
所在地	〒640-8585　和歌山市小松原通1-1　　ＴＥＬ073-441-3731
発行年月日	西暦2006年3月31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯 °′″	東経 °′″	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
秋月遺跡（04-25）	和歌山市太田127番地	30201	331	34° 13′ 29″	135° 17′ 15′	20041115	4	下水道工事
野上中南遺跡（96-207）	海南市野上中	30202	34	34° 9′ ″ 46	135° 12′ 12″	20040519・20・20040519・20041012・13・14	117.8	道路建設
下佐々Ⅰ遺跡（03-287）	紀美野町下佐々字野尻865-3	30304	7	34° 9′ 20″	135° 18′ 53″	20040901	5.4	個人住宅
粉河寺遺跡	紀の川市粉河	30208	22	34° 16′ 36″	135° 24′ 30″	20040601・20050217～20050301	56.8	確認調査
元遺跡（03-223）	紀の川市桃山町元字東嶋479-6, 12	30208	1	34° 14′ 12″	135° 21′ 33″	20040416	7.5	個人住宅
元遺跡（04-36）	紀の川市桃山町元386番の1	30208	1	34° 14′ 12″	135° 21′ 33″	20041117	24.3	保育所建設
上尾遺跡（04-21）	紀の川市桃山町調月北山ノ台769-142	30208	13	34° 13′ 25″	135° 12′ 31″	20040823	196.7	個人住宅
榎田池古墳（03-38）	紀の川市貴志川町神戸894-1, 890	30208	13	34° 12′ 39″	135° 18′ 46″	20040507・20040702	5.8	道路建設
貴志城跡（04-54）	紀の川市貴志川町上野山字鍛屋垣内250	30208	47	34° 12′ 48″	135° 18′ 47″	20040630	6	集合住宅
神野々Ⅱ遺跡（03-21）	橋本市神野々946	30203	56	34° 18′ 11″	135° 34′ 52″	20041110	1	河川改修
佐野廃寺（04-28）	かつらぎ町佐野536-3	30341	4	34° 17′ 32″	135° 29′ 27″	20040601	15	車庫
西渋田遺跡（03-212）	かつらぎ町西渋田字南垣内280-2	30341	29	34° 16′ 22″	135° 28′ 09″	20040401	5	個人住宅
佐野遺跡（04-22）	かつらぎ町佐野557-1	30341	10	34° 17′ 30″	135° 29′ 29″	20040511	7	個人住宅
佐野遺跡（04-42）	かつらぎ町佐野805-1	30341	10	34° 17′ 30″	135° 29′ 29″	20040601	1	車庫
佐野遺跡（04-107）	かつらぎ町佐野568-5	30341	10	34° 17′ 30″	135° 29′ 29″	20040907	4	車庫
名古曽Ⅰ遺跡（04-10）	橋本市名古曽719-1	30203	5	34° 18′ 11″	135° 33′ 56″	20040803	2	個人住宅
慈尊院Ⅱ遺跡（04-232）	九度山町慈尊院143	30343	4	34° 16′ 22″	135° 28′ 8″	20050304	3	個人住宅
金剛峯寺遺跡（04-22）	高野町高野山417～444, 424～425	30344	4	34° 12′ 34″	135° 35′ 24″	20040818・26	20	水道管埋設
金剛峯寺遺跡（04-31）	高野町高野山西院谷224	30344	4	34° 12′ 34″	135° 35′ 24″	20041027	3	消防署屯所
金剛峯寺遺跡（04-21）	高野町高野山千手院600	30344	4	34° 12′ 34″	135° 35′ 24″	20041201	23.8	車庫
金剛峯寺遺跡（04-10）	高野町高野山本中院谷151	30344	4	34° 12′ 34″	135° 35′ 24″	20041222	4.5	公衆便所
金剛峯寺遺跡（04-46）	高野町高野山本中院谷151	30344	4	34° 12′ 34″	135° 35′ 24″	20050105	3.3	公衆便所・下水道
金剛峯寺遺跡（04-45）	高野町高野山638	30344	4	34° 12′ 34″	135° 35′ 24″	20050118	6	水路改修
金剛峯寺遺跡（04-54）	高野町高野山795	30344	4	34° 12′ 34″	135° 35′ 24″	20050210	11.25	電線地中化
山田廃寺（03-277）	湯浅町大字山田1275番1	30361	11	34° 01′ 29″	135° 12′ 33″	20041105	15	電話鉄塔
天神社跡（04-63）	広川町山本字天神谷1432番3	30362	5	34° 00′ 58″	135° 10′ 10″	20041104	3	個人住宅
市場遺跡（04-6）	有田川町市場地内	30366	3	34° 4′ 3″	135° 15′ 11″	20040726	17	道路建設
中井原遺跡（04-24）	有田川町中野54-2	30366	4	34° 03′ 51″	135° 15′ 29″	20040525	4.8	個人住宅

歓喜寺跡（04-163）	有田川町歓喜寺	30366	9	34° 02′ 47″	135° 15′ 50″	20041119	2	個人住宅
蛭田坪遺跡（04-9）	御坊市湯川町小松原	30205	27	33° 54′ 11″	135° 09′ 39″	20041004～20041007	200	道路建設
田井・西川遺跡（00-120）	美浜町田井	30381	15・16	33° 53′ 39″	135° 08′ 59″	20050314～20050318	34	道路建設
高家遺跡（04-35）	日高町高家643-2	30382	52	33° 55′ 20″	135° 08′ 39″	20050225	5.25	駐在所
興国寺跡（04-49）	由良町門前801	30383	6	33° 58′ 21″	135° 07′ 40″	20040720	3.75	墓地
古垣内遺跡	日高川町高津尾1266	30392	10	33° 37′ 25″	135° 17′ 38″	20050106～20050107	13.6	学校校舎
片山遺跡（04-7）	みなべ町芝407	30391	32	33° 45′ 42″	135° 19′ 42″	20040804・06・17	32	下水工事
印南遺跡（03-288）	印南町印南字南後2099番9	30390	13	33° 48′ 58″	135° 13′ 08″	20040702	2.5	個人住宅
国指定史跡　高野山町石	高野町高野山東小田原593番地～蓮花谷575番地	30344	2	34° 12′ 34″	135° 35′ 34″	20050229・20051008・20051009・20051010	12.34	歩道改良
県指定史跡　中世農耕用水路文覚井	かつらぎ町萩原地内	30341	3	34° 18′ 31″	135° 28′ 15″	20040916	168	水路改築
県指定史跡　中世農耕用水路文覚井	かつらぎ町萩原地内	30341	3	34° 17′ 17″	135° 28′ 10″	20041206	9	農耕用排水路改修
特別史跡　岩橋千塚古墳群	和歌山市岩橋・井辺	30201	5	34° 13′ 06″	135° 13′ 54″	20040701～20050131	50	保存修理事業

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
秋月遺跡（04-25）	散布地	中世？	ピット	土師器、瓦器	
野上中南遺跡（96-207）	集落跡	弥生、中世	溝、柱穴、ピット、土坑	弥生土器、瓦器、サヌカイト	
下佐々Ⅰ遺跡（03-287）	散布地	中世	土坑	瓦器椀、土師器	
粉河寺遺跡	寺院	中世	石垣	瓦、土師器、瓦器、青磁	
粉河寺遺跡	寺院				
元遺跡（03-223）	散布地	中世		瓦器、土師器	
元遺跡（04-36）	散布地	中世～近世		土師器、瓦器	
上尾遺跡（04-21）	散布地				
権田池古墳（03-38）	古墳				
貴志城跡（04-54）	城館跡		落ち込み		
神野々Ⅱ遺跡（03-21）	散布地				
佐野廃寺（04-28）	寺院跡	弥生	ピット	弥生土器	
西渋田遺跡（03-212）	散布地	近世	溝	土師器	
佐野遺跡（04-22）	集落跡			土師器	
佐野遺跡（04-42）	集落跡				
佐野遺跡（04-107）	集落跡				
名古曽Ⅰ遺跡（04-10）	散布地				
慈尊院Ⅱ遺跡（04-232）	集落跡				
金剛峯寺遺跡（04-22）	寺院跡	近世		磁器	
金剛峯寺遺跡（04-31）	寺院跡				
金剛峯寺遺跡（04-21）	寺院跡	近世		白磁、土師器	
金剛峯寺遺跡（04-10）	寺院跡				
金剛峯寺遺跡（04-46）	寺院跡				
金剛峯寺遺跡（04-45）	寺院跡	近世		磁器	
金剛峯寺遺跡（04-54）	寺院跡	近世以降		磁器、陶器	
山田廃寺（03-277）	寺院跡				
天神社跡（04-63）	神社跡				
市場遺跡（04-6）	散布地				
中井原遺跡（04-24）	散布地	中世～近世	ピット	備前焼、瓦器、唐津陶器、青磁、白磁または磁器、土師器皿	
歓喜寺跡（04-163）	寺院跡				
蛭田坪遺跡（04-9）	散布地	弥生～中世	溝	黒色土器、土師器、弥生土器	
田井・西川遺跡（00-120）	寺院跡・散布地				
高家遺跡（04-35）	散布地				
興国寺跡（04-49）	寺院跡				
古垣内遺跡	散布地	縄文？、中世	ピット、溝、土坑	土師器、瓦器、サヌカイト	
片山遺跡（04-7）	散布地			陶磁器、土師器	
印南遺跡（03-288）	散布地				
国指定史跡　高野山町石	史跡	近世？	十町石の旧台石・掘形		
県指定史跡　中世農耕用水路文覚井	史跡				
県指定史跡　中世農耕用水路文覚井	史跡		水路		
特別史跡　岩橋千塚古墳群	特別史跡	古墳	前山A2号墳：石室、前山B41号墳：石室、大日山35号墳：墳丘墓壇裾部	前山A2号墳：須恵器、土師器、前山B41号墳：須恵器、大日山35号墳：埴輪	

和歌山県埋蔵文化財調査年報
—平成１６年度—

発　行　日　平成１８年３月３１日
編集・発行　和歌山県教育委員会
和歌山市小松原通一丁目１
印　　刷　西岡総合印刷株式会社